京都市内遺跡試掘立会調査概報

昭和61年度

京　都　市　文　化　観　光　局

財団法人　京都市埋蔵文化財研究所

京都市内遺跡試掘立会調査概報

昭和61年度

京 都 市 文 化 観 光 局

財団法人　京都市埋蔵文化財研究所

序

千年の歴史にはぐくまれた学問，芸術，文化，宗教の都であることをふまえながら，21世紀へ向けての理想のまちづくりを目指している京都は，伝統を生かし創造をつづける都市づくりに取組み，なかでも，２年後(昭和64年)の市政100周年事業並びに７年後(昭和69年)の平安建都1200年事業などを計画しております。

一方，都市の活性化に伴う開発に際して，埋蔵文化財を保存し，良好な環境を維持することが重要な課題となっております。

このような状況の中で，本市といたしましては，埋蔵文化財の保存について，市民の理解と協力を得る努力をいたしておりますが，保存が困難な遺跡につきましては，調査を行いその成果をできる限り後世に伝えるように努めております。

この調査報告書は，昭和61年度国庫補助事業として実施した調査の概要をまとめたものであり，本書が埋蔵文化財の研究に，また有用な資料として御活用いただければ幸いです。

本調査の実施にあたり調査を受託された財団法人京都市埋蔵文化財研究所，また御指導いただいた文化庁をはじめ御協力をいただいた関係各位並びに市民のみなさまに心から感謝の意を表します。

昭和62年３月

京都市文化観光局

例　言

1．本書は京都市文化観光局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助に伴う昭和61年度の京都市内遺跡試掘立会調査概要報告書である。

2．本書の執筆分担は次の通りである。

Ⅰ・Ⅳ　家崎孝治　Ⅱ・Ⅴ・Ⅸの３　久世康博　Ⅲ　木下保明　Ⅵ・Ⅸの１・２　家崎孝治　野村篤美　種実分析：岡田文男　Ⅶ　小森俊寛　Ⅷ　辻　裕司

3．写真は遺構の一部を除き牛嶋　茂が担当した。

4．本書に使用した遺跡、遺構の記号は奈良国立文化財研究所の使用例に従った。

5．位置の記載は平面直角座標系Ⅵによる。京都市遺跡測量基準点を使用し、記載した数値はＸ、Ｙともｍ単位で、水準はＴ・Ｐである。

6．本書作成にあたっては、児玉光世、近藤章子、端美和子、尾藤徳行、松尾雅章、吉本健吾、竜子正彦が参加した。

7．本書に掲載した地図は、京都市都市計画局の地図を調整し、以下のごとく使用した。

平安宮跡　図版２　8000分の１(京都市都市計画局発行　聚楽廻、壬生各2500分の１)

平安京跡　図版３～12　10000分の１（同上、花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、島原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅各2500分の１）

北白川瓦窯跡　北白川廃寺跡　上終町遺跡　小倉町・別当町遺跡　北白川上池田町古墳群　中臣遺跡　白河街区　岡崎遺跡　図版13　10000分の１　（同上、田中、山科、勧修寺、御所、吉田、三条大橋、岡崎各2500分の１）

鳥羽離宮跡、下鳥羽遺跡　図版14　10000分の１（同上、城南宮、下鳥羽各2500分の１）中久世遺跡、大藪遺跡、長岡京跡、東土川遺跡　図版15　10000分の１（同上、寺戸、久世、向日町、久我各2500分の１）

樫原遺跡　図１　5000分の１（同上、川島2500分の１）

巽古墳　図３　5000分の１（同上、鳴滝2500分の１）

北白川廃寺跡　図７　5000分の１（同上、田中2500分の１）

森ケ東瓦窯跡　図９　5000分の１（同上、花園2500分の１）

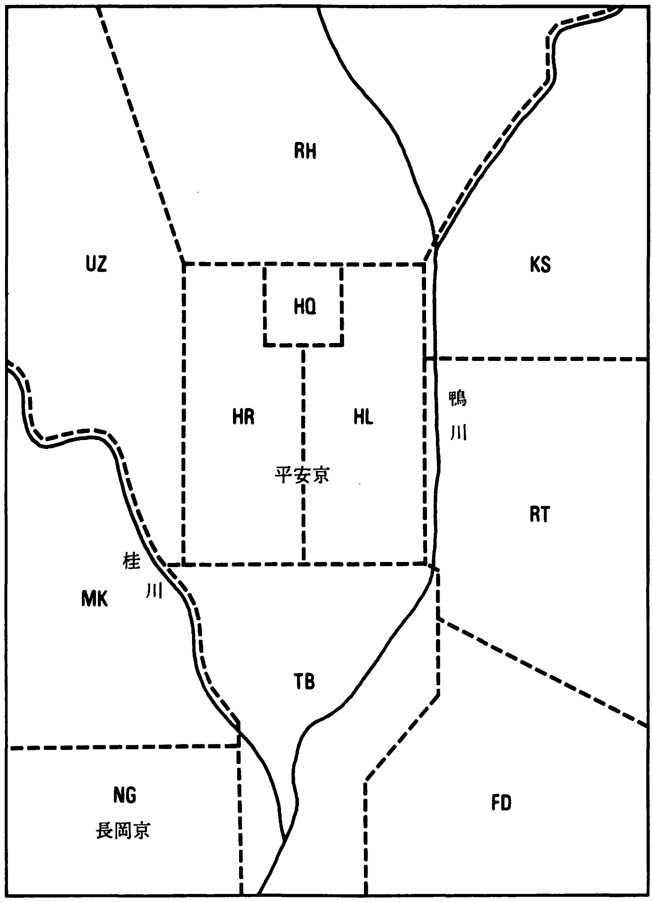
平安京右京八条二坊　図13　5000分の１（同上、中河原2500分の１）

鳥羽離宮跡　図20　5000分の１（同上、城南宮、竹田2500分の１）

室町殿跡　図22　5000分の１（同上、相国寺2500分の１）

平安宮東雅院　図27　5000分の１（同上、聚楽廻2500分の１）

地区設定図



目　　次

図 版 目 次

挿図目次

表目次

Ⅰ 調 査 概 要

本報告は、京都市文化観光局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助に伴う昭和61年度の京都市内遺跡の試掘・立会調査概要報告書である。本書では、昭和61年１月４日より昭和61年12月27日までの間に実施した試掘・立会調査の概要を報告する。

調査件数は、試掘調査91件、立会調査842件の計933件である。その内訳は、平安宮地区（ＨＱ）83（内試掘８）件、平安京右京地区（ＨＲ）205（同17）件、平安京左京地区（ＨＬ）326（同20）件、太秦地区（ＵＺ）23（同５）件、洛北地区（ＲＨ）48（同５）件、北白川地区（ＫＳ）36（同８）件、洛東地区（ＲＴ）69（同２）件、伏見・醍醐地区（ＦＤ）49（同４）件、鳥羽地区（ＴＢ）43（同14）件、南・桂地区（ＭＫ）22（同３）件、長岡京地区（ＮＧ）29（同５）件である。以上のうち、特に遺跡の保存状態が良好な13件については発掘調査に切り換えた。ここでは、本年度の試掘・立会調査で知り得た新たな成果について、平安宮・京域と京域外とに分けて概述する。

平安宮・京域地区　平安宮内においては、本年度は特筆すべき事例はなかったが、中務省（ＨＱ８）の試掘調査で平安前期の土器溜りおよび瓦堆積層を検出し、発掘調査に切り換えた。東雅院西辺部の試掘（ＨＱ43）においては、平安前期の土器の一括資料を得た。

平安京域において得られた成果のうち、条坊遺構の主なものをあげると、まず右京域においては一条四坊（ＨＲ85）で勘解由小路北側溝および路面を検出し、溝内より平安後期の土器類が大量に出土した。四条二坊（ＨＲ21）の両洋学園内の試掘では、三条大路南側溝および建物跡などを検出し発掘調査の必要性が考慮されたが、調査前に遺跡が破壊されるといった事態が生じた。五条一坊（60年度ＨＲ200）では五条大路路面、六条三坊（ＨＲ134）では五条坊門小路南側溝、六条三坊（ＨＲ14）では六条坊門小路北側溝、八条一坊（ＨＲ２）では西大宮大路路面、同じく八条二坊（ＨＲ80）では梅小路南側溝、九条一坊（ＨＲ50）では九条大路路面などを検出した。

左京域においては、二条二坊（ＨＬ78）では大宮大路路面、二条四坊（ＨＬ66）では二条大路路面、三条一坊（ＨＬ12）および六条一坊（ＨＬ114）では朱雀大路東側溝、同じく三条一坊（ＨＬ162）では三条大路北側溝、三条二坊（ＨＬ172）では三条大路路面、同じく三条一坊（60年度ＨＬ341）では猪熊小路路面、五条四坊（ＨＬ79）では東京極大路、七条二坊（60年度ＨＬ354）では左女牛小路路面、八条二坊（ＨＬ65）では猪熊小路路面、同

じく八条二坊（60年度ＨＬ319）では七条大路路面、八条四坊（ＨＬ96）では東洞院大路路面などを検出した。

条坊遺構以外のものとしては、右京二条三坊（ＨＲ184）の試掘では平安中期の建物跡、土壙を検出し発掘調査に切り換えた。右京八条二坊（ＨＲ64）では平安後期の池状遺構を検出し、斎串・独楽形木製品などが出土した。また同じく右京八条二坊（60年度ＨＲ188）では平安後期の井戸を検出し、井戸木枠に転用されていた長櫃、折櫃などの木製品が出土した。左京二条二坊（ＨＬ73）では平安後期の池跡および州浜状遺構を検出し、発掘調査が考慮されたが、工事が変更され現状のまま保存されることになった。

平安京域外の地区　巽古墳（ＵＺ11）の調査では石室の一部を検出し装飾付器台、鉄鏃、金銅装馬具などが出土した。法金剛院境内遺跡（ＵＺ15）では平安後期の池跡を検出し、水際の杭列に竹で上下４段交互に巡らした柵を認めた。森ケ東瓦窯跡（ＵＺ18）では初めて瓦窯本体を発見し、ロストル式の平窯であることが判明した。音戸山古墓（ＵＺ10）では石蓋をした火葬骨壺を発見した。室町殿跡（ＲＨ25）では庭石を検出し発掘調査に切り換えた。北野廃寺跡（ＲＨ５、ＲＨ10）では２カ所の試掘で平安前期の遺構群を検出し、共に発掘調査に切り換えた。同じく北野廃寺跡（ＲＨ37）の試掘では平安前期の包含層、古墳時代の竪穴住居址を検出したが、建物基礎の変更により現状のまま保存されることになった。北白川廃寺（ＫＳ13）では寺域を区画するとみられる東西溝を数条検出した。法勝寺跡（60年度ＫＳ38）では根石をもつ柱穴および東西溝を検出し発掘調査に切り換え、金堂に取りつく翼廊の一部が明らかとなった。鳥羽離宮跡（60年度ＴＢ53）では、鳥羽離宮の東への拡がりを知る資料を得た。同じく鳥羽離宮跡（60年度ＴＢ54）では東西方向の溝を検出し発掘調査に切り換えた。下鳥羽遺跡（ＴＢ25、ＴＢ27）では古墳後期の竪穴住居址を検出し前者は発掘調査に切り換えた。中久世遺跡（ＭＫ13）では弥生後期の溝を検出し発掘調査に切り換えた。西京区桜谷において丘陵部で円筒埴輪片を採集したことをきっかけに前方後円墳を２基発見し、山田桜谷古墳群と命名した。

以上が本年度における試掘・立会調査の概要である。それらのなかで、下鳥羽遺跡における竪穴住居址の発見は、いままで湿地帯とみられていた当地の古環境を根本的に考え直す必要性が生じ、今後この周辺での調査に新たな展望を切り開くものとなった。そうした一方で、両洋学園校内で遺跡が破壊された事件は、教育現場における遺跡保護意識の貧しさを、はからずも露呈することになった。

Ⅱ　樫原遺跡（MK１）

１．調査経過

西京区樫原里ノ垣外町20番地でのビル建築に伴う立会調査である。当該地は白鳳時代の樫原廃寺の近辺に位置しており、弥生から平安時代の樫原遺跡の中心部分でもある。実際の工事では一次掘削が遺構面に接した深さであったため、遺構の検出を見ることができ、急きょ工事予定地の一部を試掘調査に切り換えて、昭和61年７月１日～３日まで調査を行った。

２．遺構・遺物

調査地の基本土層は、現代盛土・旧耕作土・床土・黄灰色砂泥（地山）となっており、遺構は全て黄灰色砂泥を切って成立している。検出した遺構は、溝２・土壙１・竪穴住居址１であった。

竪穴住居址　隅丸方形の平面形で、半円形の周溝を持つ掘形である。遺構の状態は非常に悪く、埋土の暗茶褐色泥砂（炭を含む）は床面をわずかに覆っているだけであった。周溝は幅30cm・深さ３～５cmであり、南西隅の部分が検出できたのみで全体を確認するまでには至らなかった。

土壙　直径2.3ｍ・深さ0.16ｍの円形状の遺構である。埋土は暗茶灰色砂泥で炭を含んでいるが、遺物の出土はなかった。

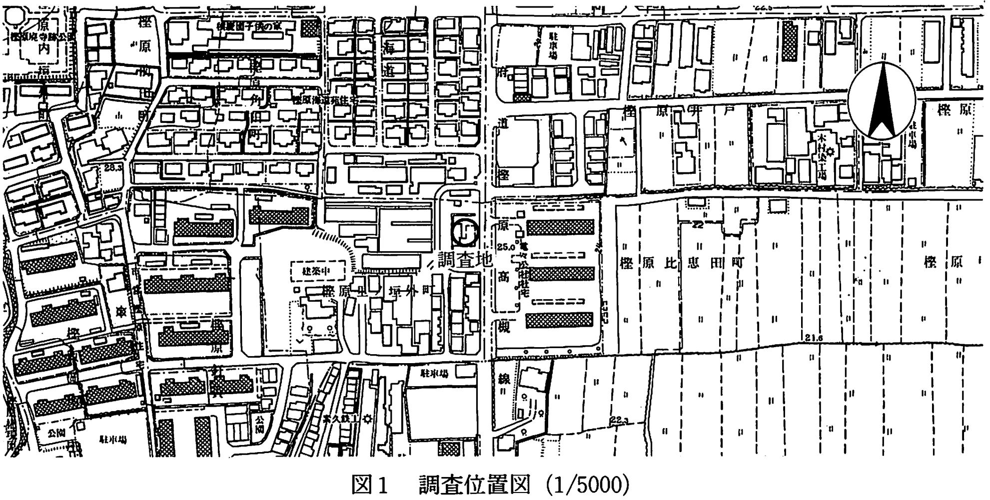


図１　調査位置図（1/5000）

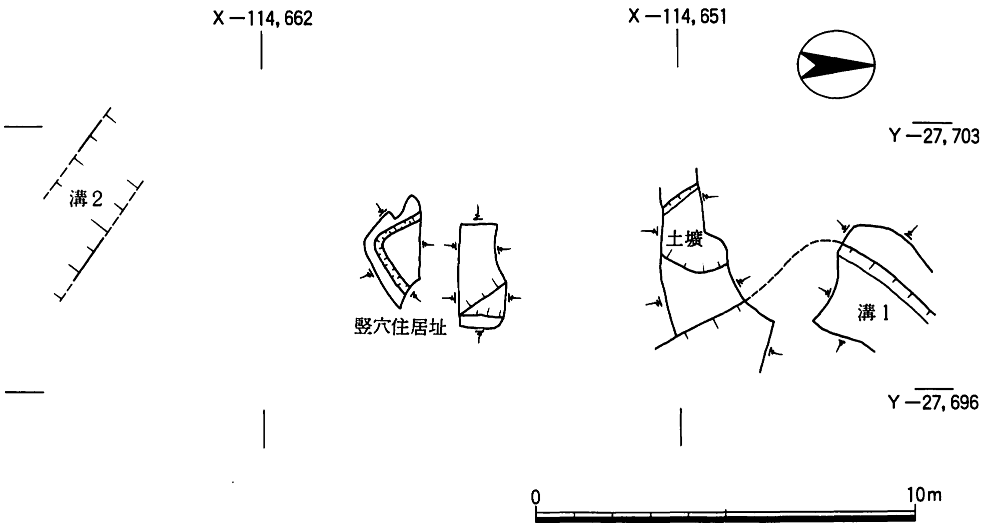


図２　遺構実測図(1/200)

溝１　北東から南西にかけての方向を示しており、土壙の東部で再び南東に向かって流れる。規模は幅2.3ｍ以上・深さ0.2ｍを測る。埋土は淡灰色砂層・淡灰色粗砂層・淡灰色砂礫層である。溝からは遺物の出土はなかった。

溝２　調査地南壁で確認しただけであるが、周囲の堆積土層から考えると、北西から南東の方向をもつものと思われる。埋土は上層から淡灰色粗砂・暗茶褐色泥土・淡灰色砂礫・暗茶褐色砂泥となっているが、溝の底部迄は確認していない。

遺物は住居址から古墳時代前期の土器が少量出土している。溝２からは弥生土器片が少量出土している。何れも小片で図化するには至らない。

３．まとめ

樫原遺跡での調査は今回で３件目である。うち１件は平安時代から室町時代の遺構が検出されたのみである。もう１件は昭和49年に同じ敷地内の東半部で試掘調査が行われており、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての南北溝が１条検出された。今調査分の溝との関係については明確ではないものの、当時の報告とを照らし合わせてみるならば、調査地南方で溝２と合流する可能性も考えられる。

今回の調査結果についての意義は、遺構がかなり削平を受けているものの、当遺跡で初めて住居址が検出されたことである。今後の調査如何では桂川右岸に点在する集落の一つとして位置付けられる可能性もある。

Ⅲ　巽　古　墳（UZ11）

１．調査経過

本古墳は、昭和61年７月10日、右京区山越巽町11-1外において宅地造成工事中に発見されたもので、市民の通報によって明らかとなったものである。通報を受けた京都市埋蔵文化財調査センターでは、技師を現場に派遣し、古墳の存在確認調査を行ったが確証を得られなかった。そこで、あらためて財団法人京都市埋蔵文化財研究所に試掘調査を委託した。調査期間は昭和61年７月17日から７月19日までの３日間の予定であった。

調査を開始してまもなく、石室の１部を検出し、明らかに古墳であることが判明した。古墳は大部分が破壊されているものの、数個の側石が原位置を保った状況であるため、発掘調査の必要性と十分なる調査期間が考慮されるに至った。しかしながら、諸般の事情により３日間の調査で終了せざるを得なかった。

なお、京都府遺跡地図（1972年、京都府教育委員会）によれば、門徳池西側に巽古墳の位置が記載してあり、全壊となっているが、その原位置および現状などの経緯が明確でなく、今回発見した古墳が巽古墳それ自体なのか、あるいは新発見の古墳なのか、現段階では判断できない。ここでは、本古墳を巽１号墳と命名し、周知の古墳を巽２号墳とする。

図３　調査位置図(1/5000)

2．遺　　構

墳丘　完全に破壊されており墳丘の形状は全く不明である。旧状では円墳の可能性がある。

内部主体　ほとんどの石材がすでに抜き取られていたが、わずかに残存した基底石と抜き取り穴から両袖の横穴式石室であったと思われる。復元数値は玄室部の幅2.45ｍ、長さ4.6ｍ、羨道部幅1.65ｍ、長さ5.5ｍを測る。両袖部の幅は西が0.3ｍ、東は0.5ｍである。使用された石材は幅1.0〜1.5ｍ、高さ0.8ｍ、厚さ0.4〜0.6ｍで比較的大型である。

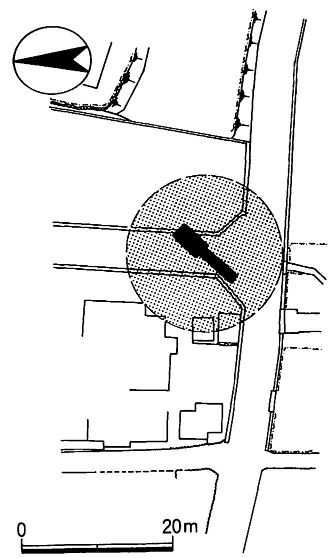


図４　巽１号墳位置図(1/1000)

石室の床面はほとんど削平され、玄室部の西壁沿いと羨道部の一部が残るのみであるが、板状の割石が敷かれている。石室の掘形は一部を検出したのみであるが、石室全体を囲むものであったと思われる。

3．遺　　物

出土した遺物は、須恵器の杯蓋・杯身・高杯・装飾付器台、刀子・鏃・馬具などの鉄製品がある。西側壁の奥壁沿いから杯身・蓋のセットが、西側壁に沿う敷石部と両袖部から鉄鏃などの鉄製品が出土している。他の遺物は羨道部からの出土である。

杯蓋（３）　口径13.8cm、器高3.4cmを測り、口径の割には器高が低く、また天井部が平坦なため扁平な感じの蓋である。口縁部はやや内傾し、端部は丸味をおびる。

杯身（１・２）　口径14.1cm、１の器高は3.6cmを測る。たちあがりは内傾し、受け部はやや上向きに外方へ伸びる。底部は浅く粗いヘラケズリを施す。内底面は一方向ナデ、他は回転ナデによる調整。

高杯（４）　裾部のひろがる長脚の高杯で、透しをもつ。回転ナデによる調整を施す。

装飾付器台（５）　杯部の縁辺に𤭯４個と壺３個のミニチュアを配した器台である。また、杯中央部に剥離面がありここにも壺が取り付けられた可能性がある。杯は浅く口縁端部は外方へひろがる。沈線により杯部を３分し、板状の施文具で上段より右上り、左上り、右上りの刺突文を施す。脚部は杯部との接続を欠くが３条一単位の沈線で分割し、各段に３

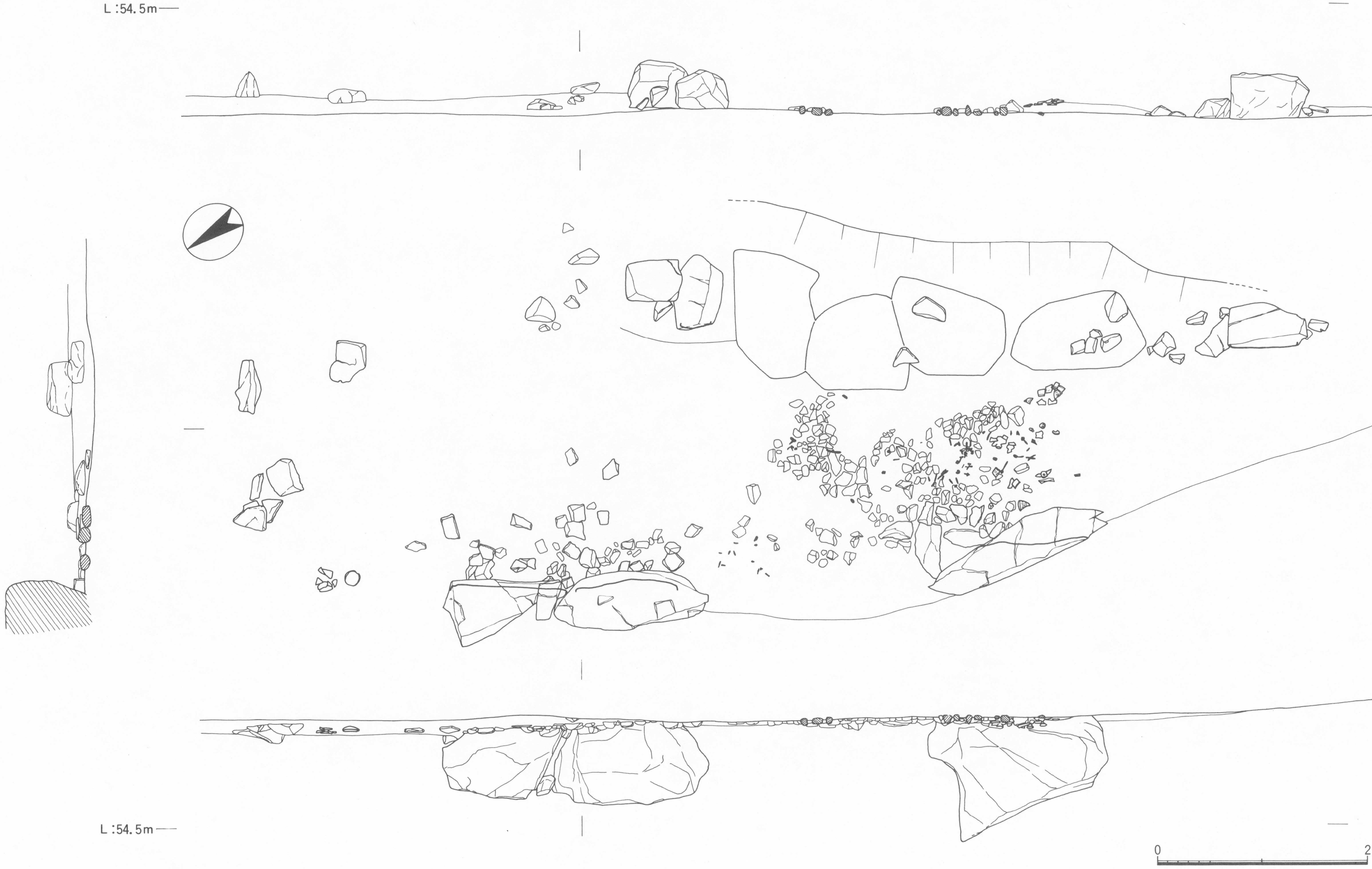


図5　巽１号墳石室実測図(1/50)

方向の三角形の透しをもつ。脚の器表最下段を除きカキ目調整したのち右上りの刺突文を施す。

鉄鏃(図版27－7、28－8)　長頸式と広根式の鏃がある。長頸式の鏃は刃部の下に細長い棒状体がついたもので柄との境に箆被を有する。刃部が長三角形で腸抉を有するものと刃部と棒状部の境が不明瞭な無関のものがある。平根式の鏃も短い棒状部を有し、刃部は三角形と長三角形を呈し、腸抉を有するものもある。

馬具(図版27－6、28－9)　金銅装の雲珠・飾金具・装飾鋲、鉸具・鞖の一部とみられるものなどがある。

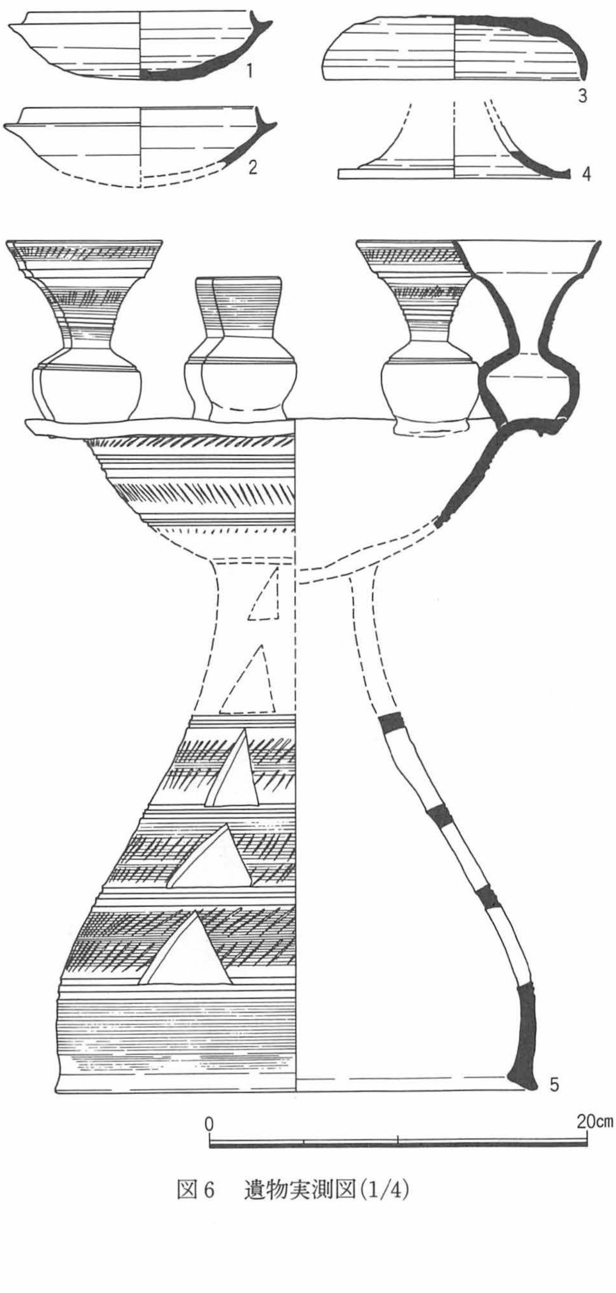


図6　遺物実測図(1/4)

4．まとめ

巽1号墳の調査は、大半が破壊されたのちの3日間という不十分な調査であったが、全長10.1mの両袖の横穴式石室をその内部主体とすることを明らかにすることができた。また、床面からは石棺の一部とみられる凝灰岩片が、面取りをしたものを含めて数個体確認されている。このように、巽1号墳は大型の内部主体をもち、金銅装の馬具・装飾付器台などのすぐれた副葬品を有することから、嵯峨野地区でも有力な古墳だと思われる。

Ⅳ　北白川廃寺跡（ＫＳ13）

１．調査経過

左京区北白川上別当町18及び大堂町47-3に鉄骨建物の新築工事が計画された。当該地は以前の周辺における調査などにより、北白川廃寺の寺域南辺部に推定されるところで、建物工事に先立ち昭和61年６月４日に試掘調査を行った。その結果、地表下0.4ｍにおいて数条の東西溝を検出したので試掘坑を拡張し、６月４・５の２日間調査を実施した。調査面積は、約50㎡であった。

２．遺　　構

敷地全体の層序は単一で、盛土の下に旧耕土層があり、以下は黒褐色泥砂の無遺物層となる。遺構はすべて黒褐色泥砂層上面で検出した。

ＳＤ１　幅0.8ｍ、深さは検出面より0.4ｍを測る。堆積土は、黒褐色泥砂層である。

ＳＤ２　古・新２時期ある。新のものは幅0.95ｍ、深さ0.32ｍ、古のものは幅約1.35ｍ、

図７　調査位置図(1/5000)

深さ0.32ｍの規模をもつ。堆積土はいずれも黒褐色泥砂層である。

両溝とも、東西方向でわずかに南へ振れる。溝の他には土壙を２基検出した。

ＳＫ３　ＳＤ１・２を掘り込んで成立する。長径1.3ｍ以上、短径0.9ｍ、深さ0.4ｍを測る。土師器、須恵器、瓦が出土。

ＳＫ４　ＳＤ１の北肩を掘り込む。長径1.5ｍ、短径1.0ｍ、深さ0.2ｍを測る。

３．遺　　物

出土遺物は少なく整理箱で１箱あるが、微片のものが多く、おおよその時代を知れるもので図示するまでには至らなかった。

ＳＤ１より出土した遺物には須恵器杯蓋・杯身などがある。杯蓋は口端部の内面にかえりをもつもので７世紀後半代のものである。

ＳＤ２より土師器杯、須恵器壷・甕、平瓦など９世紀前半の遺物が出土している。また縄文後期の浅鉢および弥生土器の高杯などの破片が数点混入している。

ＳＫ３より土師器皿・杯・甕、須恵器甕、丸瓦などが出土。いずれも平安前期のものである。

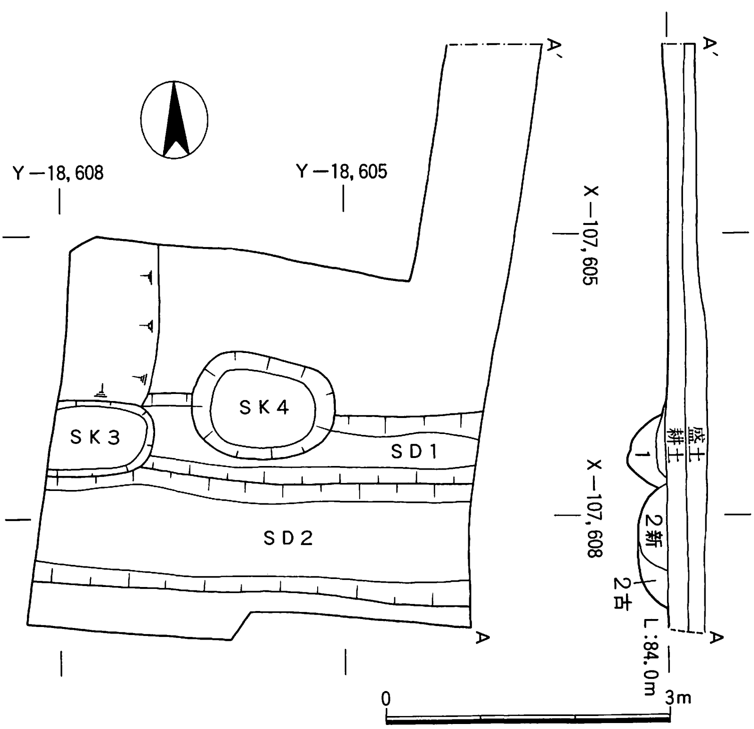


図８　遺構実測図(1/80)

４．ま と め

今までの周辺の発掘調査で明らかとなっている塔跡、東方堂宇跡などの位置からみて、今回検出した東西溝は北白川廃寺の南辺付近に位置するが、調査地が狭く出土遺物も少なく、溝の成立期が不確定でもあり、溝の性格を決定することは困難である。今後の周辺における調査に期待したい。

V　森ヶ東瓦窯跡（UZ18)

1．調査経過

右京区太秦和泉式部町の道路及び農地で、公共下水道工事のための竪坑を建設することが計画された。当該地は古墳時代前期の集落遺跡としての和泉式部町遺跡・平安時代中期の森ヶ東瓦窯跡の範囲と推定されているために、立会調査を実施することとなった。調査は昭和61年11月17・18日に行った。

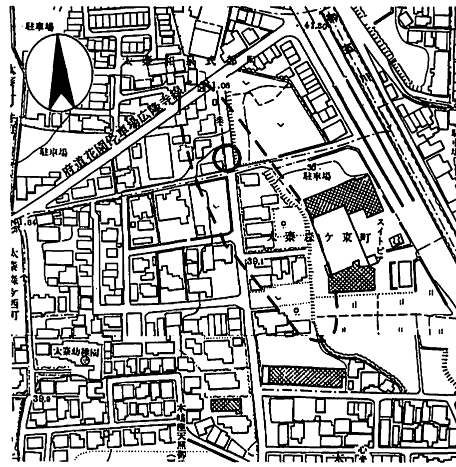


図9　調査位置・遺跡範囲推定図(1/5000)

2．遺　　構

調査の結果、瓦窯1基及び灰原を検出した。次にその概要を報告する。

瓦窯の遺存状況　調査地の南西隅で、現地表下0.5mで黄褐色砂礫層を切って検出した。東西方向の主軸で西側に焚口を持つ平窯である。燃焼室の一部と焚口は調査地外であるため、又燃焼室の大半が既設管によって破壊を受けており、確認できたのは燃焼室と焼成室の境部のみであった。

燃焼室　検出した範囲内では30cmの段差を認め、暗茶灰色泥砂（炭混）層が堆積している。その中から4点の軒平瓦が出土している。床面は掘込んだ面を粘土で仕上げる。側壁は平瓦と粘土を交互に重ね合わせて構築し、側面を粘土を塗って仕上げている。床面は修復を受けた形跡はあるようだが、明確には確認できなかった。

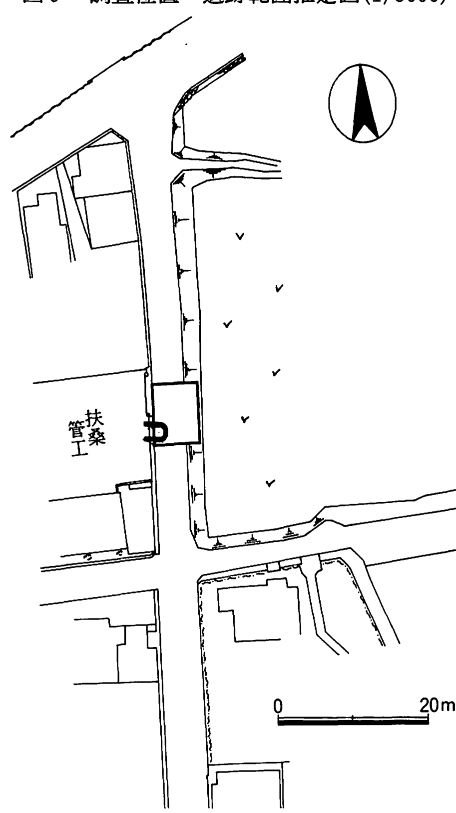
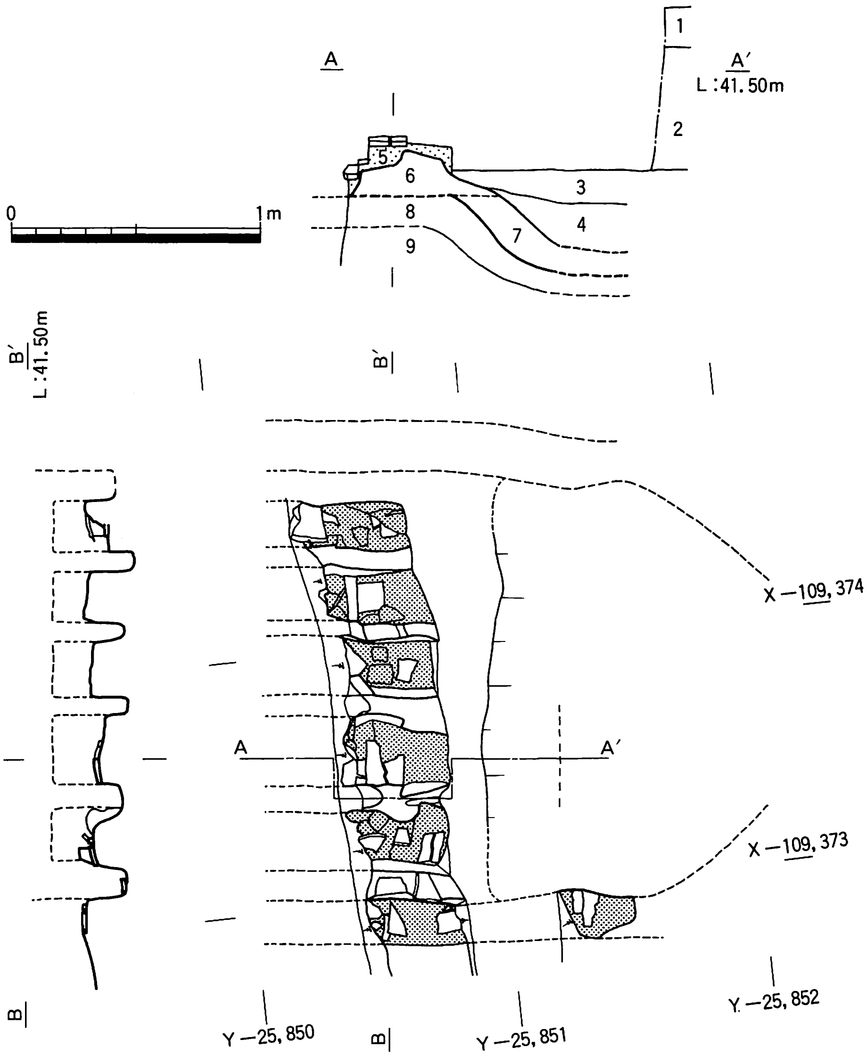


図10　調査地平板図(1/1000)



1	暗茶灰色泥砂	6	焔道部
2	暗茶褐色泥砂	7	粘土
3	燃焼室上層	8	暗黄褐色砂礫(赤変)
4	燃焼室下層	9	暗黄褐色砂礫
5	分焔壁	▒	スサ入り粘土

図11　遺構実測図(1/30)

焼成室　検出幅は1.75ｍ。焼成室の掘形は逆台形を呈しており、底部はほぼ水平である。焼成室の分焔壁（ロストル）は５条あることを認めた。分焔壁（ロストル）の残存高は床面から最大18cm・幅20～28cmであり、焔道部の幅は７～10cmであった。燃焼室側壁と同様平瓦と粘土を交互に重ね合わせて作り、側面を粘土で仕上げる。側壁は幅18cmで、分焔壁（ロストル）と同様の方法で作っている。

灰原　検出した瓦窯の北で、現地表下1.4～1.6ｍで黒色砂泥層が認められた。この土層は北に向かって下っていく。黒色砂泥層からは瓦が多量に出土しており、炭も多量に混入しているため、灰原と考えている。軒丸瓦が１点出土。ベースは黄褐色砂礫である。

これも種々の攪乱のため明確な範囲は確認できなかったが、少なくとも1.5ｍ以上の範囲にわたっており、更に北へ拡がるのは確実である。検出した瓦窯の焚口方向や位置関係を

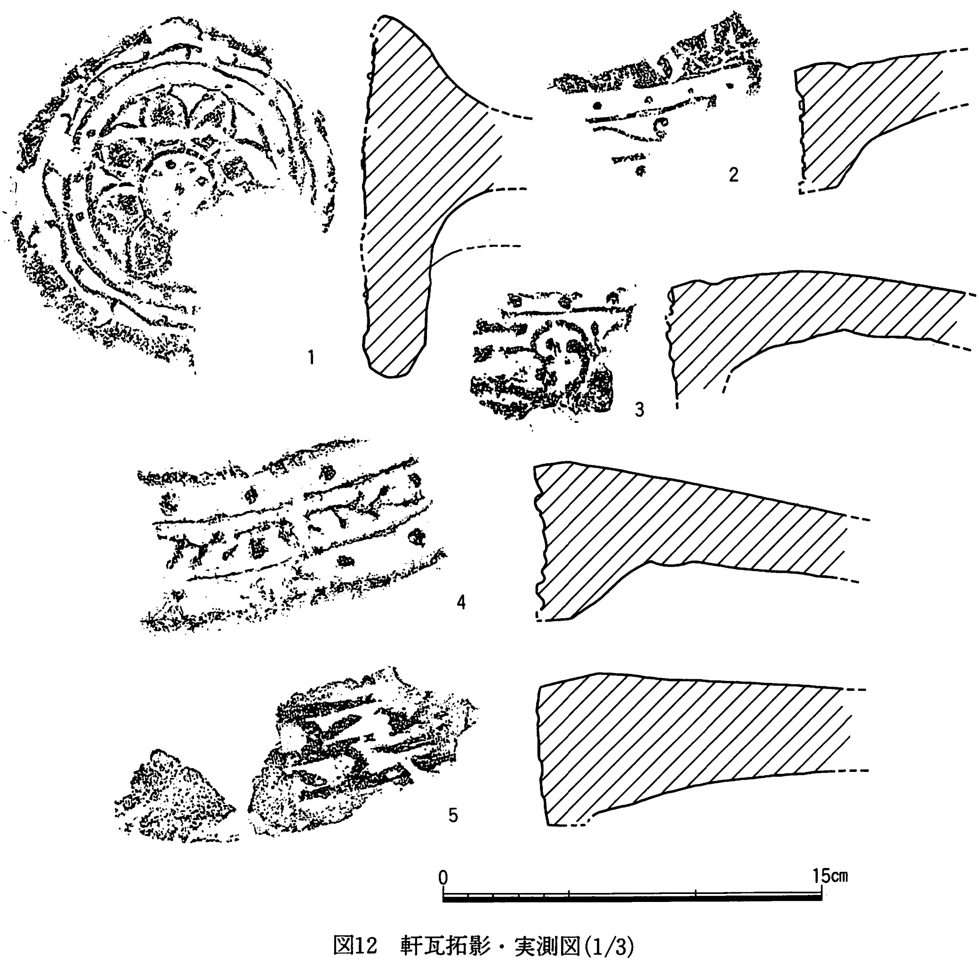


図12　軒瓦拓影・実測図(1/3)

検討しても、別の窯から排出したものと考える。

3．遺　　物

瓦窯址及び灰原から多数の瓦が出土している。土師器皿も若干の出土を見るが、ここでは瓦についての報告をする。

1 **単弁八葉蓮華文軒丸瓦**　灰原より出土。外区が二重になり、外側には唐草文を、内側に珠文を配す。周縁は成形時の指押えにより凹凸が著しい。瓦当部は楕円形である。胎土は砂粒を含み精良、焼成は良く、青灰色を呈する。

2 **唐草文軒平瓦**　燃焼室下層より出土。瓦当外周側面及び下部はヘラ削りを行う。瓦当上端まで布目痕が残る。平瓦部凸面は指圧痕が明瞭に残る。胎土・焼成ともに1と同じ。

3 **唐草文軒平瓦**　焼成室下層より出土。顎部を欠く。瓦当外周上部はヘラ削りを行う。平瓦部凹面はヘラ削りののちナデ調整を施し、布目痕は消滅する。凸面は指押えののちナデ調整する。胎土は微砂粒を含み堅緻である。焼成は良好で暗青灰色を呈する。

4 **唐草文軒平瓦**　燃焼室下層より出土。瓦当外周をヘラ削りする。平瓦部凸面はヘラ削りののちナデ調整を施す。凹面は布目痕が明瞭で、瓦当及び平瓦部凹面に溶滓が付着する。胎土は微砂粒を含み堅緻である。燃成は良好で暗青灰色を呈する。

5 **唐草文軒平瓦**　焔道部より出土。瓦当文様が浅いため詳細は不明である。瓦当外周を丁寧にヘラ削りをする。平瓦部凸面は指圧痕が明瞭に残る。胎土は砂粒を含み精良である。燃成はやや甘く灰白色を呈する。

4．ま と め

「森ケ東瓦窯跡」での調査は、発掘調査は未だ実施されていないが、立会調査を中心として幾度かの調査が行なわれてきた。その結果、瓦の散布は見られるものの明確な瓦窯及びそれに伴う遺物包含層の検出はなかった。そのような意味からも、今回の調査による瓦窯の発見は、初の検出というだけではなく、平安時代中期には実際に瓦生産が行われていたことを示すものである。又、既に行なった調査結果をもとに瓦の出土地点を検討してみると、北西から南東にかけて並ぶのではないかとみられ、それらが実際の窯の在り方に伴ったものであるか否かについては発掘調査等による確認を待たなければならないが、図9のように想定してみた。

Ⅵ　平安京右京八条二坊（60年度ＨＲ188）

１．調査経過

下京区七条御所ノ内本町74に鉄骨建物の建設が計画された。当該地は、平安京右京八条二坊十二町に相当し、また平清盛・西八条第の鎮守社としての伝承をもつ若一神社に隣接するところである。昭和61年２月５日に建物基礎工事の立会調査を実施したところ、敷地東部において木枠組の井戸１基を検出した。遺存状態がきわめて良好なため、京都市埋蔵文化調査センターに連絡を行い、十分なる調査期間の必要性を要請した。センターは土地所有者と協議したが、諸般の事情により、２月21日の１日のみ調査日が設定された。以上のような制約のもとに実際の調査においては、井戸の完掘を主とし、見透し図等は略測にとどめ、後日板枠を復元し補塡することにした。

２．遺　　構

井戸は方形の木枠組で、地表下約1.2ｍ（標高18.20ｍ）において検出した。掘形は、東

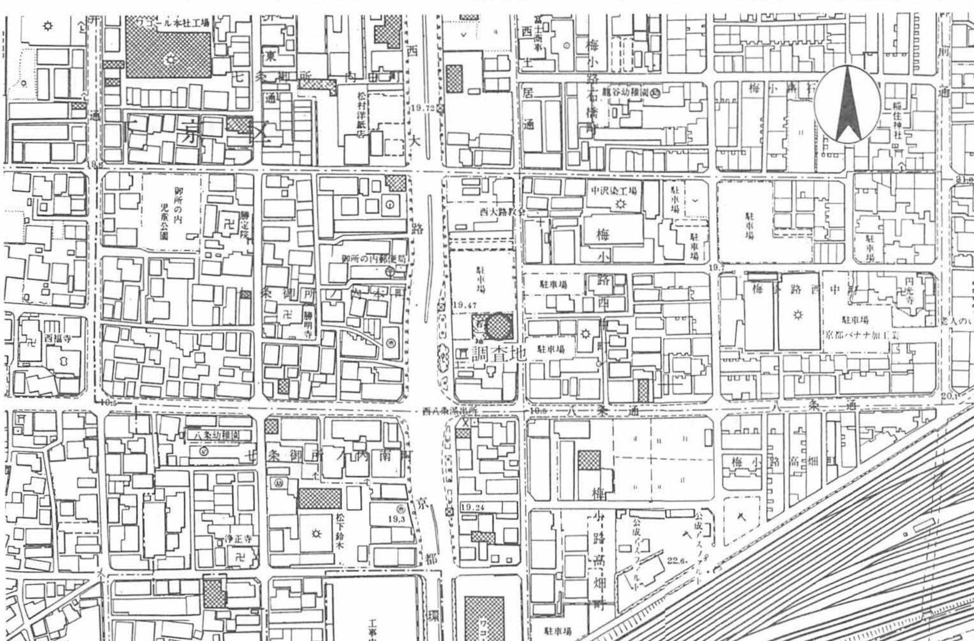


図13　調査位置図(1/5000)

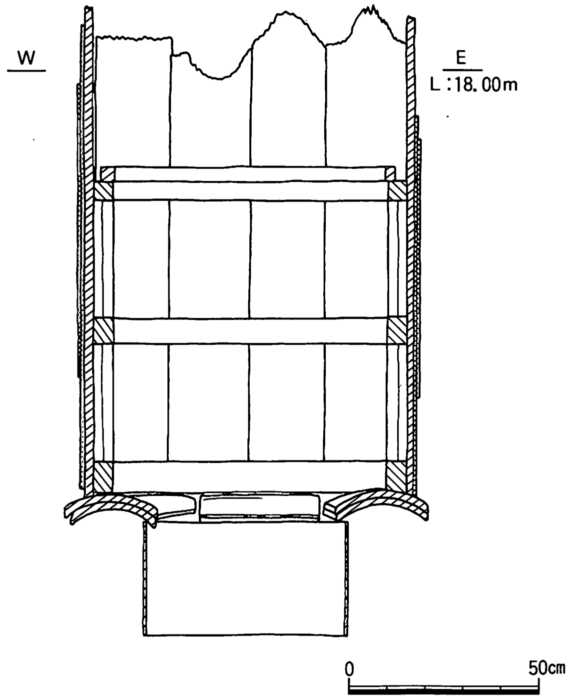


図14　ＳＥ１復元模式図(1/20)

西約５ｍ、南北３ｍ以上の隅丸方形に近い形状を示し、深さは1.8ｍを測る。木枠は、幅0.2ｍ前後の縦板４枚を一辺とし、横桟をかまして四方を支持し、横桟の上下を隅柱をもって固定する。横桟は３段残存するが、上段の横桟は上下２段にして支持強化されている。側板の背部には裏込め板をさらに２重に巡らす。井戸の最下部には、径0.54ｍ、深さ0.3ｍの曲物を据え、曲物上部周縁に平瓦を２段にして四方に置き井戸底を形成する。

井戸内埋土は、曲物内の腐植土層（第８層）と、その上部の埋土（第１～第７層）とに大きく分かれる。第１～第７層より出土した土器群は、相互に接合する状況を呈し、これらを包含する土層は一時に埋められたものと考えられる。

３．遺　　物

出土遺物は、整理箱にして土器類が１箱、瓦類が10箱あり、その他に木製品、銭貨などがある。

土器類(図15－１～23)　井戸掘形内より出土した土器類には、土師器皿(１～６)、瓦器皿・椀（７・８）などがある。土師器皿には大小２種類があり、いずれも口縁部をヨコナデし、端部をナデつける。瓦器皿(７)は口縁部内面を横方向にヘラ磨きを行い、内面底部に格子状のヘラ磨きを施す。口縁部外面はヨコナデ、底部外面は指圧痕が残り不調整。８は口縁部・体部内面にヨコ方向のヘラ磨きを密に施し、底部内面に格子状のヘラ磨きを施す。口縁部外面には数条のヘラ磨き痕がみられるが、体部外面は指圧痕が残り不調整のま

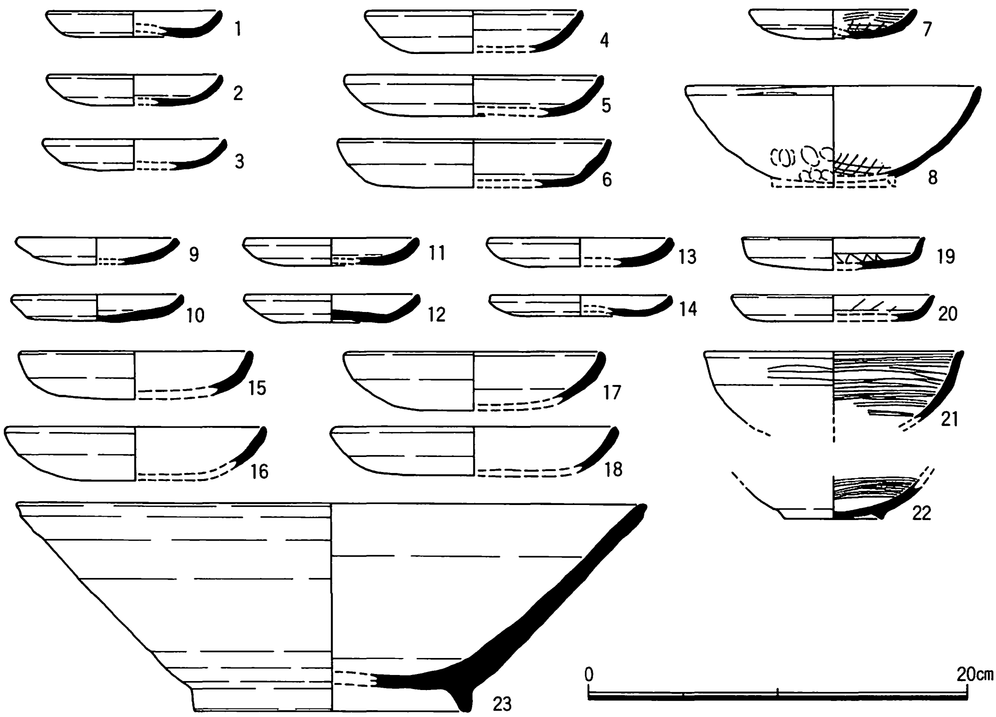


図15　遺物実測図(1/4)

までである。井戸枠内より出土した土器類には、土師器皿、瓦器皿・椀、須恵器甕・鉢、白磁碗、青磁水注などがある。土師器皿（9～18）には大小2種類あり、掘形出土のものと調整手法ともに同じである。瓦器皿（19、20）は、口縁部をヨコナデし、底部外面は不調整のままである。内面は口縁部と底部の境に数条のヘラ磨きを施し、底部にはジグザグのヘラ磨きを施す。瓦器椀（21、22）は、口縁部外面に数条のヘラ磨きを施す。体部内面にもやや粗いヘラ磨きを施す。須恵器鉢(23)は、口径33.5cm、器高11.1cmの大型品である。内面上半に自然釉が付着し、内底部はきわめて滑らかで相当使用された痕跡をとどめる。胎土は灰色で黒色微粒子を多量に含む。東海系のものである。

瓦類(図16・17・18)　軒丸・軒平瓦、丸・平瓦がある。ここでは井戸枠内より出土した軒瓦（24～30）と掘形より出土した軒瓦（31・32）について述べる。

三巴文軒丸瓦(24、25)は、突出した内区をもち、右回りの巴文は末端まで約半周する。外区には珠文を31個配し、珠文帯の外に1条、内に2条の圏線をめぐらす。瓦当外周はヘラ削りののちナデ調整を施し、丸瓦部凸面は縦方向のヘラ削を行う。瓦当裏面下半は平滑に仕上げ、上半には指圧痕が残る。胎土は白色砂粒を多く含み精良、焼成は良好で灰色を

呈する。四天王寺中門西南出土瓦に同笵例がある。

均整唐草文軒平瓦(26～29)　26～28は共に半截花文の中心飾りをもつ。瓦当外周は丁寧なヘラ削りを施す。平瓦部凸面は平滑に仕上げ、凹面には布目痕が残る。また瓦当外周上端にも1部布目痕が残る。胎土、焼成とも三巴文軒丸瓦と同じである。

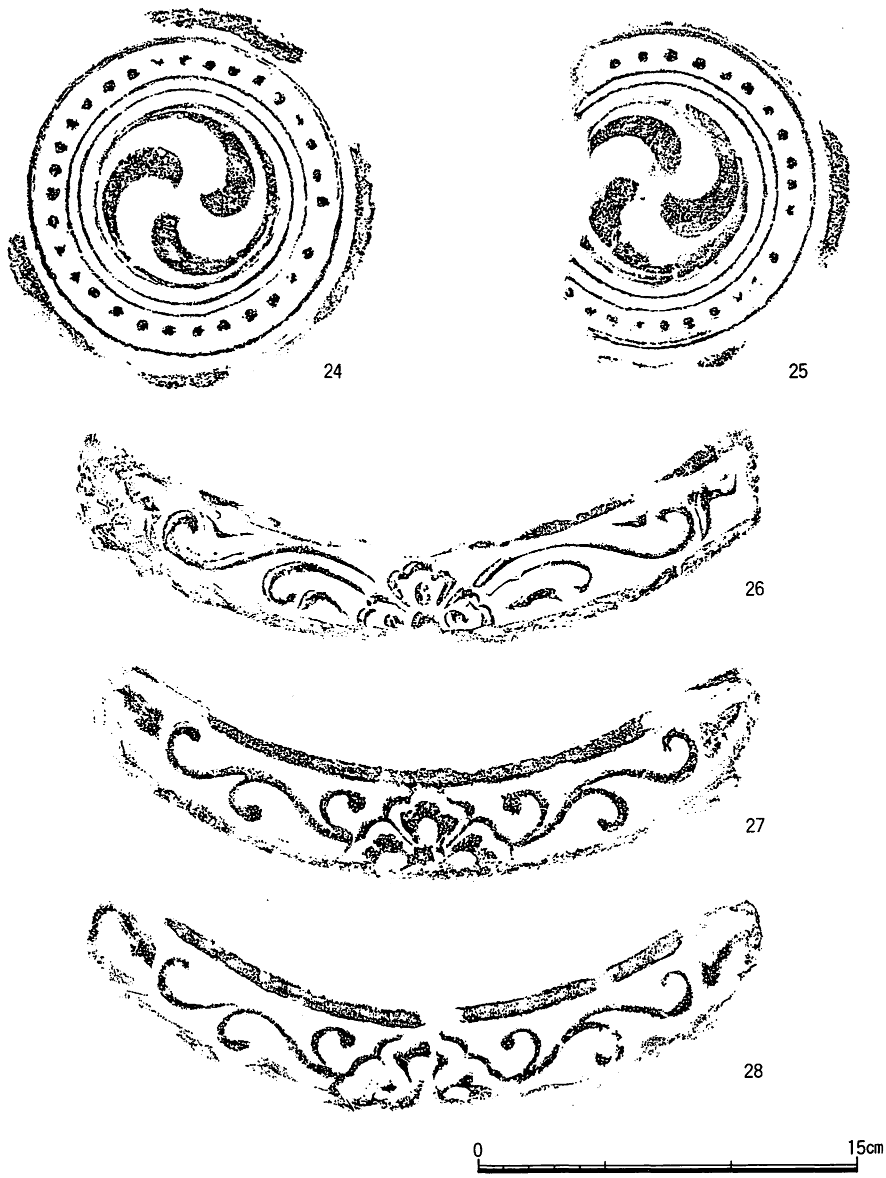


図16　軒瓦拓影図(1/3)

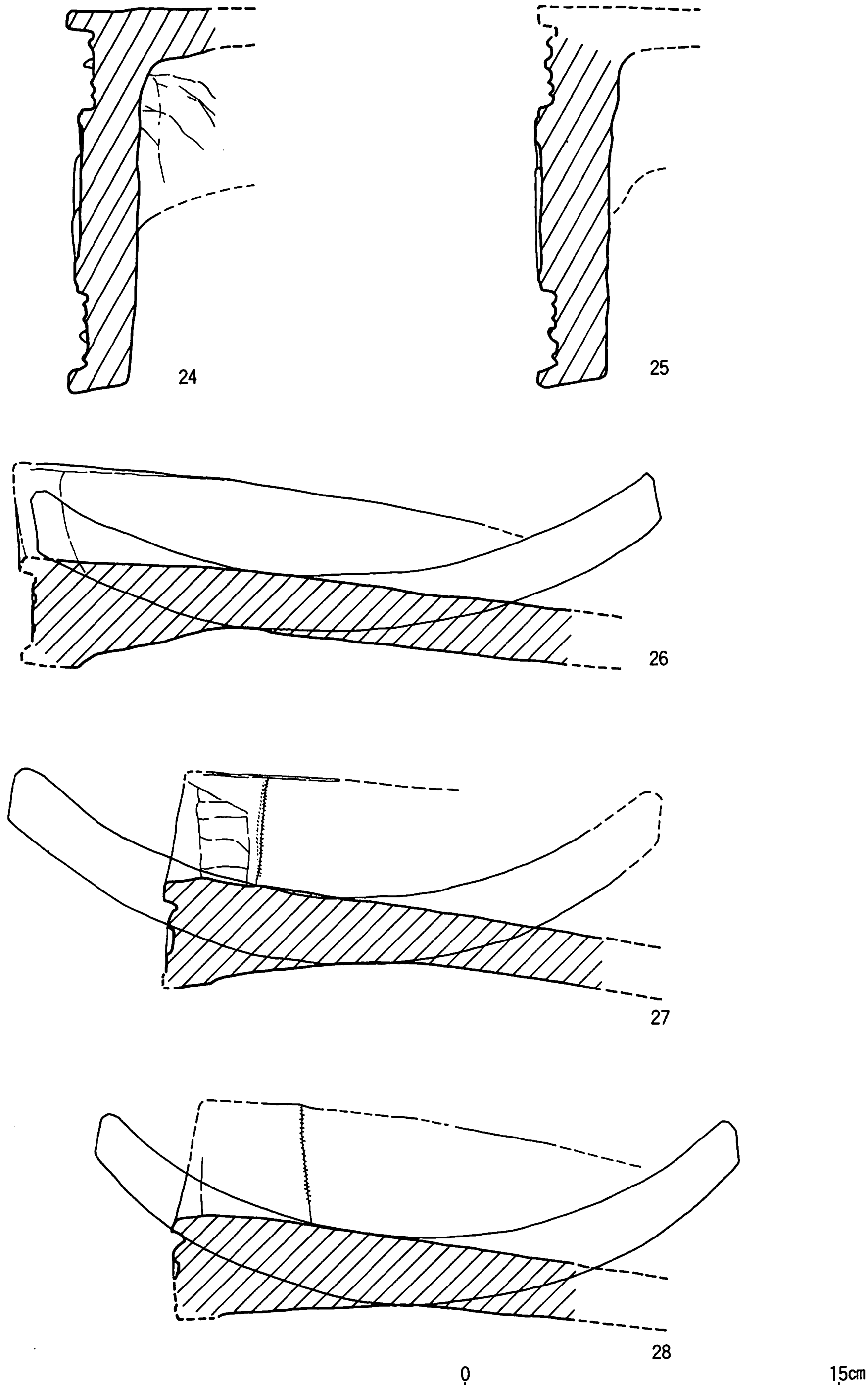


図17　軒瓦実測図(1/3)

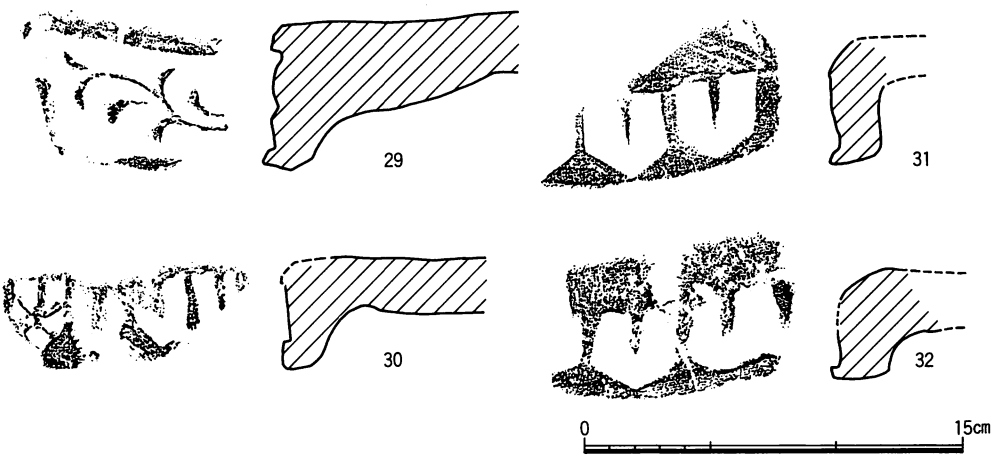


図18　軒瓦拓影・実測図(1/3)

29の瓦当外周は丁寧なヘラ削りを施す。平瓦部凸面は指圧痕が顕著に残り、凹面は瓦当周縁まで布目痕あり。瓦当面には厚く釉薬（自然釉あるいは灰釉）がかかり、平瓦部凹面・側端部にもおよぶ。胎土は緻密で灰白色を呈し、焼成は良好で堅致である。瓦当成形は半折り曲げ式で、岩倉南ノ庄田瓦窯の成形技法の流れを汲む。大府吉田窯産である。

剣頭文軒平瓦(30～32)　30は中央の剣頭文に「×」状の文様を加える。30～32ともに瓦当外周はヘラ削り調整を行う。30の平瓦部凸面は平滑に仕上げる。31・32の顎部下端および平瓦部凸面には縄目叩き痕が残る。30～32ともに瓦当面に布目痕残り、折り曲げ式技法によって成形されている。いずれも胎土は砂粒を多く含み、焼成はやや甘い。30は褐灰色、31・32は灰白色を呈する。

木製品(図版16・17・18)　長方形曲物、円形曲物、箱、柄杓などがある。それらの内、長方形曲物は井戸側板の裏込め板として転用使用されていたもので、箱型木製品、柄杓は井戸底を形成する円形曲物内より出土したものである。

長方形曲物(図版16・17)で全形がわかるものには、34と40・41がある。33は残存長123.8cm、残存幅47.4cm、厚さ0.5cmである。短辺には３個所の結合孔がある。長辺には３個所の結合孔が残存。中央長辺に５個所の結合孔が認められるが、欠損部にあと２個所あろう。１部に樺皮が残存。34は長径132.0cm、短径53.5cm、厚さ0.9cmを測る。長辺２個所、短辺１個所ずつ、計６個所の切り込みがある。結合孔は短辺２個所ずつで対称的に穿たれているが、長辺はおのおの２個所および３個所認められるが非対称である。35は残存長107.4cm、短径25.4cm、厚さ0.8cmで下辺の１個所に切り込みがあり、その上部に結合孔がある。内側の一端に縦方向のケビキを入れ、ケビキ破損部の木口に２本の竹釘が残存する。

36は残存長114.6cm、短径27.0cm、厚さ0.6cmである。横板に厚さ0.2cm程の薄い縦板を重ね、横桟を3本わたして、それぞれ結合孔を穿ち、樺皮で綴じる。横桟は2枚継ぎ重ねる。内側に縦方向のケビキを入れる。40・41の結合孔は長辺で2個所、短辺で2個所である。40の長径75.4cm、短径48.0cm、厚さ0.8cm、41の長径75.5cm、短径45.3cm、厚さ0.8cmである。

以上の長方形曲物の材質はすべてヒノキの柾目板である。

箱（図版18−42）は底板1枚と側板4枚の組合せ箱である。側板の組合せは、両端が出枘になるものと切欠きになるものが交互に組合う。枘部には各2孔の釘孔をあける。底板は1端を欠くものの、出枘のある側板部には各3孔の釘孔をあけ、切欠きのある側板部には6孔ないし7孔の釘孔をあける。切欠きのある側板の上部両端に、2次的に穿いたとみられる各2孔の釘孔が認められる。いずれも釘は残存しない。箱の内径16.1cm四方、残存内高11.0cmである。材質はヒノキで厚さ0.9cm程である。

その他の木製品としては、竹の柄枘の身がある。

金属製品としては、銅銭が1枚井戸内第2層より出土している。至道元寳と読める。

石製品としては滑石製の羽釜片が出土している。

4．まとめ

出土遺物からみた井戸の成立期は、12世紀後半に造られ、13世紀前後には廃絶したものと考えられる。井戸枠の形成部材として、裏込め板に転用されていた長方形曲物は「延喜式」にみえる長櫃、折櫃に比定できる。33〜36が長櫃の蓋板、底板、横板になる。「鳥獣戯画」に描かれているものに酷似する。40・41は折櫃の底板である。また、箱は上部を欠き全形を知り得ないが、構造的には枡の形態的特徴を有する。平安末期の枡としては大阪府松原市出土のものに例があるが、それとは内径が等しいものの、高深(8.3cm）が相違する。なお、長櫃については、宮内愁（九州芸術工科大学)氏の、箱については、篠原俊次（京都府計量検定所)、川嶋将生（京都市歴史資料館）各氏より多大な御教示を得た、末尾ながら、記して感謝の意を表したい。

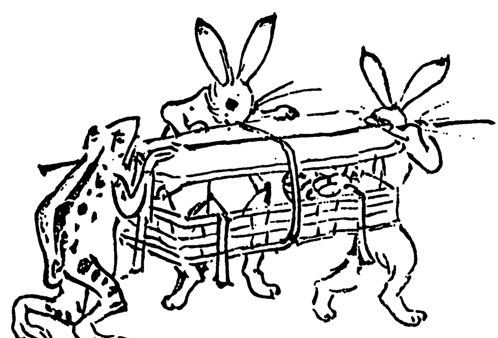


図19　鳥獣戯画(日本常民生活総引　平凡社)

表1　ＳＥ１出土植物種実分析

木本

番号	和名	科名	出土部位	4層	5層	7層	曲物内
1	マツ	マツ	葉・種子				1・1
2	クルミ	クルミ	核	1	—	—	1
3	ムクノキ	ニレ	核				1
4	クワ	クワ	核	—	—	1	2
5	カジノキ	クワ	核				1
6	ウメ	バラ	核	—	破片	—	1
7	モモ	バラ	核	1	破片	1	—
8	サクラ	バラ	核	1	—	—	—
9	サンショウ	ミカン	種子	1	—	—	3
10	センダン	センダン	核	2	破片	2	4
11	カエデ	カエデ	果実				1

草本

番号	和名	科名	出土部位	4層	5層	7層	曲物内
1	アサ	クワ	種子	1	—	1	10
2	タデ	タデ	果実	3	—	4	28
3	ソバ	タデ	果実				1
4	イヌビユ	ヒユ	種子	2	—	—	13
5	ハコベ	ナデシコ	種子	1	—	1	10
6	アブラナ？	アブラナ	種子	9	—	36	97
7	マメ	マメ	種子	1	—	—	—
8	カタバミ	カタバミ	種子	—	—	1	1
9	シソ	シソ	果実				3
10	エゴマ	シソ	果実	1	—	—	—
11	ナス	ナス	種子	11	—	30	88
12	ウリ	ウリ	種子	—	1	2	22
13	カラスウリ	ウリ	種子	1	—	—	—
14	タカサブロウ	キク	果実	2	—	4	2
15	イネ	イネ	果実	5	—	2	3
16	ムギ	イネ	果実	—	—	2	9
17	ホタルイ	カヤツリグサ	果実	1	—	6	20
18	イボクサ	ツユクサ	種子		—	1	1

井戸内出土植物種実の分析

資料　井戸内の４層、５層、７層、曲物内の土壌をそれぞれ４リットルずつ採取し、１㎜メッシュのフルイで水洗し、残渣から植物種実を拾いだし同定を行った。

木本　８科11種を検出した。クルミ、ウメ、モモは搬入品、マツ、ムクノキ、クワ、カジノキ、サクラ、サンショウ、センダン、カエデは周辺に生育していたものであるかもしれない。以上は平安京から良く出土する内容である。

草本　14科18種を検出した。うちアサ、アブラナ、マメ、エゴマ、ナス、ウリ、ムギ、イネは栽培植物である。その他は人里植物と呼ばれるものである。

参考文献　平安京東市外町の調査　平安学園考古学クラブ　1986

Ⅶ　鳥羽離宮跡（60年度ＴＢ53）

Ⅰ．調査経過

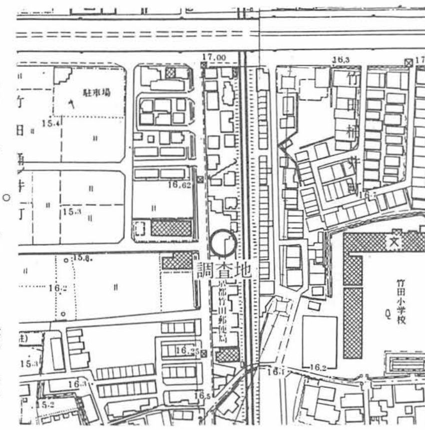


図20　調査位置図（1/5000）

京都市高速鉄道烏丸線の南進工事における竹田駅工区で実施していた立会調査において、昭和61年３月１日に鳥羽離宮期の遺構・遺物を発見した。この地点は、京都市遺跡台帳の地図では鳥羽離宮遺跡の周知の遺跡範囲東限から約10ｍ程度ではあるが東外側に位置している。このため京都市埋蔵文化財センター・財団法人京都市埋蔵文化財研究所・京都市交通局など関連機関が協議した結果、工事が未だ行われていない残された範囲に調査区を設定し、遺構の状況を確認すべく試掘調査を実施することとなった。調査は、南北2.2ｍ×東西10ｍのトレンチを設定し、昭和61年３月11日から開始して同年３月20日には完了した。

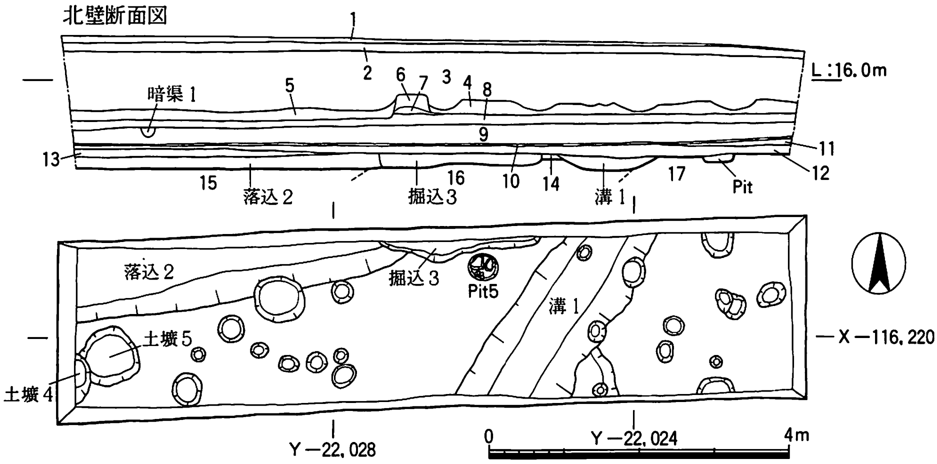
２．遺構・遺物

調査によって、鳥羽離宮期の遺構面において、溝、ピット、土壙、落ち込みなど各種の遺構を検出した。各遺構からは、土師器、須恵器、瓦器、輸入陶磁器など多数の土器類を中心に他に少量の木製品などの遺物が出土している。以下では同遺構面で検出した主要遺構について記す。

溝１　調査区を北東から南西方へ走り、断面形状は浅い皿状を呈する。堆積土は、シルト混りの砂質土である。溝内からは、土師器皿、瓦器椀、須恵器甕などが出土している。出土遺物から判断して鎌倉時代前半代までには埋没しその機能が失なわれている。

落ち込み２　深さが成立面から15cm程度の浅い不定形の遺構である。堆積土は、シルトを主とする。溝内からは完形を含む一定量の土師器皿と瓦器椀および下駄など少量の木製品が出土している。遺物は、平安時代後期に比定できるものが主であり、遺構の埋没は同後期中である。

ピット　一定数を検出している。ピット５では、底部に根石が設置されていた、礎石等は残存していなかったが明らかに柱穴である。他にも柱穴と見られるピットもあったが対



1 表土
2 オリーブ黒色泥砂層
3 黒褐色泥砂層
4 オリーブ黒色泥砂層
5 オリーブ黒色シルト層
6 暗緑灰色シルト
7 オリーブ黒色泥砂
8 灰オリーブ色泥砂層
9 オリーブ黒色シルト層
10 灰色礫層
11 オリーブ黒色シルト層
12 オリーブ黒色泥砂層
13 オリーブ黒色泥砂層
14 暗緑灰色粗砂層
15 暗緑灰色砂礫層
16 灰オリーブ色砂礫層
17 灰オリーブ砂層

図21　遺構実測図(1/100)

応するものは確認できなかった。各ピットからは、土師器皿、瓦器椀、須恵器鉢・甕などが少量ずつではあるが出土している。出土遺物の時期は、平安時代後期のものが中心であるが鎌倉時代に入るものが出土しているピットもある。

上述した遺構面のベースを成す第14～17層は、砂・砂礫を主とする自然堆積層である。また同面上に堆積している第12・13層は、第10・11層を含めて鎌倉時代の一連の整地土層の可能性が強い。これらの土層からは、鎌倉時代の遺物の他に平安時代後期の土器類、瓦類も多数出土している。なお第4～9層は、中世以降の耕作土およびその関連土層であり、第1～3層は現代の積土層である。

3．まとめ

今回実施した調査によって、鳥羽離宮期の各種遺構および遺構面の広がりを確認できた意義は大きい。調査面積が狭小なこともあり各遺構の性格を把握するまでには至らなかったが、これによって鳥羽離宮遺跡が現在の周知の東限よりさらに東方へ広がっていることが明確となった。

Ⅷ　室町殿跡

１．調査経過

調査地点は上京区烏丸今出川上ル御所八幡町110-5に所在する。民家建替えに伴い試掘調査が行われ、庭園遺構の一部と推定される石組遺構が検出されたことにより、発掘調査に切換え実施する運びとなった。調査は1986年９月25日に開始し、10月11日に終了した。

調査地点は、推定室町殿の北東寄りに位置する。室町殿は足利義満が造営に着手、室町幕府の置かれた将軍家の邸宅で、花の御所とも称された。花樹・苑池を誇る室町殿も、焼失・再建が繰返され衰亡して行く。桃山時代には豊臣秀吉によって聖護院が当該地に移転されるが江戸時代には焼失し、調査地点に北接する大聖寺が建立され現在に至っている。

調査区は、敷地面積が狭小かつ遺構面が深いこと、排土場所の確保などを考慮し、北・南の２箇所に３×6.5m ・３×３ｍの１・２区を設定した。調査の結果、石組遺構、礫敷遺構などを検出した。なお発掘調査終了後の10月13日から17日まで、擁壁工事に伴い立会調査を行った結果、敷地東・西端から隣接地にかけてそれぞれ庭石を検出した。

図22　調査位置図(1/5000)

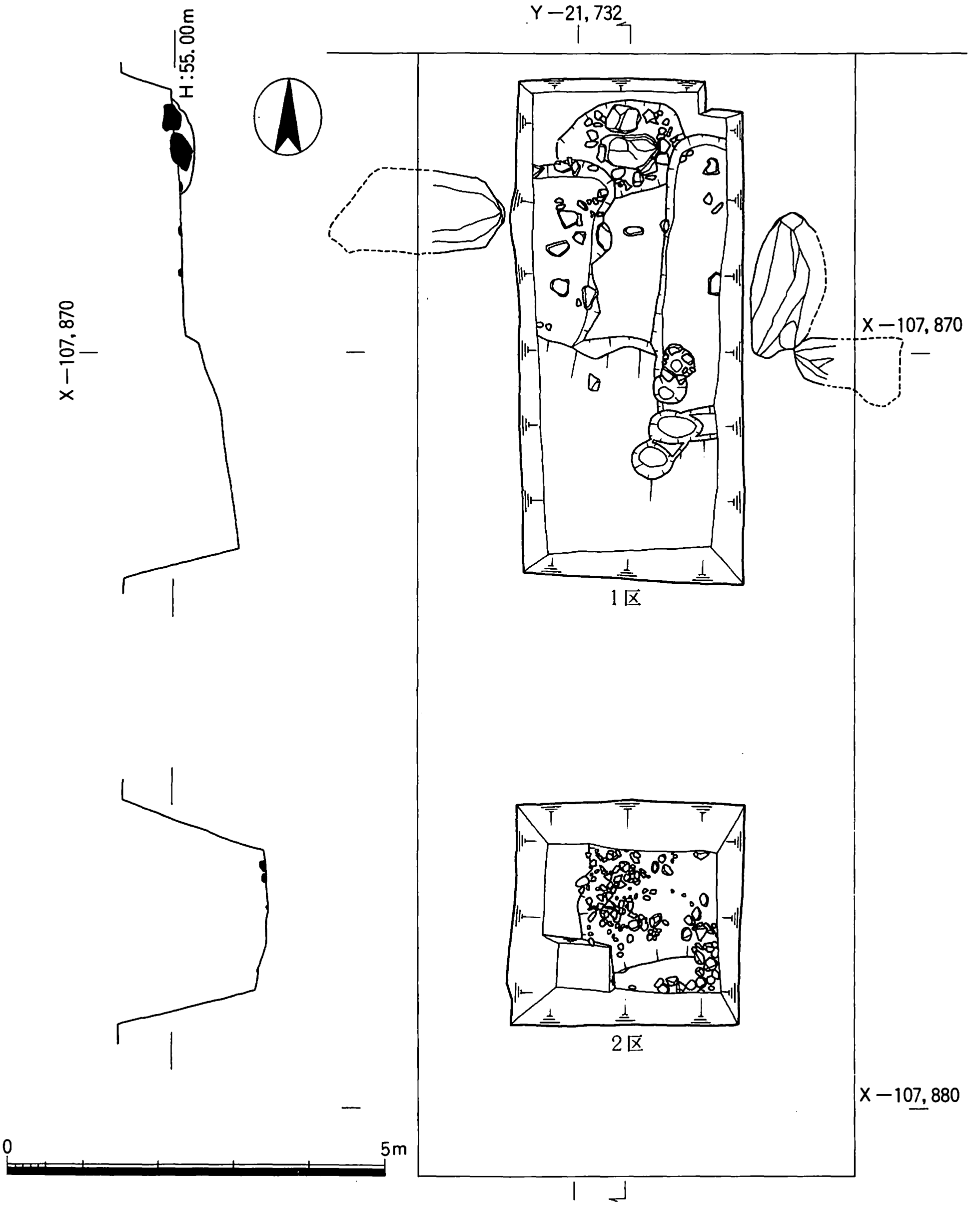


図23　遺構実測図(1/100)

2．遺　　構

調査区の層序は、現表土下の焼土層を除けばほぼ全体に南に向かって緩傾斜を呈する。褐色砂礫(３)層は１区中央から南に厚く堆積し、２区では厚さ約１ｍに達する。暗褐色泥

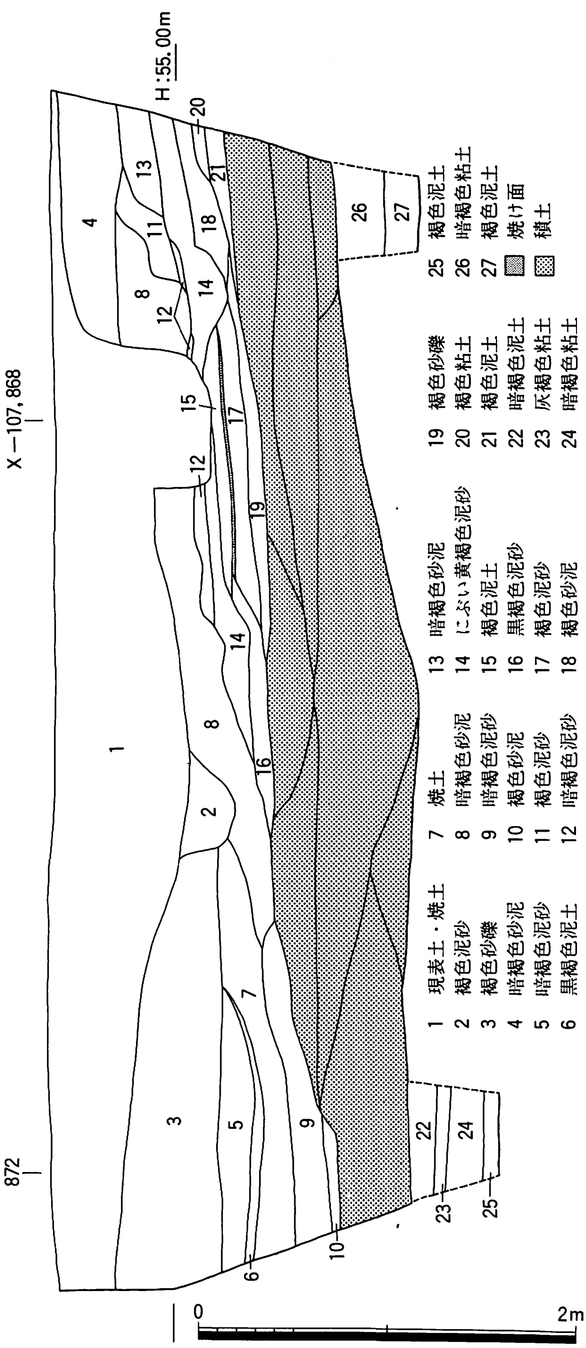


図24　1区西壁断面図(1/40)

砂(5)層や暗褐色砂泥(7・8)層は大量の焼土や瓦を包含する。にぶい黄褐色泥砂(14)層や褐色泥土(15)層は1区中央北半の高まり部にある整地層で、石組遺構はこの層の上面で検出した。褐色泥砂(17・18)層も整地層と考えられ、特に(17)層は精良・緻密な土層である。(17)層上面の一部と(18)層上面は焼けており、(17)層上面は厚さ数mmまで赤変している。黒褐色泥砂(16)層はこの肩口に堆積する。積土層は暗褐色泥砂、黒褐色泥土、黄褐色粘土などから成り、1区中央で厚さ約80cmある。積土層の上面と下面は比較的固く締っている。積土層下の各種は南・北隅の断割りによって確認したが、粘土・泥土がほぼ水平に堆積する。褐色泥土(25)層下には暗褐色砂礫層が堆積する。遺物は出土していない。

2区の層序は概観すれば1区の層序にほぼ対応する。先述した1区の暗褐色砂泥(8)層に対応する暗褐色泥土層は焼土を大量に含み厚さ約20cmある。この暗褐色砂泥層下には、暗褐色泥土・褐色砂礫、黒褐色泥土、にぶい黄褐色砂礫層が堆積し、厚さ約60cmある。石敷遺構は、褐色砂礫層上面、黒褐色

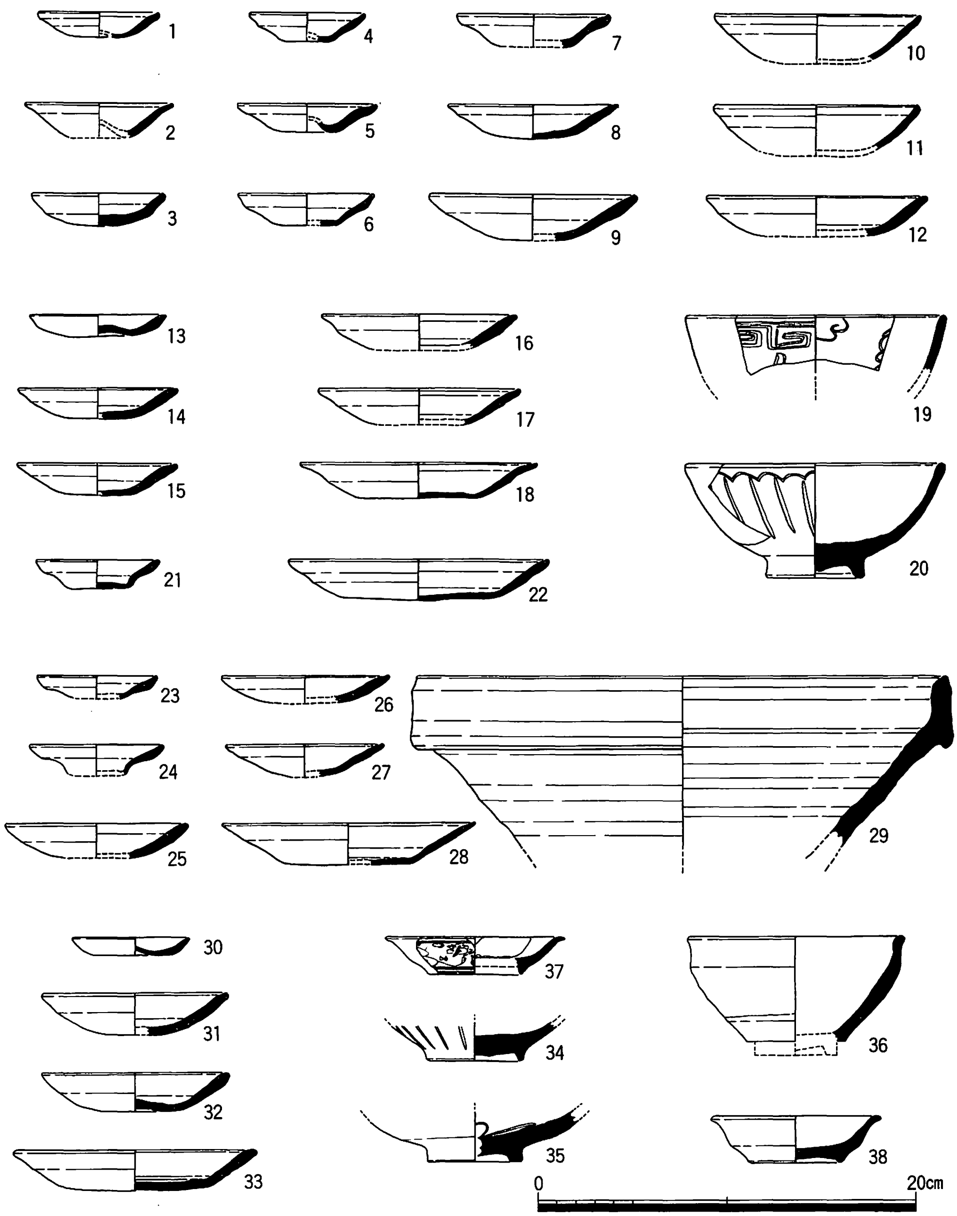


図25　遺物実測図(1/4)

泥土層上面でそれぞれ検出した。にぶい黄褐色砂礫層下は灰褐色粘土層が厚さ約10cm堆積する。焼土が多量に含まれ、1区の褐色泥砂上面の焼け面に対応する。灰褐色粘土下は褐色粘土や褐色泥土などが厚さ約30cmあり、10～30cm大の割石などが大量に包含される。1

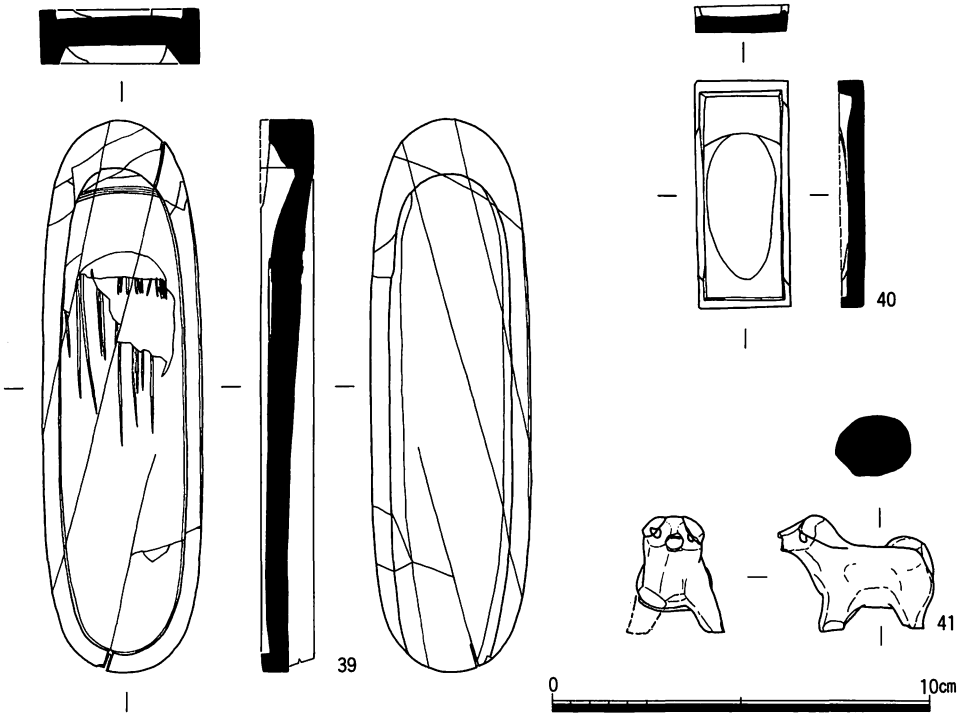


図26　遺物実測図(1/2)

区積土層に対応する。褐色泥土下は褐色砂礫が堆積する。遺物は出土していない。なお褐色砂礫層上面の海抜高は53.25m ある。

調査区内では、庭園造成時の積土層により陸部と池部を形成し、この地形はその後も踏襲される。陸部で各期の整地層や焼け面、石組遺構などを検出した。池に相当する２区では礫敷遺構を検出した。石組遺構は長径1.7m 、短径1.3m の掘形底に５～25cm大の礫を置き、上に40・75cm大の自然石を２個据える。南東隅は土壙により削平される。石組遺構の南には10～38cm大の扁平な礫をまばらに敷く。礫には焼けたものもある。礫敷遺構は下面のものを図示した。西端にやや固い平坦面があり、その肩口から底部にかけて５～24cm大の礫を密に敷く。他に小土壙を４基検出した。１基の周縁には10～20cm大の礫を巡らす。

なお立会調査では庭石を３個検出した。東端のものは緑泥片岩とチャートで、長軸2.04m 、1.40m 、海抜高は上端で54.96m 、54.74m ある。緑泥片岩は平坦面が南西に傾斜する。西端のものは緑泥片岩で、長軸2.35m 、海抜高は上端で54.73m ある。土層観察から庭石は、積土層に下半か下面を据え、上半は焼土層に覆われ、一部焼けた箇所もある。

3．遺　　物

遺物は遺物整理箱で13箱出土した。遺物内容は、土師器、須恵器、緑釉陶器、瓦器、陶磁器、輸入陶磁器、土製品、瓦、塼、銭貨、石製品などがある。土器類は細片が多い。

積土層から出土した遺物には、土師器(4～12)の他、緑釉陶器、瓦器、陶器、瓦などがある。瓦では巴文軒丸瓦がある。褐色泥土(21)層からは土師器(1～3)が出土した。黒褐色泥砂(16)層では、土師器(13～18)、輸入陶磁器(19・20)、瓦、銭貨などがある。銭貨には紹聖元寶、永樂通寶がある。(21・22)の土師器は2区の褐色砂礫層から出土した。褐色泥土(15)層では、土師器(27・28)、瓦器、陶器、輸入陶磁器などがある。暗褐色砂泥(14)層などから出土した遺物には、土師器(23～26)、瓦器、陶器(29)、輸入陶磁器、瓦、犬形土製品(41)、石硯(39・40)、銭貨などがある。銭貨には元豊通寶がある。暗褐色砂泥(8)層では、土師器(30～33)、陶器(34～36)、輸入陶磁器(37)、瓦、塼、石製品、銭貨などがある。銭貨には開元通寶、洪武通寶、永樂通寶がある。暗褐色泥砂(5)層からは、土師器、陶器(38)、磁器、瓦、塼などが出土した。瓦は遺物整理箱で6箱あり、丸・平瓦、軒丸・軒平瓦、鬼瓦などがある。この他2区の褐色粘土層からは剣頭文軒平瓦が、灰褐色粘土層からは巴文軒丸瓦が出土している。

4．まとめ

室町殿は、永徳元年(1381)の落慶供養の後も歴代将軍により修理、増築、移築が度々施行され、あわせて「花之亭」と称される程の花樹、苑池を伴った庭園にも造作の手が加わり、荘麗な景観を呈していたとされる。約百年後の文明8年(1476)には焼失、再建された室町殿も文明12年(1480)には再度焼失する。整地層上面で検出した焼け面は、上記火災に伴うものと考えられる。16世紀以後、大永・天文年間の洛中洛外図には室町殿の様子が窺えるものの、文献からは姿を消す。石組遺構は当該期以後のものと考えられる。室町殿衰亡後豊臣秀吉によって移転された聖護院も、元和6年(1620)、延寶3年(1675)の2度に渡り焼失する。暗褐色砂泥(7・8)層や暗褐色泥砂(5)層はこの火災に伴うものと考えられる。

室町殿については、文献、指図、屏風図等々によって、建物配置や庭園の規模などおおよその姿を窺い知ることが出来るが、四至をはじめとして具体的に把握できる資料は極めて少なく、調査区は小面積ながらも庭園の一部と考えられる遺構及びその変遷の一端を明らかにすることができたことは、今回の調査における成果の一つと言えよう。

Ⅸ　主要な出土遺物

1．土器類

ここでは、平安宮東雅院（ＨＱ43）より出土した土器類について報告する。調査は、上京区日暮通椹木町上る櫛笥町712において、鉄筋建物の新築工事に先立ち、昭和61年10月15日および10月21日より10月25日までの計６日間実施したものである。

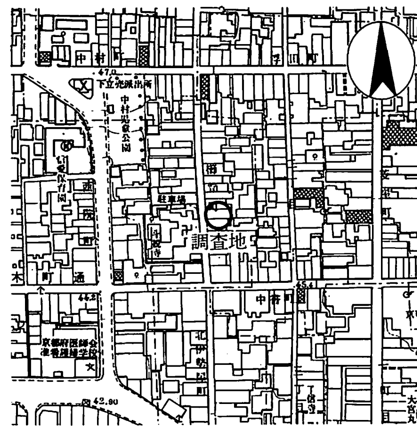


図27　調査位置図(1/5000)

調査の結果、地表下0.4mにて平安時代前～中期の土壙９基を検出した。とくに土器捨て穴（ＳＫ２）より出土した土器類は一括性の高いもので、９世紀中頃の特徴をもち、図を示して概略を述べる。

ＳＫ２より出土した土器類には、土師器、黒色土器、須恵器、無釉陶器、緑釉陶器、灰釉陶器などがある。そのなかで、土師器杯・皿、須恵器鉢などに墨書の描かれているものが含まれるが、判読は困難である。

土師器　杯Ａ・杯Ｂ・皿Ａ・蓋・高杯・甕がある。

杯Ａ（図28－１～12）　底部は平らで口縁部は斜め上方へひらく。口縁端部は、上部がわずかに外反し端部がやや肥厚して上方へ突出するものと、丸くおさまるものがある。口縁部を横ナデ下半外面に指圧痕を残すｅ手法が大半を占める。12はｃ手法を用いるが削りが粗く口縁上部をナデ、体部などを削り残す。胎土はいずれも微砂粒・雲母を含み、淡黄褐色又は黄褐色を呈するもの(１～４、９～12)と桃灰色を呈するもの(５～８)がある。

杯Ｂ（図28－22～25）　底部は低い高台をもち、口縁部は外上方へ開く。口縁端部はやや上方に突出する。23はｃ手法で外面に粗いヘラ削りを施し、外面高台脇・口縁部に横ナデが残る。胎土は雲母を少量含み緻密。淡黄橙色を呈する。22～25はｅ手法で、体部外面には指圧痕が残る。胎土は微砂粒、雲母を含み緻密である。22は赤褐色、24・25は淡茶灰色を呈する。

皿Ａ（図28－13～21）　ほぼ平らな底部より口縁部が外上方へひらく。口縁端部が肥厚するもの、上方へ突出するもの(17)、外反して丸くおさまるもの(19)がある。19の外面は

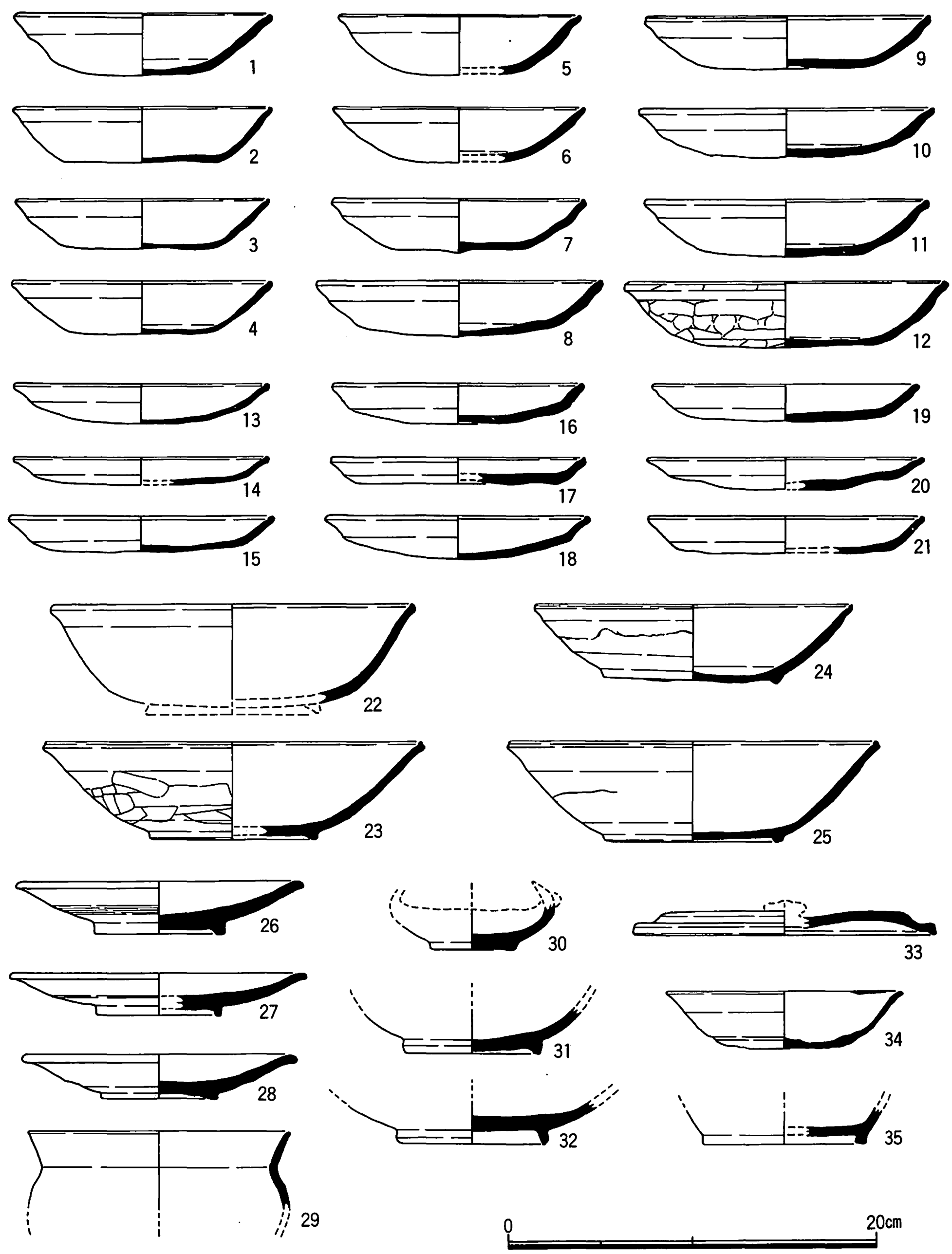

1
5
9
2
6
10
3
7
11
4
8
12
13
16
19
14
17
20
15
18
21
22
24
23
25
26
30
33
27
31
34
28
32
35
29
0
20cm

図28　遺物実測図(1/4)

丁寧に仕上げ平滑であるが、他はｅ手法で調整されている。13～15・20・21は淡黄橙色、16～19は黄褐色を呈する。

黒色土器　椀・甕・壺がある。壺がＢ類の他はＡ類に属する。

甕（図28－29）　体部は丸く、口縁部は外反し、端部は丸くおさめる。口縁部外面は横ナデ、内面は丁寧なヘラ磨きを施す。体部外面は粗いヘラ磨きを、内面は数条のヘラ磨きを施す。内面および外面口縁部上半は黒色、外面は褐色を呈する。黒色土器Ａ類。

須恵器　皿・杯Ａ・杯Ｂ・蓋・壺・鉢・甕がある。

杯Ａ（図28－34）　平らな底部をもち口縁部はやや外反する。底部はヘラ切り離しである。口縁端部に灯芯痕がみられる。胎土は軟質で灰白色を呈する。

杯Ｂ（図28－35）　底部のみ残存する。高台は低く断面方形をなす。底部はヘラ切り離しである。胎土は硬質で青灰色を呈する。

蓋（図28－33）　つまみを欠く。口縁部は屈曲し端部はやや外にひらき丸くおさまる。内面に墨痕を残す。胎土は硬質、青灰色を呈する。

無釉陶器　皿・椀がある。

皿（図28－26・27）　口縁部は大きく外へひらき端部は丸くおさまる。内外面全体に丁寧なヘラ磨きを施す。胎土は緻密で黄白色を呈する。

緑釉陶器　皿・耳皿・椀・三足盤などがある。

皿（図28－28）　平らな底部から口縁部が外へ大きくひらき端部は丸くおさまる。内外面にヘラ磨きを施す。高台は円板状に削り出す。胎土は軟質で黄白色、釉は全面に施し、淡緑色を呈する。

耳皿（図28－30）　皿の口縁部両端を折り曲げて成形したものである。高台は円板状に削り出し、内外面にヘラ磨きを施す。胎土は硬質で青灰色、釉は全面に施し濃緑色を帯び光沢がある。

椀（図28－31）　平らな底部より体部は内弯ぎみに立ち上る。内外面全体にヘラ磨きを施す。底部内外面にトチン痕が見られる。胎土は軟質で黄灰色、釉は全面に施し、淡黄緑色を帯び光沢がある。

灰釉陶器　皿・椀・壺がある。

椀（図28－32）　体部外面はロクロヘラ削り。底部外面には横一文字のヘラ記号が認められる。内面底部には重ね焼の痕跡が残る。胎土は黒色微粒子を含み灰色、釉は内面見込み部を除き施釉、外面は上部を欠き不明。釉は淡緑灰色でガラス質で光沢がある。

表2　ＳＫ２出土遺物破片数量表

種類	器種	破片数	数量比(%)	重量(g)	重量比(%)
土師器	皿	2193	90.7	9921	82.1
	杯				
	蓋	7		98	
	高杯	131		3070	
	甕	65		537	
須恵器	皿	14	2.8	115	7.5
	杯				
	蓋	2		42	
	壺	35		302	
	鉢				
	甕	22		787	
緑釉陶器	皿	81	3.1	687	4.1
	耳皿				
	椀				
	三足盤				
灰釉陶器	皿	3	0.1	121	0.7
	椀				
	壺				
無釉陶器	皿	69	2.6	700	4.2
	椀				
黒色土器Ａ	椀	20	0.8	190	1.3
	甕				
黒色土器Ｂ	壺	1		30	
計		2643	100.1	16600	99.9
瓦		45		5694	

２．軒瓦類

平安宮・京域出土のものと京域外出土のものとに分けて概略を述べる。

平安宮・京域

重圏文軒丸瓦（図29－36）　右京四条一坊十町・西宮領（ＨＲ８）出土。三重の圏線が巡る。胎土は砂粒をほとんど含まず緻密である。焼成は普通だが、二次焼成を受けている。

単弁十六葉蓮華文軒丸瓦（図29－37）　右京二条二坊十二町（ＨＲ51）出土。蓮子は１＋６で径１cm程の大粒である。弁先が外区の圏線に接する。胎土は砂粒を多く含み粗い、焼成はやや甘く、灰白色を呈する。

複弁八葉蓮華文軒丸瓦（図29－38）　右京九条二坊三町（60年度ＨＲ210）出土。Ｙ字形弁間文が弁に接する。胎土は砂粒を含み精良、焼成は良好で灰色を呈する。坂瓦窯産。

複弁八葉蓮華文軒丸瓦（図29－39）　左京一条二坊一町（ＨＬ31）出土。丸瓦部凸面は縦方向のヘラ削りする。瓦当裏面に布目痕を残す一本造りである。胎土は砂粒を含み、やや粗い、焼成は良好で灰白色を呈する。栗栖野瓦窯産。

複弁五葉蓮華文軒丸瓦（図29－40）　左京二条四坊十一町（ＨＬ94）出土。瓦当外周下半を丁寧に横方向のヘラ削りをする。瓦当裏面下半をヘラ削り調整。瓦当部は楕円形を呈

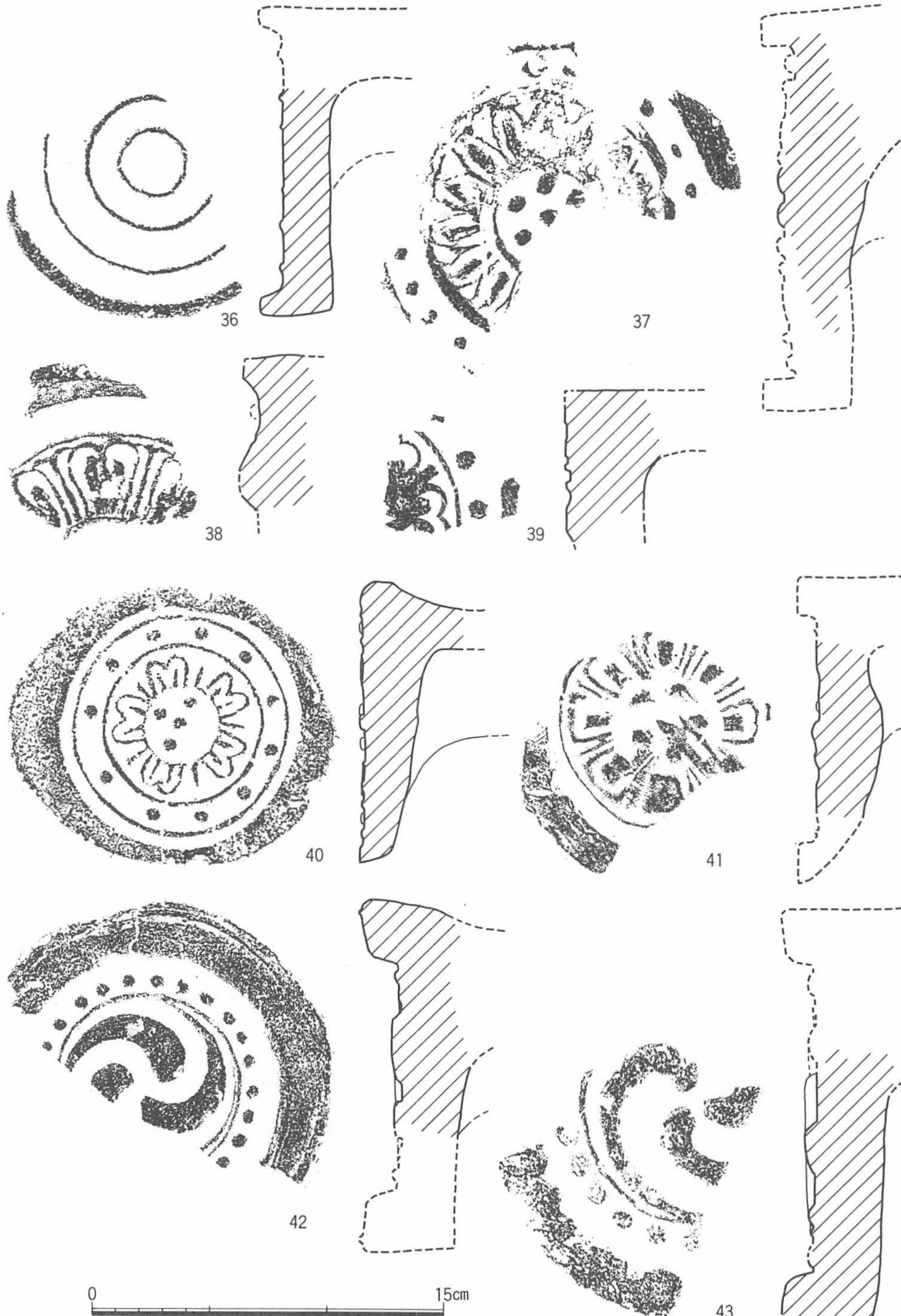


図29　軒瓦拓影・実測図(1/3)

する。胎土は微砂粒を含み精良、焼成は良好で淡黄灰色。栗栖野瓦窯産。

単弁八葉蓮華文軒丸瓦（図29－41）　右京一条四坊四町（ＨＲ85）出土。中房に１＋５の蓮子を配す。外区に珠文はない。胎土は砂粒を含み精良、焼成は良く褐灰色を呈する。

三巴文軒丸瓦（図29－42）　左京八条二坊十一町（ＨＬ130）出土。内区は右巻きの三巴文を配す。外区には比較的密に珠文を置く。丸瓦部凸面は縦方向のヘラ削り。胎土は砂粒を含み堅緻、焼成は良好で褐灰色を呈する。

三巴文軒丸瓦（図29－43）　左京四条三坊十六町（ＨＬ54）出土。内区は右巻の三巴文を配す。巴の末尾は圏線と化す。瓦当裏面下半の縁辺部は一条の横ナデを施す。胎土は砂粒を含みやや粗い。焼成は良好で青灰色を呈する。六角堂出土。

均整唐草文軒平瓦（図30－44）　平安宮東雅院（ＨＱ15）出土。瓦当外周上部および下部は横方向のヘラ削り、側面は縦方向のヘラ削り。平瓦部凸面は縦方向にヘラ削り調整を行うが、縄目叩き痕残る。胎土は微砂粒を含み精良、焼成は良好である。平城宮式6760Ａ。

均整唐草文軒平瓦（図30－45）　平安宮太政宮（ＨＱ29）出土。瓦当外周上部および下部は横方向のヘラ削り。胎土は砂粒を含み粗い、焼成は良好で淡灰色を呈する。平城宮式6681Ａ系。

唐草文軒平瓦（図30－46）　平安宮内裏（60年度ＨＱ87）出土。瓦当外周下部は横方向にヘラ削りし、平瓦部凸面は横方向にナデる。平瓦部凹面は粗い布目、瓦当縁まで残る。胎土は微砂粒を含み、焼成はやや甘く黄灰色を呈する。播磨産。

均整唐草文軒平瓦（図30－47）　平安宮内裏（60年度ＨＱ87）出土。瓦当外周上部は横方向のヘラ削り、側面は縦方向のヘラ削を施す。文様中央に『栗』の裏字をもつ複線唐草文。胎土は砂粒を含み、焼成はやや甘く、暗灰色を呈する。栗栖野瓦窯産。

均整唐草文軒平瓦（図30－48）　右京四条一坊十二町・西宮領（ＨＲ８）出土。瓦当外周を丁寧にヘラ削りする。胎土は微砂粒を含み精良、焼成は良く灰色を呈する。西賀茂角社西群瓦窯産。

均整唐草文軒平瓦（図30－49）　右京三条一坊十一町（ＨＲ116）出土。瓦当外周上・下部を横方向にヘラ削り、側面を縦方向にヘラ削りを施す。胎土は砂粒を含み軟質、焼成は良好で黒灰色を呈する。岸部瓦窯産。

均整唐草文軒平瓦（図30－50）　右京八条二坊十二町（ＨＲ80）出土。瓦当外周上縁および側面・下部をヘラ削りする。平瓦部凸面は指圧痕が顕著に残る。胎土は砂粒を含み粗く、焼成は良好で黒灰色を呈する。

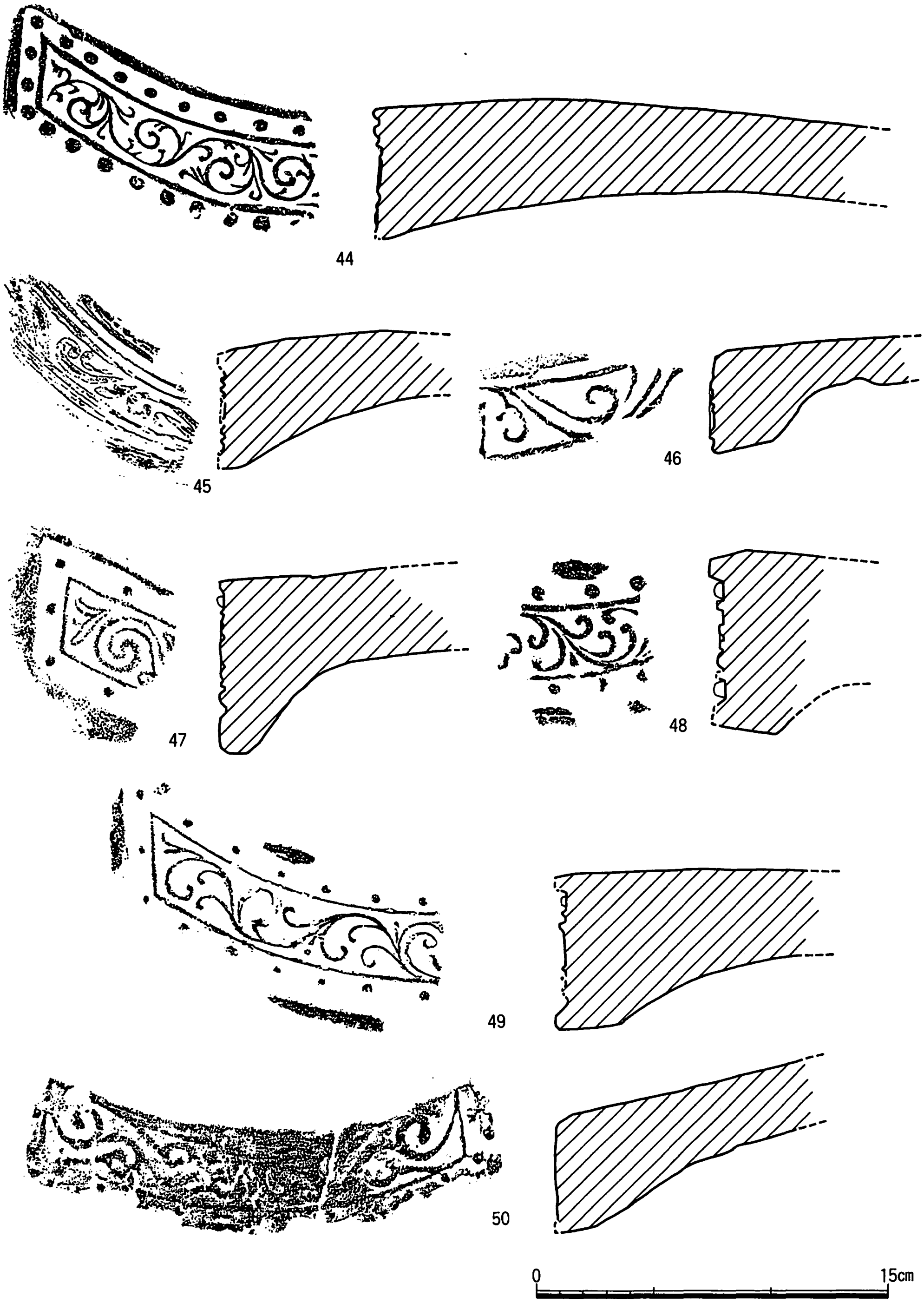


図30　軒瓦拓影・実測図(1/3)

平安京域外

複弁八葉蓮華文軒丸瓦（図31－51）　法勝寺跡（60年度ＫＳ38）　文様は線刻風を呈する。瓦当面に笵の木目が残る。胎土は砂粒を含み堅緻、焼成は良好で淡青灰色を呈する。

単弁八葉蓮華文軒丸瓦（図31－54）　尊勝寺跡（ＫＳ29）出土。瓦当面に笵押し前の粘土成形時の糸切り痕が顕著に残る。花弁、珠文、蓮子とも厚く隆起する。瓦当裏面中央部

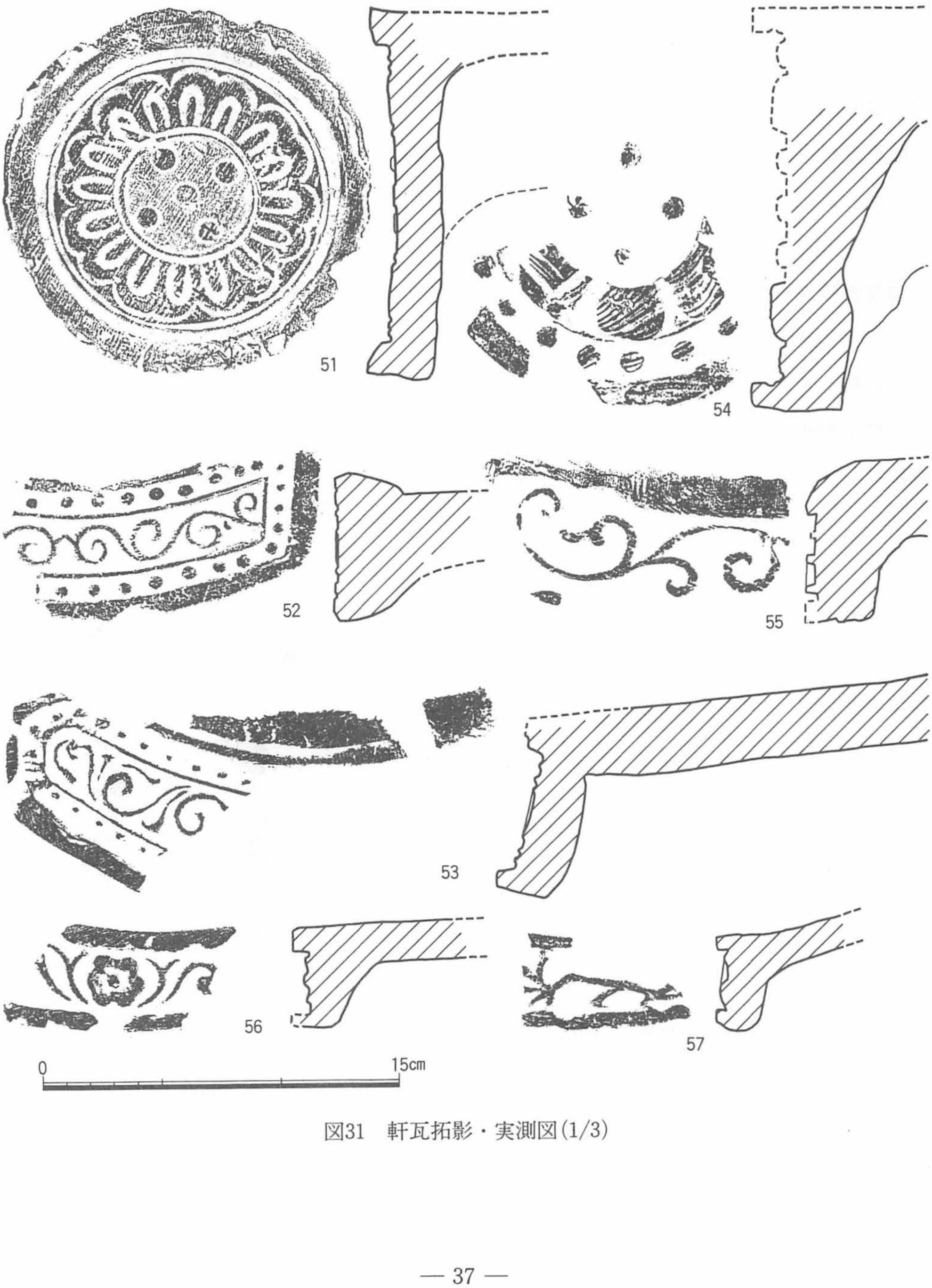


図31　軒瓦拓影・実測図（1/3）

は、指圧痕が顕著に残り凹む。胎土は微砂粒を含み精良、焼成は良好で灰色を呈する。

均整唐草文軒平瓦(図31－52)　法勝寺跡（60年度ＫＳ38）出土。瓦当外周をヘラ削りする。平瓦部凸面は指圧痕が残る。凹面は粗い布目痕。胎土は微砂粒を含み精良、焼成は良好で暗青灰色を呈する。西賀茂河上瓦窯産。

唐草文軒平瓦(図31－53)　法勝寺跡（60年度ＫＳ38）出土。瓦当外周下部は横方向にヘラ削りするが、縄目叩き痕残る。瓦当裏面および平瓦部凸面は縄叩き痕が連続する。平瓦部凹面には糸切り痕残り、布目痕が瓦当上縁まで続く。胎土は精良で堅緻、焼成は良好で、須恵質を呈する。丹波系である。

唐草文軒平瓦(図31－55)　尊勝寺跡（ＫＳ29）出土。瓦当外周をヘラ削りする。瓦当下面・裏面および平瓦部凸面は、平行叩き目残る。胎土は砂粒を含み粗い、焼成は良好で灰色を呈する。

均整唐草文軒平瓦(図31－56)　法金剛院（ＵＺ15）出土。瓦当外周はヘラ削りののち丁寧にナデて仕上げる。平瓦部凹面は、きわめて平滑、凸面は縦方向のヘラ削りを施す。胎土は砂粒を含み粗い、焼成は良好で黒灰色を呈する。

唐草文軒平瓦(図31－57)　法金剛院（ＵＺ15）出土。瓦当外周をヘラ削りする。胎土は微砂粒を含み、焼成は良好で暗青灰色を呈する。包み込み式。播磨産。

3．木 器 類

本年度に於て出土した木製品は種類・時期ともに多様に渉る。そのうち主なものについての報告をする。斎串の型式については『木器集成図録-近畿古代編-』に従った。尚、木簡の釈読にあたっては、京都市歴史資料館の川嶋将生氏の協力を得た。

平安京右京五条一坊（ＨＲ97）

中京区壬生松原町１番地でのビル建築に伴う立会調査である。当該地は平安京右京五条一坊三町に推定されている。昭和61年９月１日に調査を実施した。

その結果、調査地は全面的に池沼状の土層堆積を示していることが判明した。土器の出土がなかったために土層の時期の決定は困難であるが、木簡の書体から

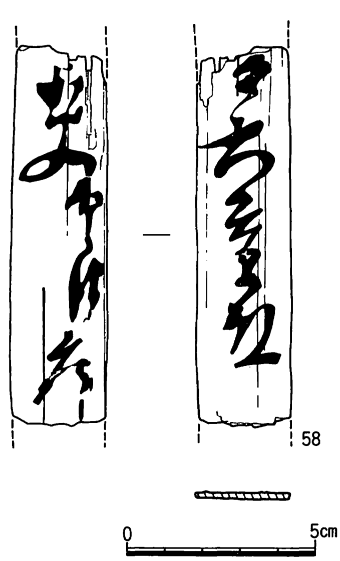


図32　遺物実測図(1/2)

見て江戸期の頃ではないかと思われる。遺物は、多くの木片の他に箸・曲物底・その他の木製品が出土している。また木簡も１点出土する。木簡（図32－58）の残存長は10.0cm、幅2.5cm、厚さ0.15cmである。両端が折損しているため全長は不明である。墨書は両面にある。次に釈文を挙げておく。

・×□受今津房□×

・×□六□□□殿」

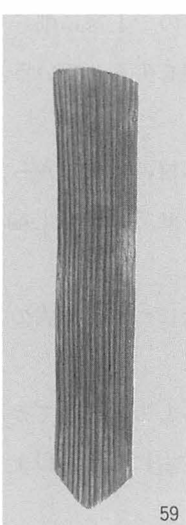
平安京右京五条一坊（60年度ＨＲ204）

中京区壬生松原町54番地での住宅兼工場の建築工事に伴う立会調査である。当該地は平安京右京五条一坊六町に推定されている。昭和61年３月６・７日に調査を実施した。

調査の結果、南東方向にゆるやかな傾斜をもつ池沼状の土層堆積を確認した。断片的な土層観察による調査のため、遺構の最上層については確定し難いが、現地表下0.9ｍから下層は褐灰色泥土を主体としており、砂粒・木片が混入しているのが観察できた。確認できた最深部は現地表下1.6ｍで、底部には直径５cm程度の礫が敷きつめられていたようになっていた。

調査地はＨＲ97と隣接する条坊町割であるが、周辺の既調査分を検討すると別の遺構であるかと思われる。

出土遺物は、土師器・須恵器・緑釉陶器等の土器類が出土しており、平安時代前期の特徴を示している。他にも木製品が出土しており、その主なものを紹介する。



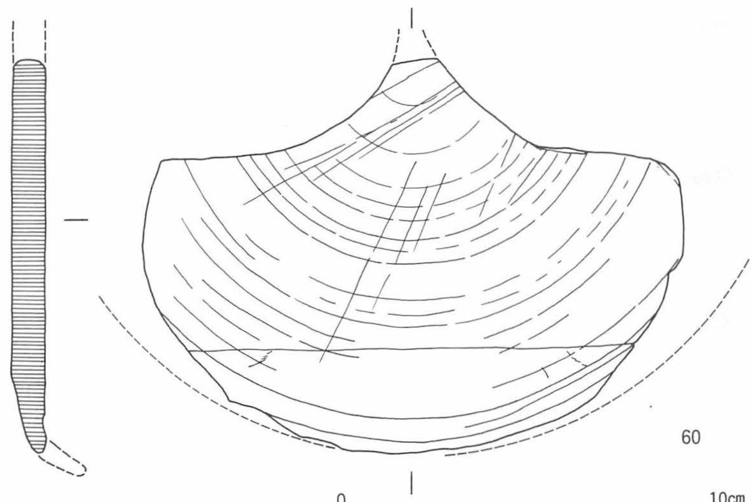


図33　遺物実測図(1/2)及び遺物写真

木簡（図33－59）　残存長9.2cm、幅1.2cm、厚さ0.2cm。下端部が出土。端部は三角形に切り欠いている。片面に６字書かれているのが認められるが、その内容は不明である。

不明木製品（図33－60）　長さ14.1cm、幅10.3cm、厚さ0.7cm。分銅型を呈しており、ほぼ完形である。本来は円形の皿状製品であるが、再加工を施したものであろう。復元径は20.4cm・周縁部には溝状の削りを施してあり、全体に轆轤挽の痕跡がある。

他には斎串（残存長4.3cm、残存幅2.1cm、厚さ0.2cm、CⅣ型式）、長方形曲物（残存長21.0cm、残存幅2.1cm、厚さ0.2cm）が出土している。後者には墨書で文字が書かれているが、折損が激しいため不明である。

平安京右京八条二坊（ＨＲ64）

下京区七条石井町50番地でのビル建築工事に伴う立会調査である。調査地は平安京右京八条二坊二町と推定されており、北接する七条小学校校地内で二度に渉る発掘調査によって検出された池沼状遺構の延長が推定されている。調査は昭和61年７月９日に実施した。

調査の結果、推定通りに池沼状遺構が調査地に迄拡がっていることが確認された。立会調査という制約上、他の遺構については不明である。土層観察をした限りに於いては（暗褐色）泥土・腐食土が堆積しており、流れたような形跡は認められなかった。

出土遺物には、平安時代前期の土器（土師器皿・須恵器甕）があり、他に木片・木製品が多く出土している。土器は図化できる程のものはなかったので、木製品について報告する。

独楽（図34－61）　直径2.0cm・高さ2.5cmの木製独楽。全面が刀子状のもので丁寧に削られている。上端部は切り欠いただけで平担であるが、下端部は軸状に先端を尖らせている。側面には一部切込みが入っている。

題籤（図34－62）　全長16.9cm、幅0.7cm、厚さ0.5cm。完形品。偏平な木材の上端部から約１cmのところで切り込みを施して段を付け、下部は丸く削り端部は尖らせている。上端部には墨書が施してある。「六」と読める。

斎串（図34－63～65）　何れも上端部を圭頭状に切り欠き下端部を剣先状につくる形式のものである。側面には左右に切り込みを施す。

63は残存長9.8cm、幅1.2cm、厚さ0.9cm。CⅡ型式。一般的に出土するものと比してかなり厚いため、更に幾つかに分割する前の段階の未製品かと思われる。左右に３箇所以上の切込みがある。

64は残存長13.8cm、幅2.1cm、厚さ0.15cm。CⅡ型式。左右に２箇所以上の切込みがある。

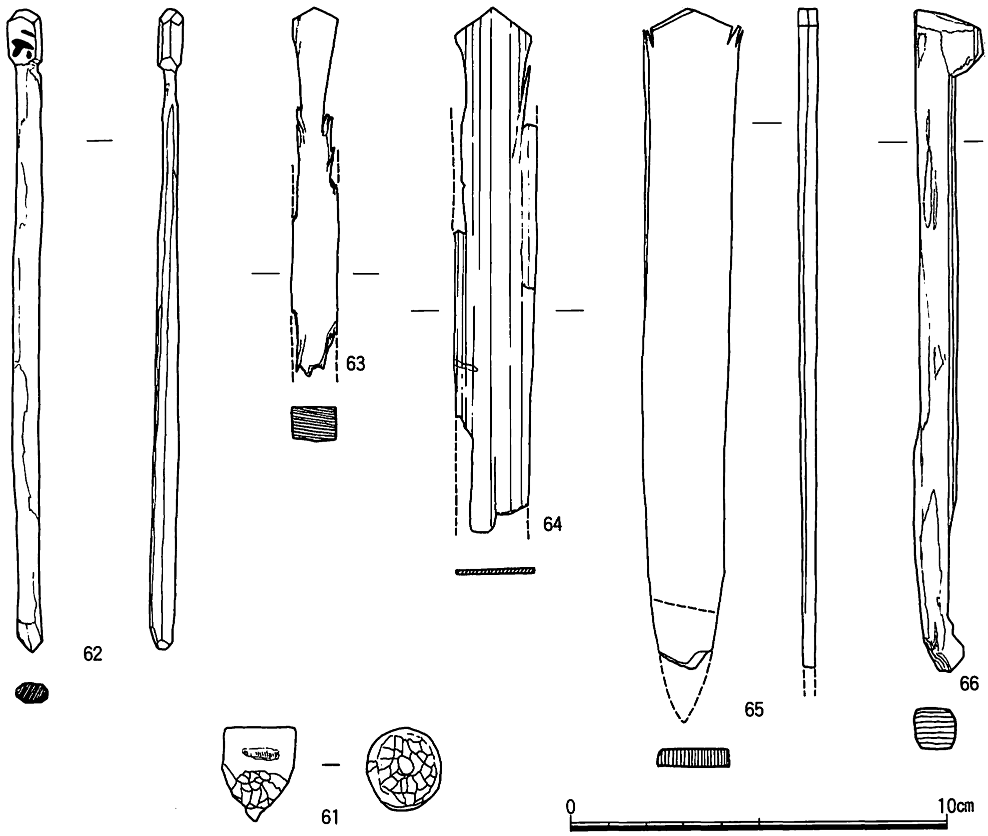


図34　遺物実測図(1/2)

65は残存長17.4cm、幅2.3cm、厚さ0.5cm。ＣⅡ型式。上端から下端の手前約1.5cm迄半裁した痕跡がある。半完成品であろう。左右に２箇所の切込みがある。

不明木製品(図34－66)　長さ17.5cm、幅1.0～1.8cm、厚さ1.1cm。完形品。両端を把手状に切欠いて、全体に面取を施している。

平安京右京八条二坊（ＨＲ80)

下京区御所ノ内本町89番地でのマンション建築工事に伴う立会調査である。当該地は平安京右京八条二坊十二町に推定されており、調査地は同町の北東隅に位置する。昭和61年８月４・５日に調査を実施した。

調査の結果、現地表下0.8～0.9ｍで、幅2.0ｍ以上の東西溝（ＳＤ１)、幅1.6ｍの南北溝（ＳＤ２)、北東から南西に斜行する幅1.2ｍの溝（ＳＤ３）各１条ずつを確認した。

当研究所による条坊復元に基づくと、位置関係から見ると東西溝は梅小路南側溝・南北溝は西堀川小路西側溝に比定することが可能である。ＳＤ１とＳＤ２との切合関係につい

は平面的な調査でないためよく分らないが、層序関係を検討してみると、ＳＤ３は最も新しい時期のものである。

出土遺物は非常に少なく、ＳＤ１から平安時代の瓦片が、ＳＤ２最上層から平安時代後期の土師器片が少量出土した程度である。ＳＤ３からは土器類の出土はなかったものの、木製品の出土をみるのでここに報告しておく。

木簡(図36−67)　残存長12.2cm、幅2.2cm、厚さ0.6cm。下端部は残存するが上端部は欠損している。墨書は片面のみである。次に釈文を挙げておく。

・×□吉」

付札(状)(図36−68)　残存長10.0cm、幅2.2cm、厚さ0.8cm。上端部に切込みがある。文字は認められないが、付札の形状をしている。

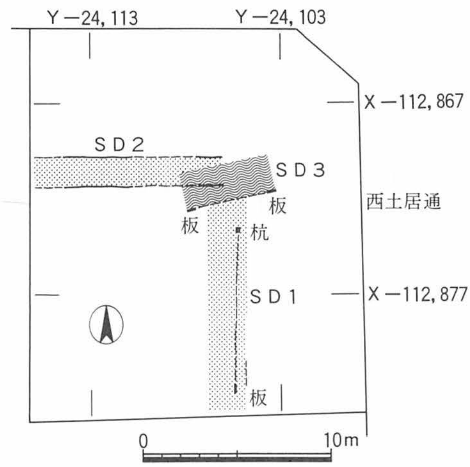


図35　遺構配置図(1/400)

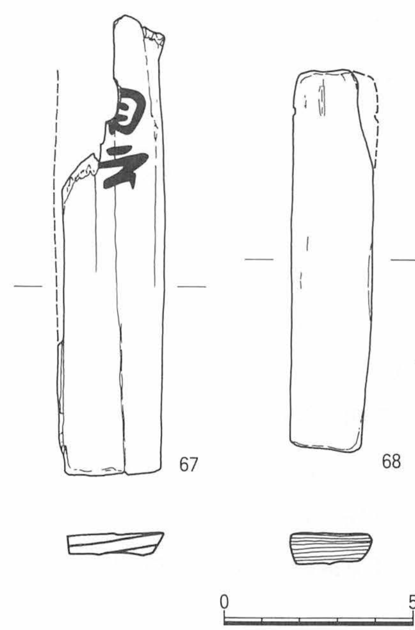


図36　遺物実測図(1/2)

調査一覧表

Ⅰ　60年度１～３月期

平安宮（ＨＱ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
平安宮跡	上、下立売通七本松東入長門町419-2	立	１／11	ＧＬ－0.24m 以下江戸の包含層。	２－81
〃	中、二条城町地先	立	１／11	攪乱のみ。	２－82
〃	中、西ノ京内畑町32	試	１／13	ＧＬ－0.6m にて江戸の土取り穴2。	２－83
〃	中、聚楽廻西町41	立	１／16	盛土のみ。	２－84
〃	上、仁和寺街道七本松西入二番町197-5・11	立	１／17・20	ＧＬ－0.7m にて平安中期の包含層。	２－85
〃	上、七本松通仁和寺街道上る一番町地先	立	１／23・27	ＧＬ－0.2m にて時期不明の包含層。	２－86
〃	上、浄福寺通下立売下る西入中務町489地先	立	１／24・25・30	ＧＬ－0.3m 以下江戸・時期不明の包含層各1。	２－87
〃	中、西ノ京左馬寮町11-31	立	１／27	盛土のみ。	２－88
〃	中、聚楽廻松下町2	立	１／28	盛土のみ。	２－89
〃	上、千本通出水下る十四軒町413地先	立	１／31～２／４	攪乱のみ。	２－90
〃	上、中立売通松屋町西入新白水丸町449-1	立	２／３	ＧＬ－0.2m にて江戸末期の瓦溜め及び包含層。	２－91
〃	上、智恵光院通出水上る天秤丸町180地先	立	２／３	攪乱のみ。	２－92
〃	上、下立売通御前東入西東町365	立	２／４	ＧＬ－0.1m にて時期不明の包含層。	２－93
〃	上、御前通下立売上る三丁目東入三助町281	立	２／４	盛土のみ。	２－94
〃	上、仁和寺街道土屋町西入西富仲町685地先	立	２／７	攪乱のみ。	２－95
〃	上、千本通一条下る西中筋町8	試	２／10	ＧＬ－0.65m にて江戸の土取り穴。	２－96
〃	上、下立売通七本松東入長門町地先	立	２／13	攪乱のみ。	２－97
〃	上、浄福寺通中立売下る菱丸町182	立	２／18	盛土のみ。	２－98
〃	上、下立売通七本松東入長門町435-52	立	２／19	工事に伴う掘削なし。	２－99
〃	中、聚楽廻南町8-17	立	３／６	検出できず。	２－100
〃	上、仁和寺街道下の森西入鳳瑞町地先	立	３／６・13	ＧＬ－0.2m にて時期不明の包含層。	２－101
〃	上、松屋町通丸太町下る藁屋町536-66	立	３／17	盛土のみ。	２－102
〃	中、聚楽廻南町8-19	立	３／17	盛土のみ。	２－103
〃	上、千本通中立売上る東入東西俵屋町地先	立	３／20	攪乱のみ。	２－104
〃	中、聚楽廻東町31-18	試	３／27	ＧＬ－1.1m にて江戸の土取り穴。	２－105
〃	上、日暮通椹木町下る北伊勢屋町740, 740-5, 742	立	３／27	ＧＬ－0.3m にて時期不明の包含層。	２－106

平安京右京（ＨＲ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
北辺一坊　八町	上、一条通御前東入西町地先	立	２／13	巡回時工事終了。	４－４
北辺二坊　一町	上、御前通一条上る東竪町121-2	立	１／14	検出できず。	４－174
北辺二坊　三町	上、仁和寺街道御前西入下横町214	立	１／30	ＧＬ－1.05m 以下時期不明の土壙1、平安前～中期の包含層。	４－187
北辺二坊　四町	上、天神道一条下る西町地先	立	３／31	検出できず。	４－218
北辺二坊　五町	北、大将軍川端町22-1	立	１／21	ＧＬ－0.85m 以下室町・時期不明の包含層各1、時期不明の土壙。	４－180
一条二坊　七町	上、上の下立売通御前西入二丁目上る堀川町地先	立	１／23・25	ＧＬ－0.65m にて鎌倉の包含層。	４－182
二条二坊　六町	中、西ノ京笠殿町地先	立	３／13・15・22	ＧＬ－0.28m以下時期不明の包含層3, －1.14m 以下平安中期の池状堆積。	４－208
〃	中、西ノ京笠殿町地先	立	３／31	ＧＬ－1.33m にて平安中期の包含層。	４－216
二条二坊　九町	中、西ノ京円町5, 4の一部	立	２／28	検出できず。	４－199
二条二坊十四町	中、西ノ京北壺井町83	立	１／16	巡回時工事終了。	４－177
二条三坊　四町	中、西ノ京南壺井町8	立	１／27	ＧＬ－0.43m以下時期不明の包含層3。	３－185

二条三坊十五町	右、花園春日町4	試	1／27	ＧＬ－0.34m にて平安中期の包含層，－0.44m にて平安中期の土壙1、柱穴1。発掘調査に切り換える。	3－ 184
二条四坊十一町	右、太秦安井辻ノ内町12	立	3／31	ＧＬ－0.49m にて時期不明の包含層。	3－ 217
三条一坊十四町	中、西ノ京船塚町～東月光町地内	立	2／3・7 17・19，3／1・4・6	ＧＬ－0.35m にて時期不明の包含層，－1.05m にて平安後期の包含層。	4－ 189
三条二坊　六町	中、西ノ京南原町29	立	3／25	ＧＬ－0.8m 以下湿地状堆積。	4－ 213
三条二坊十一町	中、西ノ京下合町37	立	2／3・7	ＧＬ－0.2m 以下時期不明の土壙3，包含層2。	4－ 190
三条二坊十二町	中、西ノ京三条坊町地先	立	1／14・16	検出できず。	4－ 175
三条二坊十三町	中、西ノ京三条坊町8	立	2／12	ＧＬ－0.65m にて時期不明の流れ堆積。	4－ 195
三条二坊十五町	中、西ノ京南上合町地先	立	1／17・20 22，2／10	ＧＬ－0.5m 以下時期不明の土壙3、平安前期・平安・時期不明の包含層各1。	4－ 178
三条四坊十一町	右、山ノ内五反田町17	立	3／22	耕土のみ。	3－ 212
四条一坊　三町	中、壬生御所ノ内町42-3	立	1／17	盛土のみ。	8－ 179
四条二坊　八町	中、壬生上大竹町13	立	2／18	盛土のみ。	8－ 197
四条三坊　六町	右、西院春日町2	試	3／15	ＧＬ－0.85m にて溝3、平安1、時期不明2。	7－ 209
四条三坊　七町	右、西院春栄町18-1	立	3／8	ＧＬ－0.71m にて室町の包含層、－0.85m にて時期不明の溝。	7－ 205
四条四坊　二町	右、山ノ内山ノ下町14-3・8	試	3／12	ＧＬ－0.8m以下弥生土器を含む流路。	7－ 206
五条一坊　一町	中、壬生高樋町4-11	立	3／31	検出できず。	8－ 219
五条一坊　六町	中、壬生松原町54-52・53	立	3／6・7	ＧＬ－1.2mにて平安前期の池状堆積。本文39ページ。	8－ 204
五条一坊十三町	中、壬生下溝町35-15・35	立	3／3	ＧＬ－1.12m にて五条大路路面。	8－ 200
五条二坊　三町	中、壬生東檜町20-1	立	3／4	ＧＬ－0.4m にて時期不明の包含層。	8－ 202
五条二坊　八町	中、壬生土居ノ内町19-21	立	2／8	検出できず。	8－ 191
五条二坊十二町	右、西院西平町25-2	立	1／28	盛土のみ。	8－ 186
五条四坊　四町	右、西院清水町4	立	2／10・14	ＧＬ－0.92m 以下鎌倉・時期不明の包含層各1。	7－ 193
五条四坊十一町	右、西院安塚町60，61，62の一部	立	3／4	ＧＬ－1.06m にて鎌倉～室町の包含層。	7－ 201
六条二坊　一町	中、壬生東高田町1-2	試	2／24	ＧＬ－1.28m 以下土壙5、平安1、鎌倉～室町2、時期不明2、平安の柱穴2、古墳期の溝。	8－ 198
〃	中、壬生東高田町27	立	3／12	ＧＬ－0.6m にて室町の包含層。	8－ 207
六条二坊十六町	右、西院西高田町13-1	試	3／31	ＧＬ－0.22m にて土壙3、室町1、時期不明2、鎌倉～室町の南北溝。	8－ 215
六条四坊十六町	右、西京極葛野町地先	立	1／22	ＧＬ－0.58m にて時期不明の包含層。	7－ 181
七条三坊　七町	右、西京極南庄境町16他	試	2／12	検出できず。	7－ 194
七条三坊　八町	右、西京極北庄境町66	立	1／25	ＧＬ－0.7m 以下湿地状堆積。	7－ 183
八条一坊十五町	下、西七条西久保町1	立	3／17	ＧＬ－0.38m 以下時期不明の土壙2、路面、平安末期の溝。	12－ 211
八条二坊十二町	下、七条御所ノ内本町74	立	1／31，2／1・3 4・5・21	ＧＬ－0.27m 以下包含層5、平安後期1、室町1、時期不明3、時期不明の整地層、－1.07m にて平安末期の井戸。本文14ページ。	12－ 188
八条四坊十三町	右、西京極東向河原町4-5	立	1／14	ＧＬ－1.05m にて時期不明の溝。	11－ 176
九条一坊　四町	南、唐橋羅城門町50-2	立	3／4	検出できず。	12－ 203
九条二坊　三町	南、唐橋平垣町55	立	3／15	ＧＬ－0.4m 以下土壙3、室町1、時期不明2、江戸・時期不明の包含層各1。	12－ 210
九条二坊十六町	下、七条御所ノ内南町地先	立	3／27	ＧＬ－0.75m 以下湿地状堆積。	12－ 214
九条三坊十三町	南、吉祥院中河原里南町19-2	立	1／6	検出できず。	11－ 173
九条四坊　一町	南、吉祥院宮ノ東町15-2	立	2／10	ＧＬ－0.75m にて時期不明の包含層。	11－ 192

平安京左京（ＨＬ）

遺　跡　名	所　　在　　地	試・立	調査日	概　　　要	図版番号
北辺一坊　一町	上、千本通一条下る北伊勢殿構町地先	立	2／13	攪乱のみ。	5－313
〃	上、一条通千本東入伊勢殿構町地先	立	3／8	攪乱のみ。	5－361
北辺一坊　八町	上、一条通智恵光院東入鏡石町23	立	3／10	検出できず。	5－344
一条三坊　六町	上、室町通出水下る勘解由小路町162-1・2	立	3／13	ＧＬ－0.65mにて時期不明の包含層。	6－345
二条二坊　八町	上、西堀川通椹木下る上堀川町125-1	立	1／7	工事に伴う掘削なし。	5－276
二条二坊十三町	中、夷川通小川東入東夷川町636	立	2／20・22	ＧＬ－0.9mにて江戸の包含層、－1.2mにて時期不明の土壙、－1.25mにて江戸の包含層。	5－317
二条三坊　四町	中、西洞院通二条上る薬師町	立	3／12	ＧＬ－1.11mにて時期不明の土壙2。	6－340
二条三坊　十町	中、両替町通竹屋町上る西方寺町160-2	立	3／6・7	ＧＬ－0.96mにて鎌倉後期の土壙。	6－333
二条三坊十一町	中、室町通夷川上る鏡屋町36	立	3／12	盛土のみ。	6－338
二条四坊十五町	中、御幸町通丸太町下る毘沙門町558-4	立	3／29	ＧＬ－0.2m以下江戸の包含層2。	6－364
三条一坊　四町	中、西ノ京南聖町地先	立	1／21・30	検出できず。	5－289
三条二坊　五町	中、姉小路通堀川西入樽屋町463	立	3／18	盛土のみ。	5－352
三条二坊　七町	中、御池通堀川西入池元町408-10	立	3／12・17	ＧＬ－0.6mにて時期不明の路面3、推定猪熊小路、平安中期・時期不明の包含層各2。	5－341
三条二坊十一町	中、東堀川通姉小路上る三坊堀川町58-1	立	2／22・24	ＧＬ－1.14mにて時期不明の包含層、－1.18mにて室町の土壙。	5－321
三条三坊　一町	中、釜座通二条下る正行寺町676-1	立	3／3	ＧＬ－0.9m以下江戸の包含層。	6－328
三条三坊　四町	中、釜座通姉小路下る突抜町793-2・3	立	1／25・27・29	ＧＬ－1.2m以下土壙5、鎌倉2、時期不明3、平安後期・時期不明の包含層各1、平安中期の整地層。	6－294
三条三坊　五町	中、衣棚通姉小路下る突抜町129-1，132	立	3／27	検出できず。	6－362
三条三坊　七町	中、衣棚通御池上る下妙覚寺町192	立	3／12・13	ＧＬ－1.45mにて時期不明の整地層。	6－339
三条三坊　八町	中、衣棚通二条下る上妙覚寺町地先	立	2／22	巡回時工事終了。	6－320
三条三坊十五町	中、烏丸通御池上る二条殿町546	立	1／28・30 2／3	ＧＬ－1.1m以下包含層7、室町1、時期不明6、土壙6、室町1、江戸1、時期不明4。	6－297
三条四坊　八町	中、高倉通二条下る瓦町539	立	1／27， 2／7	ＧＬ－0.85m以下室町・江戸・時期不明の包含層各1。	6－295
三条四坊　九町	中、富小路通二条下る俵屋町182-1	立	2／15	検出できず。	6－314
三条四坊十六町	中、御幸町通二条下る山本町414-1，418-2	立	3／22	盛土のみ。	6－356
四条一坊　七町	中、壬生馬場町23	立	1／21	ＧＬ－0.3mにて鎌倉の包含層。	9－292
四条二坊　三町	中、大宮通蛸薬師下る四坊大宮町163-2	立	1／8	ＧＬ－1.25mにて時期不明の包含層。	9－280
四条二坊　六町	中、西堀川通錦小路上る宮本町836	立	3／18	ＧＬ－1.7m以下土壙6、鎌倉1、江戸1、時期不明4、時期不明の包含層。	9－351
四条三坊十五町	中、六角通烏丸東入堂之前町245	試	3／3	ＧＬ－0.4m以下室町・江戸末期の包含層各1、室町後期・江戸の整地層各1。	10－327
四条四坊　四町	中、錦小路通高倉西入西魚屋町598	立	1／7・8	検出できず。	10－277
四条四坊　五町	中、堺町通四条上る八百屋町553-1	立	3／12	ＧＬ－0.8m以下包含層4、室町1、江戸1、時期不明2。	10－337
四条四坊　六町	中、高倉通錦小路上る中魚屋町510-4	立	3／3	検出できず。	10－329
四条四坊　七町	中、蛸薬師通堺町東入雁金町147	立	1／29	ＧＬ－0.8m以下桃山の包含層、鎌倉・時期不明の土壙各1。	10－298
四条四坊　十町	中、柳馬場通六角下る井筒屋町411，412，414，415	試	3／26	ＧＬ－0.95m以下室町前期の土壙墓1。桃山の井戸1、時期不明の土壙1、整地層1、－1.5mにて平安後期の根石をもつ柱穴3。	10－358
四条四坊十三町	中、御幸町通錦小路下る大日町	立	1／9・25	ＧＬ－1.8m以下室町の包含層2。	10－281
四条四坊十六町	中、三条通麩屋町東入弁慶石町45	立	3／13	ＧＬ－1.8mにて鎌倉の土壙。	10－346
五条一坊　九町	中、壬生賀陽御所町18-3	立	1／16・17	ＧＬ－0.35mにて平安後期・時期不明の包含層各1、平安後期・室町・江戸・	9－287

				時期不明の土壙各4。	
五条一坊十四町	下､坊門町地先	立	1／22	ＧＬ－0.7mにて鎌倉の包含層。	9－293
五条二坊　一町	下､大宮通四条下る四条大宮町18-10・12	立	2／22	巡回時工事終了。	9－322
五条二坊　六町	下､西堀川通仏光寺下る吉水町	立	1／21	検出できず。	9－291
五条二坊　十町	下､綾小路通醒ケ井西入西綾小路西半町	立	1／8	検出できず。	9－279
五条二坊十一町	下､高辻通醒ケ井東入西高辻町602	立	1／7	検出できず。	9－278
五条三坊　五町	下､室町通高辻下る高辻町	立	2／12	ＧＬ－1.1mにて鎌倉の包含層。	10－310
五条三坊十四町	下､東洞院通仏光寺下る高橋町613-2	立	3／4	ＧＬ－0.7m以下包含層3、桃山1、時期不明2。	10－330
五条四坊　一町	下､四条通高倉西入立売西町68-2	立	3／15･18	ＧＬ－1.2m以下包含層3、室町1、時期不明2。	10－347
五条四坊　二町	下､綾小路通高倉西入神明町247-1	立	2／19	ＧＬ－1.35m以下桃山の井戸1、土壙10、鎌倉2、鎌倉後期5、時期不明3、包含層3、平安後期1、時期不明2。	10－316
五条四坊　六町	下､仏光寺通堺町東入東前町405	立	2／6	ＧＬ－0.9m以下包含層11、平安後期1、鎌倉1、室町1、時期不明8。	10－304
五条四坊　九町	下､富小路通四条下る徳正寺町32	立	2／1	盛土のみ。	10－300
五条四坊　十町	下､柳馬場通綾小路下る永原町154	立	2／12	検出できず。	10－311
五条四坊十三町	下､寺町通高辻下る京極町486-2	立	2／10	巡回時工事終了。	10－307
〃	下､御幸町通高辻下る桝屋町	立	2／26	ＧＬ－0.7m以下室町・江戸・時期不明の包含層各1、江戸の土壙。	10－325
五条四坊十六町	下､麩屋町通四条下る八文字町338-2	立	1／10	ＧＬ－1.6m以下室町の包含層2。	10－285
六条一坊　十町	下､中堂寺櫛笥町18-13	立	3／26	ＧＬ－0.85m以下時期不明の包含層2。	9－359
六条一坊十五町	下､下松屋町通五条上る下長福寺町地先	立	1／10	攪乱のみ。	9－283
〃	下､中堂寺櫛笥町26	立	1／27･29	北東部ＧＬ－0.4m以下包含層5､平安後期1、鎌倉1、時期不明3、－0.9m以下縄文土器を含む流路堆積､北西部－0.9m以下路面3、平安後期1、時期不明2、平安中期・平安末期～鎌倉の溝各1。	9－296
六条二坊　四町	下､猪熊通五条下る柿本町670-12	立	2／10･13	ＧＬ－0.37m以下平安後期･時期不明の包含層各1、時期不明の土壙。	9－308
六条二坊　九町	下､醒ケ井通万寿寺上る篠屋町54	立	2／7	ＧＬ－1.2mにて江戸の落ち込み。	9－305
六条二坊　十町	下､万寿寺通油小路西入上金仏町273	立	1／10	盛土のみ。	9－284
〃	下､醒ケ井通五条上る小泉町111-1	立	3／12	盛土のみ。	9－342
六条二坊十二町	下､油小路通六条上る卜味金仏町177-13	立	1／20	ＧＬ－0.68mにて時期不明の路面､推定油小路､包含層4、鎌倉1､室町後期3。	9－288
六条三坊十二町	下､室町通五条下る大黒町216	立	3／6	ＧＬ－0.4m以下包含層3、江戸2､時期不明1。	10－334
六条四坊　二町	下､間之町通五条上る朝妻町96	立	3／12	ＧＬ－1.4mにて時期不明の包含層。	10－343
六条四坊　三町	下､五条通間ノ町西入万寿寺町135，135-1	立	3／31	ＧＬ－0.6m以下平安中期の包含層、土壙。	10－365
七条一坊　九町	下､花屋町通櫛笥西入薬園町1174-5	立	3／29	ＧＬ－0.35mにて時期不明の包含層。	9－363
七条二坊　四町	下､大宮通七条上る御器屋町	立	3／4	ＧＬ－0.5m以下包含層3、江戸1、時期不明2、室町の湿地状堆積。	9－331
七条二坊　九町	下､油小路通新花屋町上る西若松町地先	立	2／13･17 20，3／12	検出できず。	9－312
七条二坊　十町	下､西中筋通新花屋町下る住吉町57	立	3／20･25	№.1　ＧＬ－0.3m以下鎌倉・室町・江戸・時期不明の包含層各1、№.4 －0.53m以下推定左女牛小路路面3、平安後期1、時期不明2。	9－354
七条二坊十三町	下､油小路通七条上る米屋町181	立	3／4・5 ･15	ＧＬ－0.83m以下包含層3、室町2、時期不明1、－1.18m以下土壙4、平安中期1、室町2、時期不明1。	9－332
〃	下､油小路通七条上る米屋町180-4，181-8	立	3／8	ＧＬ－1.24m以下平安前期･室町･時	9－336

				期不明の包含層各1、時期不明の整地層1、平安前期の土壙2。	
七条三坊　一町	下、花屋町通若宮西入西松屋町571	立	2 / 20	ＧＬ－0.35m 以下江戸の土壙3。	10－ 318
〃	下、新花屋町通若宮西入若宮町地先	立	3 / 22	巡回時工事終了。	10－ 357
七条三坊　四町	下、新町通七条上る辰巳町756	立	2 / 1	検出できず。	10－ 299
七条三坊十六町	下、不明門通六条下る仏具屋町151-5	立	3 / 19	ＧＬ－0.8m 以下時期不明の包含層2。	10－ 353
七条四坊十三町	下、二ノ宮町通正面下る上二之宮町416-2	立	2 / 5	検出できず。	10－ 303
七条四坊十五町	下、木屋町通上ノ口下る富浜町182, 182-9·10	立	1 / 11	ＧＬ－0.65m 以下鴨川の氾濫層2。	10－ 286
八条一坊十六町	下、和気町8	立	1 / 9	ＧＬ－1.12m 以下鎌倉・時期不明の包含層各1。	11－ 282
八条二坊　七町	下、塩小路通堀川西入志水町138-2	立	2 / 3	ＧＬ－1.05m にて時期不明の東西溝。	11－ 301
八条二坊　八町	下、猪熊通下魚ノ棚下る樽屋町383	立	2 / 7・8	ＧＬ－0.8m 以下包含層4、平安後期1, 鎌倉2, 時期不明1。	11－ 306
八条二坊十五町	下、塩小路通西洞院西入北不動堂町570-6·7	立	3 / 18	ＧＬ－0.7m にて江戸の包含層。	11－ 350
〃	下、木津屋橋通西洞院西入南町568	立	3 / 26	ＧＬ－1.3m にて時期不明の包含層。	11－ 360
八条二坊十六町	下、七条通油小路東入大黒町221	立	2 / 20·25	ＧＬ－0.64m にて室町の包含層、－1.0m 以下時期不明の路面4、推定七条大路。	11－ 319
八条三坊十五町	下、東洞院通塩小路下る東塩小路町地先	立	2 / 26	攪乱のみ。	12－ 324
九条一坊　一町	南、八条源町地先	立	3 / 17·27	ＧＬ－0.4m にて時期不明の土壙。	11－ 348
九条一坊　二町	南、八条源町87-2	立	3 / 20	ＧＬ－0.6m以下時期不明の流れ堆積。	11－ 355
九条一坊　三町	南、八条内田町52	立	2 / 4	ＧＬ－0.29m にて時期不明の包含層。	11－ 302
九条一坊　四町	南、八条内田町39-1	立	1 / 21	ＧＬ－0.8mにて時期不明の流れ堆積。	11－ 290
〃	南、八条内田町24-7	立	2 / 25	ＧＬ－0.4mにて時期不明の流れ堆積。	11－ 323
九条一坊　五町	南、四ツ塚町11	立	3 / 7	ＧＬ－0.41m 以下江戸の包含層2、整地層2。	11－ 335
九条二坊　一町	南、西九条横町9, 10	立	2 / 26	ＧＬ－1.55m にて江戸の池状堆積。	11－ 326
〃	南、西九条横町34, 33-2	立	3 / 19	ＧＬ－0.42m にて土壙3、平安後期1, 時期不明2。	11－ 349

太秦地区（ＵＺ）

遺　跡　名	所　　在　　地	試・立	調査日	概　　要	図版番号
広隆寺旧境内（蜂岡寺跡）	右、太秦西蜂岡町地先	立	1 / 27	巡回時工事終了。	
史跡・名勝嵐山	右、嵯峨天竜寺造路町31-1	立	1 / 17	ＧＬ－0.7m にて室町の包含層。	

洛北地区（ＲＨ）

遺　跡　名	所　　在　　地	試・立	調査日	概　　要	図版番号
相国寺旧境内	上、相国寺門前町地先	立	1 / 13	検出できず。	
〃	上、今出川通烏丸東入上る相国寺門前町636-5	立	2 / 22	盛土のみ。	
紫野斎院跡	上、廬山寺通大宮西入東社町地先	立	1 / 14·20 23, 2 / 1・13	ＧＬ－0.48m にて室町の包含層。	
岩倉中在地遺跡	左、岩倉村松町地先	立	1 / 23	攪乱のみ。	
妙満寺窯跡	左、岩倉幡枝町地先	立	3 / 15	検出できず。	
栗栖野瓦窯跡	左、岩倉幡枝町641-9	立	2 / 20	検出できず。	
〃	左、岩倉幡枝町661～685	立	3 / 18	検出できず。	
植物園北遺跡	左、下鴨北茶の木町24-2地先	立	2 / 12	巡回時工事終了。	
〃	北、上賀茂土門町55	立	2 / 22·26 28	ＧＬ－0.75m にて平安後期の土壙。	
〃	北、上賀茂池端町地先	立	3 / 5・6	検出できず。	

北白川地区（ＫＳ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
法成寺跡	上、河原町通広小路下る東入東桜町35地先	立	1／9・10	攪乱のみ。	
京都大学北部構内遺跡	左、北白川追分町5-6他	試	3／7	ＧＬ－0.9mにて縄文と平安の遺物を含む東西流路。	
小倉町・別当町遺跡	左、北白川堂ノ前町1	試	2／14	ＧＬ－0.2m以下平安の包含層2、－0.6mにて飛鳥の土壙。	13 － 35
〃	左、北白川上別当町3-1	試	2／26	ＧＬ－0.17m以下飛鳥～室町の遺物を含む耕作土。－0.7mにて縄文後期の包含層。	13 － 36
白河南殿跡	左、聖護院蓮華蔵町8-21	立	1／7	ＧＬ－1.25mにて江戸の包含層。	13 － 32
法勝寺跡	左、岡崎法勝寺町30	試	3／19	ＧＬ－0.3m以下根石を持つ平安後期の柱穴2、溝状遺構1、各々法勝寺金堂東軒廊の柱穴及び雨落ち溝。発掘調査に切り換える。	13 － 38

洛東地区（ＲＴ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
中臣遺跡	山、栗栖野狐塚町5-1他	立	1／21	検出できず。	13 － 67
〃	山、勧修寺東栗栖野町44-1	立	2／3	検出できず。	13 － 70
〃	山、椥辻番所ケ口町10-1，2-5	立	3／20	巡回時工事終了。	13 － 74
山科本願寺跡	山、西野広見町5-7	立	3／27	検出できず。	
珍皇寺境内遺跡	東、轆轤町105	立	1／18・28	ＧＬ－0.5mにて江戸の包含層、－0.95mにて時期不明の土壙2。	
六波羅政庁跡	東、山崎町342	立	2／4	ＧＬ－0.7m以下江戸・時期不明の包含層各1。	
法住寺殿跡	東、本瓦町665-6	立	1／10	ＧＬ－0.82m以下室町・時期不明の包含層各1。	
法性寺跡	東、今熊野椥ノ森町地先	立	1／22・24 25・30	ＧＬ－0.4mにて時期不明の包含層。	
〃	東、福稲上高松町7地先	立	2／12	攪乱のみ。	
〃	東、今熊野南日吉町1	立	2／19	盛土のみ。	
鳥辺野	東、泉涌寺東林町41-16	立	1／24	検出できず。	

伏見・醍醐地区（ＦＤ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
貞観寺跡	伏、深草瓦町61	立	1／31	検出できず。	
〃	伏、深草瓦町地先	立	2／24	ＧＬ－0.3mにて時期不明の土壙。	
伏見城跡	伏、新町二丁目508	立	1／8	ＧＬ－0.7mにて時期不明の包含層、－0.85m以下時期不明の流れ堆積。	
〃	伏、桃山町金森出雲8-30	立	1／9	検出できず。	
〃	伏、深草大亀谷万帖敷町89-14	立	1／10	盛土のみ。	
〃	伏、桃山町日向地先	立	1／28, 2／24・25 3／17	ＧＬ－1.2m以下時期不明の包含層2。	
〃	伏、桃山町丹後30-6	立	1／31	検出できず。	
〃	伏、柿ノ木浜町456	立	1／31	検出できず。	
〃	伏、桃山町松平筑前10-15	試	2／17	ＧＬ－0.64mにて桃山～江戸初期の整地層、土壙、柱穴合わせて27。	
〃	伏、桃山町松平筑前10-16	立	2／27	ＧＬ－0.45m以下時期不明の包含層2、土壙2。	
〃	伏、桃山筒井伊賀東町85	立	3／3	ＧＬ－1.7mにて桃山の落ち込み。	

伏見城跡	伏、両替町四丁目307	立	3／10	盛土のみ。	
〃	伏、深草大亀谷敦賀町21	立	3／18	検出できず。	
〃	伏、桃山井伊掃部東町49	立	3／20	検出できず。	
深草寺跡	伏、深草枯木町43-1	立	2／22·25	ＧＬ－0.13mにて時期不明の包含層、－0.3mにて時期不明の土壙。	

鳥羽地区（ＴＢ）

遺跡名	所在地	試·立	調査日	概要	図版番号
深草遺跡	伏、深草西浦町四丁目375	立	3／13	検出できず。	
〃	伏、深草塚本町地先	立	3／15	ＧＬ－1.6mにて室町の包含層。	
〃	伏、深草西浦町二丁目26	立	3／19	ＧＬ－0.89m以下時期不明の落ち込み1、包含層2。	
鳥羽離宮跡	伏、中島宮ノ前町17-1	試	1／22	攪乱のみ。	14 － 45
〃	伏、竹田小屋ノ内町	試	1／24	ＧＬ－1.15mにて60年度TB-13で検出した池の陸部と同一層。	14 － 46
〃	伏、竹田桶ノ井町45	立	1／29	検出できず。	14 － 47
〃	伏、中島堀端町地先	立	1／31	ＧＬ－0.98m以下時期不明の流れ堆積。	14 － 48
〃	伏、中島宮ノ後町23-1・4・7　秋ノ山33-1	立	2／5	ＧＬ－1.45mにて平安後期の整地層2。	14 － 49
〃	伏、竹田浄菩提院町48-10	立	2／8	盛土のみ。	14 － 50
〃	伏、竹田真幡木町地先	立	2／17·24	ＧＬ－0.98mにて時期不明の包含層。	14 － 51
〃	伏、竹田桶ノ井町地先	立	2／28, 3／15～20	ＧＬ－1.3m以下平安後期～鎌倉の溝1、土壙5、平安後期2、江戸3、柱穴10、平安後期9、江戸1、平安後期の落ち込み2、鎌倉～室町の整地層1。本文22ページ。	14 － 53
〃	伏、竹田田中殿町56-3	試	3／5	1Ｔ　ＧＬ－1.24mにて平安末期の東西方向の溝1。59年度ＴＢ104(発掘調査）の溝の延長。 2Ｔ　ＧＬ－0.97m以下平安末期の整地層2、－1.37m以下時期不明の湿地状堆積。発掘調査に切り換える。	14 － 54

南・桂地区（ＭＫ）

遺跡名	所在地	試·立	調査日	概要	図版番号
中久世遺跡	南、久世中久世町三丁目76	立	2／6	盛土のみ。	15 － 6
〃	南、久世大藪町181	立	3／13·20	検出できず。	15 － 8
〃	南、久世中久世町五丁目77	立	3／29	ＧＬ－0.75mにて時期不明の包含層。	15 － 9
〃	南、久世中久世町三丁目110	立	2／18	巡回時工事終了。	15 － 10
山田桜谷古墳群	西、下山田下園尾町，山田桜谷町	立	2／6·10 13	新発見の古墳。1号墳、全長50m余り、前方部幅27m、後円部径21m余り、東南面する前方後円墳。2号墳、前方部を北北西に向ける。	

長岡京地区（ＮＧ）

遺跡名	所在地	試·立	調査日	概要	図版番号
長岡京跡	南、久世築山町212-1	立	1／6	盛土のみ。	15 － 25
〃	伏、羽束師古川町297～301	立	1／9	盛土のみ。	
〃	伏、羽束師古川町173	立	1／13	盛土のみ。	
〃	伏、納所町274，275	立	1／21	盛土のみ。	
〃	南、久世大藪町466-1，468-1，476-1	立	2／3·13	ＧＬ－1.1m以下時期不明の包含層、溝各1。	15 － 29

長岡京跡	伏、淀本町173-34	立	2／17	GL－1.0mにて江戸の包含層。	
〃	南、久世東土川町265	立	2／27, 3／5	GL－0.7mにて弥生・室町の溝各1、－0.72m以下包含層3、弥生2、室町1。	15 － 31
〃	西、大原野上里鳥見町16-11	立	2／28	盛土のみ。	
〃	伏、羽束師古川町地先	立	3／10	巡回時工事終了。	
〃	伏、久我西出町10-12	試	3／24	検出できず。	15 － 34

Ⅱ　61年度4～12月期

平安宮（HQ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
平安宮跡	上、出水通千本西入尼ケ崎横町371-1	立	4／8	GL－0.35mにて時期不明の包含層。	2 － 1
〃	中、西ノ京内畑町1	立	4／8	巡回時工事終了。	2 － 2
〃	上、御前通下立売上る仲之町289-22	立	4／9	GL－0.18mにて時期不明の包含層。	2 － 3
〃	上、浄福寺通上長者町下る長谷町197-7	立	4／14	盛土のみ。	2 － 4
〃	中、聚楽廻松下町3-33	立	4／16	GL－0.5m以下江戸の包含層2。	2 － 5
〃	上、仁和寺街道七本松西入二番町～三番町地先	立	4／23, 5／7～23	検出できず。	2 － 6
〃	中、西ノ京内畑町29, 60	立	4／30	盛土のみ。	2 － 7
〃	上、丸太町通浄福寺西入中務町	試	5／7	GL－0.5m以下平安・室町の包含層各1、－0.8mにて平安前期の土壙。発掘調査に切り換える。	2 － 8
〃	上、御前通下立売上る三丁目東入三助町281-21	立	5／8	盛土のみ。	2 － 9
〃	上、御前通下立売上る三丁目東入三助町281-21	立	5／8	盛土のみ。HQ-9と隣接。	2 － 10
〃	中、聚楽廻西町102-3	立	5／9	検出できず。	2 － 11
〃	中、西ノ京左馬寮町10-3	試	5／14	GL－0.54mにて時期不明の落ち込み。	2 － 12
〃	上、松屋通椹木町下る三町目663	立	5／26	GL－0.7mにて江戸の包含層。－0.9mにて室町の土壙。	2 － 13
〃	上、六軒町通一条下る西中筋町19	立	5／28	盛土のみ。	2 － 14
〃	上、日暮通下立売下る櫛笥町695	立	5／31, 6／2	GL－0.55mにて平安前期の土壙。	2 － 15
〃	上、浄福寺通出水下る田村備前町240-15	立	6／10	盛土のみ。	2 － 16
〃	中、聚楽廻西町163	立	6／17	盛土のみ。	2 － 17
〃	上、下立売通智恵光院西入中村町521	立	6／18	盛土のみ。	2 － 18
〃	上、浄福寺通丸太町下る東入主税町980	立	6／19・20	GL－0.65m以下時期不明の包含層2、土壙4、平安中期1、時期不明3。	2 － 19
〃	上、下立売通七本松西入西東町361-10	立	6／27	巡回時工事終了。	2 － 20
〃	上、日暮通椹木町下る北伊勢屋町744	立	6／28, 7／9	GL－1.02mにて平安後期の土壙。	2 － 21
〃	上、下立売通千本西入稲葉町455-2	立	7／2	検出できず。	2 － 22
〃	上、千本通竹屋町下る聚楽町地先	立	7／14	GL－0.58mにて時期不明の包含層。	2 － 23
〃	上、御前通一条下る東竪町132-1 仁和小学校	立	7／16	GL－0.67mにて室町の包含層、－0.81mにて平安の土壙。	2 － 24
〃	中、聚楽廻東町14-2	立	7／31	GL－0.1mにて江戸の包含層。	2 － 25
〃	上、仁和寺街道千本西入五番町471	立	8／4・6	GL－0.47mにて時期不明の土壙1。	2 － 26
〃	上、下長者町通六軒町西入利生町294	立	8／4	GL－0.2mにて江戸の包含層。	2 － 27
〃	中、西ノ京車坂町1-10	立	8／11	GL－0.93mにて時期不明の版築状の整地層。	2 － 28
〃	上、千本通二条下る東入主税町1076-2	立	8／19～22	GL－0.66m以下土壙3、江戸1、時期不明2、－0.97mにて時期不明の東西溝3。	2 － 29

平安宮跡	上、裏門通中立売上る西入今新在家町205-18	立	8／20	盛土のみ。	2－30
〃	上、御前通下立売上る三丁目西上之町278-19	立	8／30	盛土のみ。	2－31
〃	上、千本通二条下る東入主税町12-19	立	9／2	盛土のみ。	2－32
〃	上、中立売通智恵光院東入多門町地先	立	9／4	巡回時工事終了。	2－33
〃	上、千本通下立売下る小山町908-55	立	9／5	盛土のみ。	2－34
〃	中、西ノ京車坂町15-5 朱雀第六小学校	立	9／6	巡回時工事終了。	2－35
〃	中、聚楽廻南町3-3他	立	9／9	ＧＬ－0.46m以下江戸の包含層。	2－36
〃	中、西ノ京内畑町26-22	立	9／9	ＧＬ－1.25mにて時期不明の土壙。	2－37
〃	上、七本松通下長者町下る三番町268-1	立	9／11	ＧＬ－0.7m以下江戸・時期不明の包含層各1。	2－38
〃	上、下長者町通裏門西入坤高町59-1	立	9／13	巡回時工事終了。	2－39
〃	上、七本松通仁和寺街道上る一番町108-23	立	9／16	盛土のみ。	2－40
〃	上、七本松通中立売下る西入三軒町65-51	立	9／24	ＧＬ－0.53mにて江戸の包含層。	2－41
〃	上、椹木町通日暮東入櫛笥町770	立	9／29	盛土のみ。	2－42
〃	上、日暮通下立売下る櫛笥町712	試	10／15～25	ＧＬ－0.2mにて時期不明の整地層。－0.4mにて土壙19、平安前～中期16、室町1、江戸2、桃山の溝1、江戸の井戸1。本文30ページ。	2－43
〃	上、出水通智恵光院東入金馬場町164	試・立	10／17	ＧＬ－0.7m以下江戸の包含層3。	2－44
〃	上、日暮通上長者町下る須浜町568-6-2	立	10／17	検出できず。	2－45
〃	上、浄福寺通出水上る白銀町261-5	立	10／21	盛土のみ。	2－46
〃	中、聚楽廻南町19	立	10／22	盛土のみ。	2－47
〃	中、聚楽廻南町19	立	10／22	盛土のみ。	2－48
〃	上、浄福寺通中立売下る菱丸町180	立	10／27	盛土のみ。	2－49
〃	上、智恵光院通丸太町上る西院町747	立	10／30	ＧＬ－0.77mにて江戸の土壙。	2－50
〃	上、千本通竹屋町下る聚楽町850	立	11／4・6	ＧＬ－0.61mにて平安の土壙4。	2－51
〃	上、裏門通一条下る今新在家町205-7	立	11／14	盛土のみ。	2－52
〃	上、下の森通下立売上る鳳瑞町255	立	11／27	盛土のみ。	2－53
〃	上、千本通下立売下る小山町889-3，893他	試	11／28	ＧＬ－1.4m以下江戸の包含層6、土壙4。	2－54
〃	上、御前通下立売上る三丁目東入三助町281	立	12／3	巡回時工事終了。	2－55
〃	上、浄福寺通一条下る東西俵屋町152	立	12／3・4	ＧＬ－0.65mにて江戸の包含層。	2－56
〃	上、千本通二条下る東入主税町996-2	立	12／24	盛土のみ。	2－57

平安京右京（ＨＲ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
北辺一坊　八町	上、一条通御前東入西町17-2	立	9／19	ＧＬ－0.1m以下包含層5、江戸2、時期不明3、－0.95mにて時期不明の落ち込み1。	4－107
北辺二坊　一町	上、一条通御前西入大東町95	立	12／1		4－149
北辺二坊　二町	上、仁和寺街道御前西入下横町230-4	立	6／6	盛土のみ。	4－43
北辺二坊　三町	上、仁和寺街道御前西入下横町199-12	立	6／4	ＧＬ－0.41m以下時期不明の包含層3、土壙2。	4－41
〃	上、仁和寺街道御前西入下横町210-16・17	立	11／6	ＧＬ－1.1m以下江戸の包含層。	4－130
北辺二坊　六町	北、大将軍川端町89-1	立	4／1	ＧＬ－0.35m以下時期不明の包含層3。	4－1
北辺三坊　二町	北、大将軍南一条町70	立	7／8	ＧＬ－0.8mにて鎌倉後期の落ち込み。	3－63
北辺三坊　八町	北、大将軍坂田町7-25	立	7／24	ＧＬ－0.65mにて時期不明の土壙2。	3－72
一条二坊　二町	上、御前通下立売上る仲之町293	立	8／21	ＧＬ－0.87mにて室町の溝。	4－93
一条二坊　七町	上、上の下立売通御前西入二丁目上る堀川町519-7	立	5／27	ＧＬ－0.15mにて時期不明の包含層。	4－33
一条二坊　九町	北、大将軍東鷹司町157	立	12／16	ＧＬ－0.72m以下室町の土壙。	4－155
一条三坊　二町	中、西ノ京御輿岡町15	立	9／7		3－113
一条三坊　三町	中、西ノ京大炊御門町6-8	立	12／22	ＧＬ－0.25mにて平安中期の包含層。	3－158
一条三坊　五町	中、西ノ京伯楽町22-7	立	4／8	ＧＬ－0.62mにて平安の溝。	3－3

一条三坊　七町	中、西ノ京御輿岡町22	立	4／19	ＧＬ—1.36mにて時期不明の土壙3。	3— 10
一条三坊十三町	右、花園薮ノ下町2-3	試	8／6	ＧＬ—0.56mにて平安中期の土壙10、溝2、江戸の溝。	3— 83
〃	右、花園薮ノ下町8-19	立	11／5	GL—0.85m以下時期不明の包含層2。	3— 129
一条四坊　四町	右、花園木辻南町2-1	試	5／1	ＧＬ—1.32m以下火山灰層。	3— 17
〃	右、花園木辻南町地先	立	8／11	撹乱のみ。	3— 87
一条四坊十一町	右、花園寺ノ前町50-3	立	12／6	ＧＬ—0.7mにて時期不明の包含層。	3— 151
一条四坊十四町	右、花園伊町25	立	7／31	ＧＬ—0.06mにて時期不明の包含層。	3— 76
〃	右、花園伊町31	立	8／7～9	ＧＬ—0.82mにて平安後期の溝、推定勘解由小路の北側溝及び路面、時期不明の土壙1、柱穴4。	3— 85
二条二坊　一町	中、西ノ京両町6	立	6／12	検出できず。	4— 47
二条二坊　三町	中、西ノ京冷泉町31	立	8／9	ＧＬ—0.84mにて平安中期の包含層。	4— 88
二条二坊　九町	中、西ノ京円町47-1	立	6／2	ＧＬ—0.74mにて平安中期の包含層。	4— 39
〃	中、西ノ京南円町地先	立	9／9・10	GL—0.7m以下時期不明の流れ堆積。	4— 102
〃	中、西ノ京中御門東町地先	立	11／1	検出できず。	4— 127
二条二坊十二町	中、西ノ京南上合町地先	立	6／12	ＧＬ—0.25mにて時期不明の包含層、—0.45mにて平安中期の土壙。	4— 51
〃	中、西ノ京南上合町19-2, 20-1	立	6／16	検出できず。	4— 55
二条二坊十四町	中、西ノ京北壺井町102	立	10／24	GL—0.55mにて時期不明の包含層2。	4— 122
二条三坊　三町	中、西ノ京北壺井町19	立	5／31	検出できず。	3— 38
〃	中、西ノ京北壺井町68	立	11／18	ＧＬ—1.0mにて平安中期の柱穴4。	3— 143
二条四坊　六町	右、太秦安井馬塚町8	立	10／31	検出できず。	3— 125
二条四坊十一町	右、太秦安井馬塚町18-9	立	10／29	ＧＬ—0.83mにて時期不明の包含層。	3— 124
二条四坊十四町	右、太秦安井奥畑町地先	立	7／14	ＧＬ—0.4mにて室町の土壙3。	3— 65
三条一坊　四町	中、西ノ京栂尾町	立	10／31	盛土のみ。	4— 126
三条一坊　九町	中、西ノ京永本町7	立	8／25	検出できず。	4— 94
〃	中、西ノ京永本町2	立	10／11	ＧＬ—0.57mにて時期不明の土壙。	4— 115
三条一坊十一町	中、西ノ京東月光町27	立	6／16・18	ＧＬ—0.96mにて時期不明の包含層、—1.11mにて平安後期の池状堆積。	4— 56
〃	中、西ノ京東月光町27-12・13	試	10／13	ＧＬ—0.8m以下平安前期・平安中期・江戸の包含層各1。	4— 116
三条一坊十三町	中、西ノ京西月光町27	立	8／11	検出できず。	4— 86
三条一坊十四町	中、西ノ京西月光町1-20	立	5／8	検出できず。	4— 19
〃	中、西ノ京西月光町地先	立	5／28	撹乱のみ。	4— 36
〃	中、西ノ京西月光町15	立	11／15	検出できず。	4— 139
三条一坊十五町	中、西ノ京船塚町17-10	立	5／22	ＧＬ—0.67mにて時期不明の包含層。	4— 28
三条一坊十六町	中、西ノ京船塚町地先	立	6／11～20	検出できず。	4— 48
〃	中、西ノ京船塚町9-8	立	11／12	検出できず。	4— 136
三条二坊　三町	中、西ノ京樋口町地先	立	9／18	撹乱のみ。	4— 105
三条二坊　五町	中、西ノ京北小路町9	立	10／20・21	ＧＬ—0.85m以下平安中期の包含層3。	4— 119
三条二坊　六町	中、西ノ京南原町	立	7／31	ＧＬ—0.8mにて平安中期の池状堆積。	4— 77
三条二坊　八町	中、西ノ京原町76	立	7／14	GL—0.6m以下時期不明の流れ堆積。	4— 66
〃	中、西ノ京原町97	試	11／10	１Ｔ　ＧＬ—0.73mにて土壙14、平安中期2、室町5、時期不明7、平安中期の柱穴2。２Ｔ　ＧＬ—0.7mにて土壙11、平安以前2、平安中期1、時期不明8。３Ｔ　ＧＬ—0.7mにて土壙8、平安中期2、時期不明6。発掘調査に切り換える。	4— 133
三条二坊　九町	中、西ノ京東中合町12-1	立	4／14・16 26	ＧＬ—1.17m以下平安後期・時期不明の包含層各1、—2.0mにて火山灰層。	4— 5
三条二坊　十町	中、西ノ京東中合町81	立	4／23	ＧＬ—1.2m以下時期不明の包含層2。	4— 12
三条二坊十二町	中、西ノ京新建町7	立	9／1	検出できず。	4— 98
三条三坊　一町	中、西ノ京西中合町61	立	5／24	ＧＬ—0.98mにて江戸の包含層。	3— 32

三条四坊　二町	右､山ノ内御堂殿町3	立	12／4	ＧＬ−0.23mにて平安前期の包含層、−0.42mにて平安前期の土壙。	3− 150
三条四坊十一町	右､山ノ内五反田町地先	立	6／20	撹乱のみ。	3− 59
四条一坊　八町	中､壬生天池町35-1	立	9／18･20	№.1　ＧＬ−0.8m以下時期不明の流れ堆積。№.2　ＧＬ−0.67mにて時期不明の土壙1。	8− 106
〃	中､壬生天池町38	立	11／19	検出できず。	8− 144
四条一坊　九町	中､壬生神明町1-1	試	7／16	ＧＬ−1.37mにて平安の池状堆積。	8− 67
四条一坊十二町	中､壬生森町16-2	立	4／17･18	ＧＬ−0.5mにて平安前期の土壙4、溝4、平安後期の土壙。	8− 8
四条一坊十三町	中､壬生森町56-16	立	7／17	検出できず。	8− 69
四条一坊十四町	中､壬生森町66	立	7／25	ＧＬ−0.76mにて時期不明の包含層。	8− 73
四条一坊十六町	中､壬生中川町14-12	立	6／12	検出できず。	8− 52
四条二坊　一町	中､壬生上大竹町18	立	7／3	ＧＬ−0.48mにて平安中期の包含層。	8− 61
四条二坊　三町	中､壬生東淵田町6-2	立	7／28	ＧＬ−0.35mにて時期不明の包含層。	8− 74
〃	中､壬生東淵田町17-3･4	立	12／16	盛土のみ。	8− 156
四条二坊　八町	中､壬生上大竹町13	試	5／9･20	1Ｔ　ＧＬ−0.78mにて平安中期の土壙1。2Ｔ　ＧＬ−0.6mにて平安中期の土壙、−1.1mにて平安中期の柱穴1。5Ｔ　ＧＬ−0.7mにて弥生〜古墳前期の流路、−1.0mにて平安前期〜中期の三条大路南側溝。9Ｔ　ＧＬ−0.74mにて平安中期の柱穴7、土壙1。遺跡の遺存状態極めて良好であったが、試掘調査後故意に破壊される。一部発掘調査に切り換える。	8− 21
四条二坊　九町	中､壬生上大竹町2-1	立	5／31	ＧＬ−1.2mにて時期不明の包含層。	8− 37
四条二坊　十町	右､西院東今田町10-3･4	立	8／6	ＧＬ−0.45m以下平安の包含層2。	8− 84
〃	右､西院東今田町地先	立	10／16〜21	ＧＬ−0.87mにて平安前期の包含層、−1.13mにて平安前期の土壙。	8− 118
四条二坊十一町	右､西院東淳和院町24	立	11／29	検出できず。	8− 148
〃	右､西院東淳和院町19	立	12／13	盛土のみ。	8− 154
四条二坊十三町	右､西院西淳和院町38-1，39-2・3	立	8／27	検出できず。	8− 95
四条二坊十五町	右､西院西今田町17-2	立	4／9	ＧＬ−0.85mにて平安の落ち込み。	8− 4
〃	右､西院東今田町5-1,6	立	10／25	ＧＬ−0.98m以下時期不明の包含層2。	8− 123
四条三坊　一町	右､西院上花田町21	立	5／27	盛土のみ。	7− 34
四条四坊　四町	右､西院四条畑町10	立	9／5	ＧＬ−1.0mにて時期不明の包含層。	7− 100
四条四坊十三町	右､西院笠目町7-4	立	9／1	検出できず。	7− 96
五条一坊　三町	中､壬生松原町1-26	立	9／1	ＧＬ−0.37m以下時期不明の池状堆積、墨書木片出土。本文38ページ。	8− 97
〃	中､壬生松原町67-11・20	立	10／15〜25	ＧＬ−0.78mにて室町の包含層、−1.0mにて平安後期の包含層。	8− 117
五条一坊　七町	中､壬生高樋町	立	5／23	ＧＬ−0.9mにて室町の包含層。	8− 30
五条一坊十三町	中､壬生下溝町35	立	5／14･15	ＧＬ−0.55mにて土壙3、江戸1、時期不明2。	8− 26
五条二坊　二町	中､壬生土居ノ内町13	立	5／22	検出できず。	8− 29
五条二坊　三町	中､壬生東檜町14	立	8／18･21	ＧＬ−0.45mにて時期不明の土壙2、溝1。	8− 89
五条二坊　四町	中､壬生東檜町1，1-1	立	5／10〜13	ＧＬ−0.93m以下時期不明の流れ堆積。	8− 23
五条二坊　七町	中､壬生土居ノ内町8	立	5／13	ＧＬ−0.7mにて時期不明の池状堆積。	8− 25
五条二坊　八町	中､壬生土居ノ内町19	立	6／17	ＧＬ−0.85mにて時期不明の包含層。	8− 57
五条二坊十一町	右､西院平町16	立	8／16･19	ＧＬ−0.28mにて時期不明の柱穴、柱根有り。	8− 91

五条二坊十一町	右、西院平町20-1	立	11/27	GL−0.38mにて平安の落ち込み2。	8− 147
五条二坊十六町	右、西院北矢掛町36-12	立	12/12	GL−0.5mにて土壙5、平安後期1、時期不明4。	8− 153
五条三坊 一町	右、西院巽町7-6	立	4/28	盛土のみ。	7− 16
五条三坊 九町	右、西院坤町56	立	10/9	GL−0.64mにて室町の土壙。	7− 114
五条三坊十二町	右、西院太田町地先	立	5/23·26	GL−1.0mにて時期不明の包含層。	7− 31
五条三坊十四町	右、西院日照町95	立	11/10〜12	№.1 GL−0.48m以下包含層5、平安前期2、時期不明3。 №.2−0.6m以下時期不明の包含層2、−1.0mにて時期不明の東西溝。推定五条坊門小路南側溝。	7− 134
五条三坊十六町	右、西院日照町1 四条中学校	立	6/20, 7/3·16	GL−1.41mにて江戸の土壙13、溝1、柱穴2。	7− 58
五条四坊 四町	右、西院清水町	立	9/29	検出できず。	7− 112
五条四坊 六町	右、西院安塚町101	立	7/31, 8/1	GL−1.44mにて時期不明の包含層。	7− 78
五条四坊 八町	右、西院安塚町22	試	11/14	GL−2.22mにて時期不明の柱穴。	7− 137
五条四坊十一町	右、西院安塚町71	立	8/5	盛土のみ。	7− 82
五条四坊十二町	右、西院月双町4	試	6/11	GL−1.86mにて室町の土壙1、溝1、−0.94mにて古墳後期の土壙1。	7− 46
五条四坊十五町	右、西院東貝川町56・57	立	8/19·20	検出できず。	7− 92
五条四坊十六町	右、西院東貝川町29	立	8/18	GL−1.57mにて時期不明の包含層。	7− 90
六条一坊 六町	下、中堂寺南町地先	立	5/7〜11	GL−0.6mにて時期不明の落ち込み。	8− 18
六条一坊 八町	下、中堂寺北町地先	立	6/4·10	検出できず。	8− 40
六条一坊 九町	下、中堂寺庄ノ内町8-1	立	8/2	GL−0.88m以下時期不明の流路。	8− 79
六条一坊十四町	下、中堂寺粟田町1	立	6/11·12	GL−1.2m以下時期不明の包含層2。	8− 49
〃	下、中堂寺粟田町1	立	11/27	盛土のみ。	8− 146
六条一坊十五町	下、中堂寺庄ノ内町54-8	立	4/23	GL−1.05mにて時期不明の路面。	8− 13
六条二坊 一町	中、壬生東高田町41-1	立	4/17	GL−0.73m以下時期不明の流れ堆積。	8− 7
〃	中、壬生東高田町41	立	7/29	GL−0.92m以下時期不明の流れ堆積。	8− 75
六条二坊 五町	下、西七条御前田町地先	立	6/10〜24	GL−0.4m以下江戸・時期不明の包含層各1。	8− 44
六条二坊十三町	右、西院中水町地先	立	11/6·12	GL−0.92m以下平安・時期不明の包含層各1、時期不明の土壙。	8− 131
六条二坊十五町	右、西院寿町49	立	9/22	検出できず。	8− 108
六条二坊十六町	右、西院西高田町19	立	11/14	GL−0.28m以下時期不明の包含層2。	8− 138
六条三坊 一町	右、西院西寿町18	立	7/16	GL−0.6mにて時期不明の包含層。	7− 68
六条三坊 二町	右、西院南寿町17-4, 18-2	試	11/17	1T GL−0.56mにて平安前期の東西溝、推定六条坊門小路北側溝。 2T GL−0.52mにて鎌倉〜室町の土壙4。	7− 140
六条三坊 四町	右、西院溝崎町21他	立	10/20	GL−0.6mにて室町の包含層。	7− 120
六条四坊 一町	右、西院清水町56	立	12/9	盛土のみ。	7− 152
六条四坊 三町	右、西院六反田町21	試	7/21	GL−1.48m以下池状堆積。	7− 71
〃	右、西院六反田町4-1・3〜6	立	10/24·25	GL−1.03m以下室町・時期不明の包含層各1。	7− 121
六条四坊 五町	右、西京極畔勝町地先	立	9/16	巡回時工事終了。	7− 104
六条四坊十六町	右、西京極葛野町38	試	9/13	GL−0.53mにて江戸の包含層。	7− 103
七条一坊 五町	下、朱雀北ノ口町29	立	6/13	GL−0.7mにて時期不明の土壙6。	8− 53
七条一坊 十町	下、西七条東八反田町27	立	11/18	検出できず。	8− 142
七条一坊十二町	下、西七条北東野町地先	立	5/8	検出できず。	8− 20
七条二坊 二町	下、西七条東石ケ坪町52-1	立	11/1	盛土のみ。	8− 128
七条二坊 十町	下、西七条比輪田町34	立	7/7,	GL−0.67mにて古墳期の土壙。	8− 62

			8／12		
七条二坊十一町	下、西七条市部町地先	立	4／26	ＧＬ－0.66m 以下時期不明の流れ堆積。	8－ 15
七条三坊　一町	下、西七条八幡町22	立	4／24	検出できず。	7－ 14
七条三坊　十町	右、西京極北庄境町地先	立	6／5	ＧＬ－1.45m にて時期不明の包含層。	7－ 42
七条四坊　四町	右、西京極東町3	立	9／5	検出できず。	7－ 99
七条四坊　五町	右、西京極中町22-11・1	立	6／14	ＧＬ－0.28m 以下室町の土壙2、包含層4、室町1。時期不明3。	7－ 54
七条四坊十四町	右、西京極西池田町62-3	立	7／18	検出できず。	7－ 70
八条一坊　九町	下、西七条南東野町地先	立	9／27～10／2	ＧＬ－0.3m にて平安前期の土壙。	12－ 111
八条一坊十六町	下、西七条南東野町46	立	4／7·16,5／2	ＧＬ－0.24m 以下土壙4、平安後期1、時期不明3、時期不明の路面1、推定西大宮大路路面。	12－ 2
八条二坊　二町	下、西七条石井町61 七条小学校	立	4／14	盛土のみ。	12－ 6
〃	下、西七条石井町50-9	立	7／9·12	ＧＬ－1.35m 以下時期不明の池状堆積、－1.8m にて平安前期の包含層。木製品出土。本文40ページ。	12－ 64
八条二坊　六町	下、梅小路石橋町19	立	9／26	GL－0.25m以下時期不明の包含層2。	12－ 110
八条二坊十二町	下、七条御所ノ内本町89-2	立	8／4·5	No.1　ＧＬ－0.69m にて平安以前の土壙1。No.2　ＧＬ－0.5m にて時期不明の包含層。－0.67m にて時期不明の溝、推定梅小路南側溝。No.3　ＧＬ－0.7m にて時期不明の溝1、鎌倉の包含層。本文41ページ。	12－ 80
〃	下、七条御所ノ内本町100-2	立	8／4	ＧＬ－0.55m 以下時期不明の池状堆積。	12－ 81
八条三坊　一町	下、西七条南月読町71-6	立	5／21	盛土のみ。	11－ 27
八条三坊　十町	右、西京極下沢町9	立	5／10	ＧＬ－0.8m にて室町の包含層。	11－ 24
八条四坊十二町	南、吉祥院向田西町5	立	4／21	ＧＬ－0.85m 以下時期不明の流れ堆積。	11－ 11
九条一坊　五町	南、唐橋羅城門町地先	立	6／11·14	ＧＬ－0.2m 以下時期不明の包含層2、－0.33m 以下時期不明の路面4、推定九条大路。	12－ 50
九条一坊　七町	南、唐橋井園町50	立	9／25	検出できず。	12－ 109
九条一坊　十町	南、唐橋井園町3-2	立	6／10	GL－0.28m以下時期不明の包含層3。	12－ 45
〃	南、唐橋門脇町35 八条中学校	立	11／8	盛土のみ。	12－ 132
九条二坊　三町	南、唐橋平垣町68-6	立	7／2	ＧＬ－1.04m にて弥生の包含層。	12－ 60
九条二坊　六町	南、唐橋平垣町1-1	立	9／5	盛土のみ。	12－ 101
九条二坊　九町	下、七条御所ノ内南町102	立	12／17	巡回時工事終了。	12－ 157
九条二坊十一町	南、唐橋平垣町35, 35-1	立	5／27	ＧＬ－0.47m にて時期不明の包含層。	12－ 35
九条二坊十六町	下、七条御所ノ内南町地先	立	4／18,5／7	ＧＬ－0.75m にて時期不明の包含層。	12－ 9
九条三坊　四町	南、吉祥院西ノ庄猪之馬場町1	立	5／9	検出できず。	11－ 22
九条三坊　七町	南、吉祥院西ノ庄西中町	立	11／18	GL－0.9m以下時期不明の流れ堆積。	11－ 141
九条三坊　十町	南、吉祥院西ノ庄西中町35	立	11／10	ＧＬ－0.71m 以下時期不明の流れ堆積。	11－ 135
九条四坊　三町	南、吉祥院中河原西屋敷町21-3	立	11／26	ＧＬ－0.84m にて時期不明の包含層。	11－ 145

平安京左京（ＨＬ）

遺跡名	所在地	試·立	調査日	概要	図版番号
北辺一坊　一町	上、千本通中立売上る東入東西俵屋町647-1	立	6／13	盛土のみ。	5－ 70
北辺二坊　四町	上、中立売通堀川西入役人町255-1	立	6／10·11	ＧＬ－0.15m にて土壙3、江戸1、時期不明2。	5－ 67

北辺二坊　四町	上、御前通下長者町下る西入川瀬町116	立	10／2・3	ＧＬ−0.7m にて桃山の包含層。	5 − 165
北辺二坊　五町	上、東堀川通一条下る主計町2-4	試	5／13	ＧＬ−1.1m 以下室町の包含層2。	5 − 42
〃	上、一条通油小路西入上る西川端町558-18	立	8／26	ＧＬ−0.45m にて江戸の包含層。	5 − 132
北辺三坊　二町	上、西洞院通中立売下る菊屋町254-3	立	4／21	ＧＬ−0.7m にて江戸の土壙。	6 − 28
北辺三坊　四町	上、一条通室町西入東日野殿町	立	9／19	ＧＬ−1.15m にて江戸の包含層、−2.05m にて室町の包含層。	6 − 151
北辺三坊　六町	上、室町通中立売下る花立町501	立	8／18	盛土のみ。	6 − 124
一条二坊　一町	上、旧大宮通下長者町上る藤五郎町596	立	4／7	ＧＬ−0.92m にて江戸の包含層。	5 − 9
〃	上、上長者町通黒門西入北小大門町561	立	4／24	GL−0.76m以下時期不明の包含層2、平安中期・後期・時期不明の土壙各1。	5 − 31
一条二坊　二町	上、猪熊通下長者町下る蛭子町412	立	4／21・22	ＧＬ−0.43m にて土壙5、桃山1、時期不明4。	5 − 22
〃	上、黒門通下長者町下る吉野町708	立	8／13	盛土のみ。	5 − 121
〃	上、黒門通下長者町下る吉野町681-1	立	10／24	ＧＬ−0.4m 以下時期不明の整地層2。	5 − 189
一条二坊　四町	上、大宮通下立売下る菱屋町809	立	9／12	GL−1.35m以下時期不明の包含層2、−1.5m にて平安の土壙。	5 − 148
一条二坊　八町	上、葭屋町通上長者町上る南俵町	立	9／16	ＧＬ−0.4m にて江戸の包含層。	5 − 149
一条二坊　九町	上、上長者町通堀川東入下る橋本町40	立	5／1	検出できず。	5 − 38
一条二坊十二町	上、下立売通堀川東入東橋詰町174	立	12／9・10	ＧＬ−1.1m 以下室町・江戸の包含層各1。	5 − 229
一条三坊　六町	上、下立売通衣棚東入東立売町206	立	9／27	ＧＬ−1.04m にて江戸の包含層。	6 − 160
一条三坊　七町	上、常泉院町地先	立	10／17・20 21	ＧＬ−0.15m 以下時期不明の路面9、−1.25m にて室町の包含層。	6 − 184
〃	上、室町通下長者町下る近衛町25	立	10／24	ＧＬ−1.0m 以下時期不明の包含層2、整地層1。	6 − 190
一条三坊　八町	上、中長者町通室町西入東長者町地先	立	10／20	ＧＬ−1.4m にて時期不明の包含層。	6 − 185
一条三坊　九町	上、室町通上長者町下る清和院町566, 568	試	6／18	ＧＬ−0.3m 以下平安後期・鎌倉各1、江戸2の包含層、−1.5m にて土壙4、平安後期2、江戸1、時期不明1。発掘調査に切り換える。	6 − 77
〃	上、室町通上長者町下る清和院町558, 559	試	11／26	ＧＬ−0.39m 以下江戸の包含層、−1.2m にて江戸の土壙2。	6 − 221
二条二坊　一町	上、大宮通椹木町下る一町目857	立	6／19	ＧＬ−1.25m にて時期不明の包含層、−1.55m にて時期不明の路面1、推定大宮大路。	5 − 78
〃	上、黒門通丸太町上る藁屋町524	立	7／1・2	ＧＬ−0.48m にて室町の包含層。	5 − 88
〃	上、猪熊通丸太町上る木屋之町490	立	10／4	ＧＬ−0.95m にて平安の包含層。	5 − 168
二条二坊　五町	中、二条通堀川東入矢幡町	立	11／25	ＧＬ−2.65m 以下江戸の流れ堆積。	5 − 218
二条二坊　十町	中、油小路通丸太町下る大文字町43-7	立	7／26	ＧＬ−1.1m にて室町の包含層。	5 − 107
二条二坊十二町	中、東堀川通二条上る矢幡町300-4・5	立	10／14	検出できず。	5 − 178
二条二坊十四町	中、西洞院通竹屋町下る毘沙門町379	立	10／27	ＧＬ−1.06m にて時期不明の包含層。	5 − 195
二条二坊十五町	中、油小路通丸太町下る大文字町50, 50-1	試	6／16	ＧＬ−1.1m にて石敷遺構、土壙3、鎌倉前期2、室町後期1、江戸の井戸1、時期不明の柱穴1、−1.25m にて平安後期〜鎌倉の池跡。高陽院跡の池跡に比定される。	5 − 73
〃	中、小川通丸太町下る中之町55-49	立	8／6	ＧＬ−1.02m にて室町の包含層。	5 − 117
二条三坊　一町	中、丸太町通釜座東入梅屋町174 梅屋小学校	立	4／4	盛土のみ。	6 − 5
二条三坊　二町	中、釜座通丸太町下る桝屋町152	立	11／4・5 7	ＧＬ−0.3m 以下平安後期・鎌倉・時期不明の土壙各1、−0.6m にて時期不明の包含層。	6 − 202
二条三坊　四町	中、西洞院通夷川下る薬師町648	立	4／30	ＧＬ−0.2m 以下江戸・時期不明の包含層各1。	6 − 36
〃	中、二条通西洞院東入正行寺町662	立	6／27	ＧＬ−1.13m にて江戸の包含層。	6 − 83
〃	中、夷川通釜座西入泉町662-1	立	11／8	ＧＬ−0.7m 以下土壙4、平安後期1、室	6 − 209

二条三坊　四町				町1、時期不明2、平安前期・時期不明の柱穴各1。	
二条三坊　五町	中、二条通衣棚東入大恩寺町257	立	9 / 6	検出できず。	6 — 143
〃	中、衣棚通夷川下る竪大恩寺町743	立	10 / 27	ＧＬ—1.74m にて時期不明の包含層。	6 — 194
二条三坊　七町	中、新町通竹屋町下る弁財天町290	立	9 / 5	ＧＬ—0.9m 以下江戸の包含層2。	6 — 142
二条三坊　八町	上、椹木町通衣棚西入今薬屋町324-1	立	10 / 7	ＧＬ—0.6m 以下鎌倉・時期不明の包含層各1。	6 — 169
二条三坊　十町	中、室町通丸太町下る道場町9	立	8 / 19	ＧＬ—0.48m 以下鎌倉・室町・江戸・時期不明の包含層各1。	6 — 128
二条三坊十五町	中、車屋町通丸太町下る砂金町413	立	11 / 25·30	ＧＬ—0.86m にて鎌倉の包含層。—1.09m にて鎌倉の土壙1、時期不明の柱穴1。	6 — 219
二条四坊　二町	中、高倉通竹屋町上る坂本町704	試	6 / 2	ＧＬ—1.48m にて平安後期の整地層。	6 — 55
二条四坊　三町	中、間之町通竹屋町下る楠町601-1 竹間小学校	立	4 / 11	盛土のみ。	6 — 14
〃	中、夷川通高倉西入山中町	立	6 / 9 ·24	ＧＬ—1.26m 以下時期不明の路面3、推定二条大路。	6 — 66
二条四坊　四町	中、高倉通二条上る天守町749-2	立	10 / 3	ＧＬ—0.4m 以下包含層5、平安中期1、桃山1、江戸1、時期不明2。	6 — 166
二条四坊　五町	中、二条通堺町東入観音町85-1	立	6 / 3 ·19	ＧＬ—1.7m 以下室町の土壙2、平安後期・時期不明の包含層各1。	6 — 60
二条四坊　六町	中、高倉通夷川上る福屋町731-2	立	12 / 15	ＧＬ—1.2m にて鎌倉～室町の包含層。	6 — 232
二条四坊十一町	中、夷川通富小路西入俵屋町304	立	7 / 7	ＧＬ—1.62m にて鎌倉・江戸の土壙各1。	6 — 94
〃	中、大炊町354	立	7 / 31	ＧＬ—0.75m にて室町の包含層。	6 — 113
二条四坊十三町	中、寺町通二条上る西側要法寺前町720	立	9 / 8	ＧＬ—1.0m にて鎌倉の包含層。	6 — 146
二条四坊十四町	中、御幸町通夷川上る松本町578	立	6 / 4	ＧＬ—0.9m にて鎌倉の包含層。	6 — 63
三条一坊　二町	中、西ノ京北聖町19	立	4 / 9 ·11	ＧＬ—0.6m 以下時期不明の土壙1、包含層2、平安後期の溝1、推定朱雀大路東側溝。	5 — 12
三条一坊十一町	中、西ノ京池ノ内町19-10	立	4 / 7 ·10 23	ＧＬ—1.37m にて平安前期の落ち込み。	5 — 10
〃	中、御池通神泉苑西入神泉苑町14-4	立	4 / 21	ＧＬ—0.9m 以下江戸の包含層。	5 — 27
〃	中、西ノ京池ノ内町19-9	立	7 / 7	ＧＬ—0.88m にて時期不明の包含層。	5 — 93
〃	中、西ノ京池ノ内町16-9	立	7 / 30	ＧＬ—0.85m 以下包含層3、江戸2、時期不明1。	5 — 104
三条一坊十二町	中、三条通神泉苑西入瓦師町70, 71-1	試	9 / 29· 2	ＧＬ—0.85m にて平安の溝2、推定三条大路北側溝。	5 — 162
三条一坊十四町	中、大宮通御池下る三坊大宮町地先	立	4 / 24	GL—0.8m にて時期不明の池状堆積。	5 — 32
三条一坊十五町	中、大宮通押小路下る市之町地先	立	8 / 13	ＧＬ—0.28m 以下包含層5、室町2、江戸3。	5 — 123
三条二坊　四町	中、三条通猪熊西入御供町295	立	10 / 8	ＧＬ—0.73m にて平安後期の包含層。—0.85m にて時期不明の路面1、推定三条大路。	5 — 172
三条二坊　六町	中、岩上通御池下る上巴町424	立	7 / 18 8 / 13	ＧＬ—1.58m 以下包含層5、鎌倉1、室町1、時期不明3。	5 — 101
三条二坊　十町	中、油小路通押小路下る押油小路町238-1 城巽中学校	立	7 / 11	盛土のみ。	5 — 98
〃	中、押油小路町264	立	9 / 8	ＧＬ—0.2m 以下包含層4、平安後期1、江戸1、時期不明2。	5 — 144
三条二坊十三町	中、三条通西洞院西入塩屋町54, 56	試	5 / 23	ＧＬ—1.5m にて時期不明の土壙4、平安後期の溝1、室町後期の柱穴。	5 — 48
〃	中、西洞院通姉小路下る姉西洞院町521, 522	立	7 / 26	ＧＬ—1.47m 以下室町～江戸の池状堆積。	5 — 105
〃	中、西洞院通姉小路下る姉西洞院町527	立	11 / 20	検出できず。	5 — 216
三条二坊十四町	中、油小路通姉小路上る式阿弥町122	立	5 / 14	検出できず。	5 — 43

三条二坊十四町	中、西洞院通姉小路上る三坊西洞院町563	立	6／17･26	ＧＬ－1.65mにて時期不明の包含層。－2.1mにて室町の西洞院川跡。	5－ 76
三条二坊十六町	中、二条通西洞院西入西大黒町343	立	8／5	検出できず。	5－115
三条三坊 一町	中、押小路通新町西入頭町22-2	立	4／5	ＧＬ－1.4m以下室町の包含層。	6－ 6
〃	中、西洞院通二条下る二条西洞院町632-4他	立	6／16	盛土のみ。	6－ 74
三条三坊 四町	中、三条通釜座西入釜座町11	立	6／27･28	ＧＬ－1.1m以下包含層4、室町1、時期不明3、時期不明の整地層1、桃山の土壙1。多数の溶滓出土。	6－ 84
三条三坊 八町	中、新町通二条下る頭町16-1	立	11／4	検出できず。	6－203
〃	中、衣棚通二条下る上妙覚寺町226	立	12／18	江戸以降の埋土のみ。	6－235
三条三坊十一町	中、室町通御池下る円福寺町338他	試	9／10	ＧＬ－1.2m以下室町後期・江戸の包含層各1、－2.04mにて室町中期の溝。	6－147
三条三坊十二町	中、室町通姉小路下る役行者町372	立	8／18	GL－1.01m以下時期不明の包含層2。	6－125
三条三坊十四町	中、御池通烏丸東入仲保利町地先	立	9／16	ＧＬ－0.25m以下江戸の包含層2。	6－150
三条四坊 一町	中、押小路通高倉西入左京町138	立	5／7	ＧＬ－0.9m以下江戸の包含層3。	6－ 39
〃	中、二条通間之町東入松屋町地先	立	9／2・3	ＧＬ－0.2m以下路面9、江戸1、時期不明8。	6－138
三条四坊 三町	中、間之町通御池下る綿屋町520-1～3,522	立	10／28	ＧＬ－2.19mにて鎌倉の井戸1、時期不明の土壙。	6－197
三条四坊 五町	中、三条通高倉東入桝屋町70	立	11／26	検出できず。	6－222
三条四坊十四町	中、寺町通姉小路上る下本能寺前町518	立	6／5・6	ＧＬ－0.6mにて江戸の包含層。	6－ 64
三条四坊十五町	中、御幸町通御池上る亀屋町378	立	7／12･14	ＧＬ－2.1mにて平安後期の包含層を切って土壙4、平安後期2、江戸1、時期不明1。	6－100
〃	中、寺町通押小路下る上本能寺前町474	立	8／5	ＧＬ－0.7mにて室町の包含層。	6－116
〃	中、御幸町通御池上る亀屋町381	立	11／1	ＧＬ－0.3m以下江戸末期の包含層。	6－201
三条四坊十六町	中、寺町通二条下る西側妙満寺前町446	立	10／24	ＧＬ－1.3mにて平安後期の土壙1、－1.3m以下平安前期・時期不明の包含層各2、路面3、平安前期1、時期不明2。推定二条大路延長線に位置する。	6－191
四条一坊 四町	中、壬生御所ノ内町29-5	立	9／27	ＧＬ－0.88mにて室町の包含層、－1.0mにて鎌倉の包含層。	6－161
四条一坊 七町	中、壬生馬場町28	立	4／17	盛土のみ。	9－ 18
〃	中、壬生馬場町28	立	12／4	ＧＬ－0.79mにて時期不明の土壙。	9－227
四条一坊 十町	中、蛸薬師通大宮西入因幡町112-7	試	4／25	ＧＬ－0.66mにて室町の包含層。－0.9mにて池の肩部。	9－ 33
四条一坊十四町	中、壬生坊城町60-2, 62	立	10／29	ＧＬ－0.6mにて室町の土壙。	9－200
四条二坊 一町	中、猪熊通六角上る三条猪熊町641	立	6／3・5	ＧＬ－0.95mにて平安後期の包含層。	9－ 59
四条二坊 三町	中、黒門通蛸薬師下る下黒門町439,445-1	試	5／28	ＧＬ－1.0mにて土壙5、室町後期1、江戸前期4。室町末期～江戸の溝。	9－ 51
〃	中、猪熊通錦小路上る下瓦町582	立	8／19	ＧＬ－0.17m以下平安後期～鎌倉・時期不明の土壙各1。	9－126
〃	中、黒門通蛸薬師下る下黒門町438	立	10／24	ＧＬ－0.1m以下後期不明の包含層2。	9－192
四条二坊 五町	中、東堀川通四条上る錦堀川町640, 649	立	6／5	ＧＬ－0.06m以下包含層3、平安後期～鎌倉1、時期不明2。	9－ 37
四条二坊十二町	中、醒ケ井通四条上る藤西町601	立	8／25	ＧＬ－0.75m以下江戸の包含層2。	9－131
四条三坊 三町	中、新町通錦小路上る百足屋町372-1	立	6／16	ＧＬ－0.35m以下時期不明の包含層2。	10－ 75
〃	中、錦小路通新町西入西錦小路町253	立	10／9	ＧＬ－1.0mにて平安中期の包含層1、土壙6、室町2、江戸2、時期不明2。	10－173
四条三坊 五町	中、観音堂町地先	立	9／13	撹乱のみ。	10－141
四条三坊 七町	中、六角通室町西入玉蔵町130, 130-2	立	6／2	ＧＬ－0.4m以下室町・江戸の包含層各1。	10－ 58
〃	中、室町通六角下る鯉山町529	立	9／1	ＧＬ－0.6mにて江戸の包含層。－1.7mにて時期不明の整地層。	10－137
四条三坊十五町	中、六角通烏丸東入堂之前町245	立	4／23	試掘調査済（60年度ＨＬ-327)。	10－ 29

四条三坊十五町	中、六角通烏丸東入堂之前町255	立	11／20·26	ＧＬ－1.2mにて土壙3、室町1、江戸2、－1.95mにて平安末期～鎌倉の土壙。	10－ 217
四条三坊十六町	中、東洞院通三条下る三文字町205	試	5／30	ＧＬ－1.8mにて土壙11、平安後期1、室町9、江戸1、柱穴4、平安後期3、室町1。	10－ 54
四条四坊　三町	中、錦小路通東洞院東入西魚屋町597	立	8／26, 9／1	ＧＬ－0.15m以下時期不明の整地層4、－0.6mにて室町の土壙2、－0.6m以下包含層5、平安後期1、室町1、江戸3。	10－ 134
〃	中、東洞院通蛸薬師下る元竹田町630	立	10／14	検出できず。	10－ 179
〃	中、錦小路通高倉西入西魚屋町592	立	11／8	ＧＬ－0.57m以下江戸の包含層7、－1.5m以下室町の包含層2。	10－ 210
四条四坊　五町	中、高倉通錦小路下る帯屋町574	立	4／17	ＧＬ－1.3m以下室町の包含層。	10－ 19
〃	中、堺町通四条上る八百屋町541	立	4／21·23	盛土のみ。	10－ 25
四条四坊　六町	中、堺町通蛸薬師下る菊屋町530	立	4／18	ＧＬ－1.4m以下包含層3、室町1、時期不明2。	10－ 21
四条四坊　八町	中、高倉通三条下る丸屋町159-2	立	4／9	ＧＬ－0.95m以下江戸の包含層2。	10－ 13
〃	中、堺町通三条下る道祐町140	立	7／30	ＧＬ－0.06m以下包含層5、鎌倉～室町3、室町後期1、江戸1。	10－ 110
〃	中、六角通高倉東入堀之上町116	立	10／27	巡回時工事終了。	10－ 196
四条四坊　十町	中、柳馬場通六角下る井筒屋町427-1	立	8／19	ＧＬ－0.62m以下包含層4、鎌倉～室町1、江戸1、時期不明2。	10－ 127
〃	中、蛸薬師通富小路東入油屋町145	立	8／27	ＧＬ－0.95m以下土壙5、鎌倉1、江戸1、時期不明3。	10－ 135
四条四坊十一町	中、富小路通錦小路上る高宮町593	立	10／17·18	ＧＬ－1.67m以下鎌倉・時期不明の包含層各1、－1.8mにて平安後期・鎌倉・室町・時期不明の土壙各1。	10－ 183
四条四坊十三町	中、麩屋町通四条上る桝屋町516	立	8／13	巡回時工事終了。	10－ 122
四条四坊十四町	中、御幸町通蛸薬師下る船屋町385,387-2	立	11／19	ＧＬ－1.45mにて江戸の土壙1、－2.0mにて平安末期の包含層。	10－ 215
五条一坊　二町	中、壬生椰ノ宮町31	立	7／28	ＧＬ－0.8m以下江戸・時期不明の包含層各1。	9－ 108
五条一坊　三町	中、壬生辻町12-5他	試	4／14	ＧＬ－1.02mにて室町中期・江戸・時期不明の土壙各1、室町中期の溝1、時期不明の柱穴3。	9　－17
五条一坊　五町	中、壬生相合町地先	立	11／4・5	ＧＬ－1.18mにて平安末期の包含層。	9－ 204
五条一坊　八町	中、壬生賀陽御所町地先	立	10／14, 11／1	ＧＬ－1.05mにて鎌倉の包含層。	9－ 180
五条一坊十一町	中、壬生相合町地先	立	5／30	ＧＬ－0.9mにて江戸の包含層。	9－ 57
五条一坊十二町	中、壬生相合町33-1・3	立	7／12	ＧＬ－0.8mにて江戸の包含層。	9－ 99
五条二坊　三町	下、仏光寺通黒門東入西田町618	立	5／22·23	ＧＬ－1.03mにて平安末期～室町の土壙2。	9－ 47
五条二坊　四町	下、松原通堀川西入北側来迎堂町711	立	7／9	ＧＬ－0.87m以下江戸の流れ堆積。	9－ 97
五条二坊　七町	下、西堀川通綾小路下る綾堀川町314	立	4／2	検出できず。	9－ 2
五条二坊　八町	下、西堀川通四条下る四条堀川町261	立	6／14	ＧＬ－0.58mにて室町の包含層。	9－ 72
五条二坊十一町	下、油小路通仏光寺下る太子山町600	立	4／5	ＧＬ－1.18m以下室町・時期不明の包含層各1、－1.63mにて平安後期・時期不明の土壙各1。	9－ 7
〃	下、東堀川通仏光寺下る吉水町333	立	5／28	ＧＬ－0.55mにて土壙20、平安12、鎌倉1、室町3、時期不明4。	9－ 52
五条二坊十二町	下、油小路通高辻下る麓町644他	立	12／10·11	ＧＬ－0.9mにて平安後期の土壙。	9－ 230
五条二坊十四町	下、仏光寺通東中筋西入木賊山町173-5	立	5／10·12	盛土のみ。	9－ 41
〃	下、西洞院通仏光寺下る本柳水町776,779	立	10／24, 11／12	検出できず。	9－ 193
五条二坊十五町	下、西洞院通綾小路下る綾西洞院町757	立	8／22	盛土のみ。	9－ 129
五条三坊　一町	下、四条通釜座東入郭巨山町18他	立	7／24	GL－1.35mにて鎌倉～室町の土壙5。	10－ 103

五条三坊　四町	下､新町通高辻下る御影町448	立	9／29	ＧＬ－1.38m 以下鎌倉・桃山の土壙各1、平安後期の包含層。	10－ 163
五条三坊　六町	下､新町通仏光寺下る岩戸山町434-2	立	9／24	ＧＬ－0.53m 以下桃山・時期不明の包含層各1。	10－ 157
五条三坊　八町	下､綾小路通室町西入善長寺町140，145	試	8／8	ＧＬ－0.4m 以下包含層5、平安～鎌倉2、室町2、江戸後期1。	10－ 120
五条三坊十一町	下､薬師前町地先	立	12／20	巡回時工事終了。	10－ 236
五条三坊十五町	下､木屋町通仏光寺上る天王町地先	立	4／21	盛土のみ。	10－ 26
五条四坊　五町	下､高倉通高辻下る葛籠屋町514	立	8／6	ＧＬ－0.65m 以下時期不明の整地層7、－1.6m にて平安後期の包含層。	10－ 118
五条四坊　七町	下､柳馬場通綾小路下る西入永原町153-8	立	10／9	検出できず。	10－ 175
五条四坊十三町	下､麩屋町通高辻下る鍵屋町地先	立	5／7	ＧＬ－0.25m 以下時期不明の路面4。	10－ 40
五条四坊十四町	下､寺町通仏光寺下る恵美須之町551	立	6／20	ＧＬ－1.09m 以下時期不明の路面4、推定東京極大路。	10－ 79
五条四坊十五町	下､御幸町通綾小路下る丸屋町412	立	4／12	検出できず。	10－ 16
五条四坊十六町	下､寺町通四条下る貞安前之町591，592	立	6／10	ＧＬ－0.75m にて江戸・時期不明の包含層各1。	10－ 68
〃	下､麩屋町通四条下る八文字町355	立	9／26	ＧＬ－1.58m 以下時期不明の整地層3、平安後期・室町・時期不明の包含層各1。	10－ 158
六条一坊　二町	下､中堂寺坊城町44-1･2･9･10	試	8／1	ＧＬ－1.14m にて平安中期の溝、推定朱雀大路東側溝。	9－ 114
六条一坊　三町	下､中堂寺坊城町地先	立	10／7･8 18･21･29	ＧＬ－0.55m にて室町の土壙1。	9－ 170
六条一坊　九町	下､中堂寺西寺町地先	立	10／16	検出できず。	9－ 188
〃	下､中堂寺西寺町地先	立	11／15, 12／2･9	ＧＬ－0.6m にて時期不明の土壙2。	9－ 213
六条一坊　十町	下､中堂寺櫛笥町14-1	立	9／24･27	ＧＬ－0.2m 以下室町・江戸の包含層各1。	9－ 156
〃	下､中堂寺櫛笥町18-2･10	立	10／29, 11／1･13	ＧＬ－0.5m にて時期不明の土壙2。	9－ 198
六条一坊十三町	下､中堂寺藪ノ内町24	立	5／21	ＧＬ－0.6m 以下室町・時期不明の包含層各1。	9－ 46
六条二坊　四町	下､黒門通五条下る柿本町595-166	立	4／3	ＧＬ－0.3m にて平安後期・時期不明の包含層各1、－0.45m にて弥生の包含層。	9－ 4
六条二坊　六町	下､五条通堀川西入柿本町659地先	立	7／30	ＧＬ－0.35m にて室町の包含層、－0.65m にて室町の土壙。	9－ 111
六条二坊　九町	下､醒ケ井通万寿寺上る篠屋町76	立	7／1	ＧＬ－0.85m にて室町の包含層。	9－ 89
〃	下､松原通醒ケ井東入橘町42，43，44	立	7／18･23 25	ＧＬ－1.1m にて土壙4、鎌倉1、室町3。	9－ 102
六条二坊十二町	下､堀川通六条上る佐女牛井町172	立	7／1	ＧＬ－0.24m 以下時期不明の包含層2、整地層。	9－ 90
六条二坊十三町	下､東中筋通六条上る天使突抜四丁目473	立	4／21	ＧＬ－0.8m 以下江戸の包含層2、－1.2m にて時期不明の土壙。	9－ 20
〃	下､東中筋通六条上る天使突抜四丁目463	立	6／27	ＧＬ－0.55m にて平安末期の包含層。	9－ 85
六条二坊十四町	下､油小路通五条下る中金仏町216	立	7／7	ＧＬ－0.65m にて江戸の包含層。	9－ 95
六条二坊十六町	下､松原通油小路東入樋口町32	立	4／2･8	ＧＬ－0.76m 以下室町以降の路面2、室町・時期不明の包含層各1。	9－ 1
六条三坊　二町	下､西洞院通五条上る八幡町531	立	10／15	ＧＬ－0.9m以下時期不明の流れ堆積。	－ 181
〃	下､万寿寺通新町東入材木町128-1	立	11／15	ＧＬ－0.78m 以下包含層5、平安後期1、時期不明4、－1.53m にて平安後期の整地層。	10－ 214
六条三坊　七町	下､室町と新町の間の通五条上る小田原町228	立	5／28	盛土のみ。	10－ 49
六条三坊　十町	下､五条通室町東入醍醐町290	立	10／13	GL－1.15m 以下時期不明の包含層2。	10－ 177

六条三坊　十町	下、万寿寺通烏丸西入御供石町356-1, 358-1	立	11 / 10·28	ＧＬ－2.35m にて土壙4、平安後期2、室町1、時期不明1、室町の井戸。	10－ 211
六条三坊十五町	下、東洞院通五条上る深草町568, 570	立	11 / 4・6	ＧＬ－0.98m 以下包含層4、平安1、江戸2、時期不明1、－1.4m にて時期不明の土壙。	10－ 205
六条四坊　一町	下、万寿寺通間ノ町西入万寿寺中之町64, 66	立	10 / 9	検出できず。	10－ 174
六条四坊　二町	下、五条通間ノ町西入万寿寺町126, 122, 122-1	試	12 / 1	ＧＬ－0.3m 以下包含層6、室町3、江戸3、－1.42m にて平安中期の整地層。	10－ 225
六条四坊　三町	下、間之町通五条下る大津町8	立	9 / 24	ＧＬ－0.82m にて時期不明の包含層。	10－ 155
六条四坊　七町	下、堺町通五条上る俵屋町214, 215	立	10 / 29	ＧＬ－1.05m にて江戸・時期不明の土壙各1。	10－ 199
六条四坊　八町	下、高倉通松原下る樋之下町34	立	8 / 28	ＧＬ－0.6m にて江戸の包含層。	10－ 136
六条四坊　九町	下、富小路通万寿寺上る本上神明町454, 455	立	4 / 25·26	ＧＬ－0.3m にて江戸の井戸、－1.08 m にて室町の包含層。	10－ 34
〃	下、富小路通万寿寺上る本上神明町462, 462-1	立	8 / 26·28	ＧＬ－1.08m にて室町の包含層。	10－ 133
六条四坊　十町	下、柳馬場通五条上る柏屋町345	立	5 / 28	ＧＬ－0.8m 以下時期不明の包含層。	10－ 53
六条四坊十一町	下、富小路通五条下る本塩竈町558	立	4 / 7	盛土のみ。	10－ 11
六条四坊十二町	下、西木屋町通五条下る平居町64	立	10 / 21	検出できず。	10－ 187
〃	下、六条通河原町西入本塩竈町565	立	11 / 25	ＧＬ－0.6m 以下土壙4、平安末期1、鎌倉1、時期不明2。	10－ 220
六条四坊十三町	下、木屋町通五条下る都市町141, 141-3	立	9 / 8	ＧＬ－0.8m 以下江戸の流れ堆積。	10－ 145
七条一坊　三町	下、朱雀正会町43-1	立	11 / 27	検出できず。	9 － 224
七条一坊　五町	下、夷馬場町35-14	立	12 / 2	ＧＬ－0.59m にて室町の包含層、－0.72m にて時期不明の土壙。	9 － 226
七条一坊　九町	下、小坂町22	立	12 / 16	検出できず。	9 － 233
七条二坊　一町	下、堀川通五条下る柿本町609-1 淳風小学校	立	8 / 6	検出できず。	9 － 119
七条二坊十四町	下、西洞院通北小路上る鍛冶屋町438-1·2	立	9 / 22	ＧＬ－0.9mにて室町·江戸の土壙各1。	9 － 153
〃	下、東中筋通正面下る紅葉町362	立	12 / 8	検出できず。	9 － 228
七条三坊　一町	下、新花屋町通若宮西入若宮町560	立	11 / 13	ＧＬ－0.95m にて時期不明の土壙。	10－ 212
七条三坊　三町	下、西洞院通北小路上る鍛冶屋町450	立	5 / 30	盛土のみ。	10－ 56
七条三坊　八町	下、高倉通七条上る皆山町239	立	10 / 15	ＧＬ－1.02m 以下時期不明の包含層。	10－ 182
七条三坊　九町	下、烏丸通六条下る北町	試	9 / 5	ＧＬ－0.5m 以下江戸の包含層5、－1.85m 以下平安後期～室町中期の池状堆積。	10－ 140
七条三坊十三町	下、東洞院通七条上る飴屋町259-2	立	10 / 3	ＧＬ－0.55m 以下包含層3、室町1、時期不明2。	10－ 167
七条三坊十五町	下、上珠数屋町通東洞院西入上珠数屋町328	立	5 / 8	ＧＬ－1.2m にて江戸の土壙。	10－ 23
〃	下、不明門通花屋町下る高槻町346	立	10 / 9	ＧＬ－0.73m 以下包含層4、鎌倉1、江戸1、時期不明2、－1.92m 以下時期不明の流れ堆積。	10－ 176
七条三坊十六町	下、東洞院通六条下る橋詰町143	立	6 / 25	GL－0.44m以下時期不明の整地層3。	10－ 71
七条四坊　二町	下、上珠数屋町通東洞院東入花屋町388他4筆	立	5 / 27	ＧＬ－1.35m にて江戸の包含層。	10－ 50
七条四坊　五町	下、七条通河原町西入材木町478	立	7 / 31	ＧＬ－0.52m 以下時期不明の流れ堆積。	10－ 112
七条四坊　十町	下、河原町通正面下る万屋町326-3	立	4 / 21	GL－1.1m以下時期不明の流れ堆積。	10－ 24
〃	下、土手町通上ノ口下る大工町地先	立	6 / 26, 7 / 2・4	ＧＬ－0.2m にて時期不明の花崗岩を用いた南北溝。	10－ 81
七条四坊十三町	下、二ノ宮町通七条上る下二之宮町445, 447-5	立	7 / 29	ＧＬ－0.35m 以下時期不明の氾濫堆積。	10－ 109
七条四坊十四町	下、正面通三ノ宮町東入山王町341	立	9 / 26	ＧＬ－0.35m 以下室町・江戸の包含層各1。	10－ 159
八条一坊　八町	下、観喜寺町3 大内小学校	立	7 / 4・5 7	ＧＬ－0.8m にて鎌倉～室町以降の包含層、－0.95m にて平安前期の整地層。	11－ 92
八条二坊　一町	下、七条通大宮東入大工町118, 129-1	立	12 / 10	№.1　ＧＬ－0.65m 以下包含層4、平	11－ 231

				安前期1、鎌倉2、時期不明1、土壙9、平安後期1、鎌倉1、室町1、江戸1、時期不明5、平安後期の柱穴1。№.2　ＧＬ－1.62m にて平安末期～鎌倉の木枠の井戸1、最下層部に曲物。	
八条二坊　三町	下、猪熊通塩小路下る上夷町158	立	6／6	ＧＬ－0.5m 以下時期不明の路面4、推定猪熊小路。	11－　65
八条二坊　五町	南、西九条戒光寺町6	立	5／16	ＧＬ－0.92m にて時期不明の土壙1。－1.12m 以下時期不明の流れ堆積。	11－　45
八条二坊　八町	下、七条通猪熊東入西八百屋町163	立	4／2・5	ＧＬ－0.25m にて江戸の井戸。	11－　3
八条二坊　九町	下、堀川通七条下る土橋町198-4	立	9／29	検出できず。	11－164
八条二坊　十町	下、木津屋橋通堀川東入北不動堂町483, 486	立	7／2	盛土のみ。	11－　91
八条二坊十一町	下、油小路通塩小路下る西側西油小路町23	試	8／25, 9／8	ＧＬ－0.45m 以下平安後期・室町後期の包含層各1、－0.95m にて土壙9、鎌倉8、江戸1、－1.0m にて平安前期の土壙1。	11－130
八条二坊十二町	南、西九条寺ノ前町7	立	4／5	盛土のみ。	11－　8
八条二坊十五町	下、木津屋橋通西洞院西入南町568-7	立	6／3	ＧＬ－0.25m 以下時期不明の路面7、推定塩小路。	11－　61
八条二坊十六町	下、木津屋橋通西洞院西入南町507-1・2	立	4／12	ＧＬ－0.7m にて平安前期～室町の包含層。	11－　15
〃	下、下魚ノ棚通西洞院西入東町581	立	10／20	ＧＬ－1.02m 以下江戸・時期不明の包含層各1。	11－186
八条三坊　一町	下、西洞院通七条下る東塩小路町607-15	立	10／7	巡回時工事終了。	12－171
八条三坊　八町	下、七条通新町東入夷之町727	立	5／16	ＧＬ－1.37m にて鎌倉後期の落ち込み1、－1.57m 以下平安後期・時期不明の包含層各1。	12－　44
八条三坊十五町	下、東洞院通塩小路上る東塩小路町541-1	立	4／28	ＧＬ－1.1m 以下包含層3、平安後期1、時期不明2、－1.75m にて平安末期の井戸。	12－　35
八条四坊　一町	下、東洞院通七条下る塩小路町536-5	立	7／8	ＧＬ－1.1m 以下時期不明の路面2、推定東洞院大路、－1.36m にて平安末期～鎌倉の落ち込み。	12－　96
〃	下、東洞院通七条下る塩小路町520	立	9／4・5	GL－0.63m以下包含層4、弥生1、時期不明3。	12－139
八条四坊　十町	下、上之町地内	立	7／25	検出できず。	12－106
八条四坊十一町	下、上之町15地先	立	12／16	GL－1.45m以下時期不明の包含層5。	12－234
九条一坊　五町	南、八条内田町2-7・10	立	4／23	検出できず。	11－　30
九条一坊　九町	南、八条町551	立	6／10	ＧＬ－0.39m にて室町前期の包含層。	11－　69
九条二坊　四町	南、西九条南小路町1　九条中学校	立	11／6	検出できず。	11－208
九条二坊　六町	南、西九条唐橋町70	立	9／18	ＧＬ－0.85m にて鎌倉の土壙。	11－152
九条二坊　七町	南、西九条針小路町2	立	9／24	ＧＬ－0.2m にて平安後期の土壙。	11－154
九条二坊　八町	南、西九条藤ノ木町地先	立	6／25・27 7／7	ＧＬ－0.6m 以下時期不明の包含層2。	11－　80
九条二坊　十町	南、唐橋高田町94-3・4	立	6／26・27	ＧＬ－0.48m 以下弥生～平安末期の土器を含む流れ堆積。	11－　82
九条三坊　四町	南、東九条下殿田町2	立	11／5・11	ＧＬ－0.65m 以下包含層4、室町1、時期不明3。	12－207
九条三坊　五町	南、東九条下殿田町56　陶化中学校	試	11／4	ＧＬ－1.18m 以下弥生の土器を含む流れ堆積。	12－206
〃	南、東九条下殿田町50	立	11／27	ＧＬ－0.55m 以下室町・時期不明の包含層各1、－1.07m 以下時期不明の流れ堆積。	12－223
九条三坊　七町	南、東九条室町1-10	立	6／27	ＧＬ－0.65m 以下江戸の包含層、－1.45m にて江戸の池。	12－　86

九条四坊　二町	南、東九条東山王町27 山王小学校	立	6／28, 7／1	ＧＬ－0.9m以下室町の包含層2。	12－　87
九条四坊　六町	南、東九条南山王町43	立	6／4	ＧＬ－0.29mにて室町の包含層、－0.49mにて土壙3、鎌倉2、時期不明1。	12－　62

太秦地区（ＵＺ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
遺跡外	右、太秦京ノ道町20-5 常盤野小学校	立	12／8	盛土のみ。	
常盤東ノ町遺跡	右、常盤西町13-14	立	7／3	ＧＬ－0.24mにて時期不明の包含層。	
遍照寺古墳	右、嵯峨広沢北下馬野町5-3	立	7／23	盛土のみ。	
巽古墳	右、山越巽町11-1他	試	7／17～20	石室の一部残存、床面は10～15cmの石敷、鉄鏃・金具(馬具の一部)・刀子、須恵器の杯身・蓋・子持ち器台、石棺(凝灰岩)の一部等出土。本文5ページ。	
常盤東ノ町古墳群	右、常盤村ノ内町8-20	試	11／21	ＧＬ－1.0mにて弥生の土壙、－1.56mにて弥生中期の溝。	
常盤仲之町遺跡	右、常盤窪町2-50	立	6／3	ＧＬ－0.28mにて室町の包含層、－0.58mにて土壙5、室町3、時期不明2。	
〃	右、太秦東蜂岡町17-1・3	立	11／4・25	ＧＬ－0.3mにて平安後期の溝。	
蛇塚古墳	右、太秦面影町20-13・19他	立	9／24	検出できず。	
広隆寺旧境内(蜂岡寺跡)	右、太秦東蜂岡町10	立	12／24	ＧＬ－0.48mにて室町の包含層、－0.68mにて時期不明の土壙2。	
一ノ井遺跡	右、太秦一ノ井町16-3	立	5／13	ＧＬ－0.62mにて平安後期の土壙。	
門田町遺跡	右、太秦門田町3-12	立	8／13	盛土のみ。	
円乗寺跡	右、御室竪町19 御室小学校	立	4／12	ＧＬ－0.56mにて平安後期の土壙。	
〃	右、御室竪町地先	立	7／8	検出できず。	
円教寺跡	右、常盤古御所町5-1	試	4／11	ＧＬ－0.4mにて平安の包含層。	
〃	右、龍安寺西ノ川町地先	立	5／19	検出できず。	
仁和寺院家跡	右、常盤御池町14-6	立	11／13	GL－0.37m以下時期不明の整地層4、－0.8m以下平安後期の包含層2。	
法金剛院境内遺跡	右、花園扇野町12	試	9／30	ＧＬ－0.55mにて平安後期～江戸の池、護岸用の杭列、竹で上下四段交互に押さえたしがらみを巡らす。	
史跡・名勝嵐山	右、嵯峨天龍寺造路町30-20, 22	試	4／2	GL－1.05mにて室町後期の包含層3。	
森ケ東瓦窯跡	右、太秦和泉式部町地先	立	11／17・18	№1　ＧＬ－0.93mにてロストル式平窯1基、焼成部ロストル5本確認。№4　灰原検出。本文10ページ。	
音戸山古墓	右、鳴滝音戸山町4-38	立	6／27	ＧＬ－0.2mにて石蓋をされている壺(蔵骨器)を発見。火葬人骨の細骨含む。	

洛北地区（ＲＨ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
出雲寺跡	上、烏丸通鞍馬口下る東入上御霊竪町447-7	立	6／19	ＧＬ－0.12m以下時期不明の包含層。	
相国寺旧境内	上、相国寺門前町670	立	5／17	検出できず。	
〃	上、相国寺門前町647-8	立	5／21・22	ＧＬ－0.3mにて室町の土壙。	
〃	上、相国寺門前町637	立	6／24	ＧＬ－0.6m以下時期不明の包含層2。	
〃	上、今出川通烏丸東入上る相国寺門前町636	立	7／17	ＧＬ－0.33m以下平安末期・鎌倉前期・後期の包含層各1。	
〃	上、室町通上御霊前下る上柳原町134	立	9／30	ＧＬ－0.37m以下包含層5、室町1、桃山1、時期不明3、－0.7mにて室町・時期不明の土壙各1。	

相国寺旧境内	上、室町通上御霊前下る上柳原町139	立	10／14	GL－0.2m 以下時期不明の土壙3、－0.7m にて時期不明の包含層。	
室町殿跡	上、室町通今出川上る築山南半町237	立	8／26	GL－0.15m 以下江戸の包含層。	
〃	上、烏丸通今出川上る御所八幡町110-5	試	9／16	1T　GL－1.25m にて室町～江戸の石組遺構。2T　GL－0.55m にて石組遺構。発掘調査に切り換える。本文24ページ。	
〃	上、今出川通新町東入堀出シ町307-1・2・7	立	9／19・20	GL－0.84m 以下室町・時期不明の包含層各1。	
聚楽第跡	上、黒門通一条上る弾正町	立	4／3	盛土のみ。	
〃	上、笹屋町通大宮西入桝屋町579	立	4／22	GL－1.0m にて江戸の包含層、－1.35m にて時期不明の土壙2。	
〃	上、元誓願寺通堀川西入南門前町438	立	6／19・20	GL－0.1m 以下江戸の包含層。	
〃	上、元誓願寺通黒門東入寺今町499	立	7／7	GL－0.75m にて時期不明の整地層。	
〃	上、黒門通元誓願寺下る毘沙門町	立	8／2	GL－0.4m 以下鎌倉～江戸の包含層3。	
〃	上、元誓願寺通堀川西入南門前町434	立	11／27・28	GL－0.1m 以下時期不明の包含層2、土壙4、鎌倉1、室町1、時期不明2、時期不明の柱穴1。	
一条室町殿	上、武者小路通室町西入武者小路町429	立	6／2	検出できず。	
岩倉花園町瓦窯跡	左、岩倉花園町地先	立	12／11	GL－0.47m にて時期不明の土壙。	
栗栖野瓦窯跡	左、岩倉幡枝町903地先	立	6／25・26	検出できず。	
岩倉忠在地遺跡	左、岩倉忠在地町291-1	立	6／13	盛土のみ。	
岩倉具視幽棲旧宅隣接地	左、岩倉下在地町地先	立	4／2～12	GL－0.3m にて江戸の包含層、旧河川の石垣。	
北野遺跡	北、北野西白梅町地先	立	12／19	検出できず。	
植物園北遺跡	北、上賀茂桜井町701-1	立	5／12・13	GL－0.75m にて時期不明の包含層。	
〃	北、上賀茂岡本口町65-2・3	立	7／28	盛土のみ。	
〃	北、上賀茂藪田町8	立	8／25・26 30	GL－0.42m にて古墳前期の竪穴住居址。	
〃	北、上賀茂桜井町101, 104	試	10／8	GL－0.93m にて時期不明の包含層。	
〃	左、下鴨半木町地先	立	10／8	盛土のみ。	
〃	北、上賀茂桜井町地先	立	11/20～22	検出できず。	
〃	左、下鴨前萩町地先	立	12／13・15	GL－0.63m 以下時期不明の包含層。	
衣笠氷室町遺跡	北、衣笠氷室町地先	立	4／17, 8／19	検出できず。	
〃	北、衣笠氷室町地先	立	12／1	攪乱のみ。	
北野廃寺	北、北野紅梅町49	試	4／21	1T　GL－0.28m にて室町の包含層。－0.46m にて室町の柱跡1、平安の土壙2、落ち込み1。2T　GL－0.3m 以下平安・室町の包含層各1、室町の整地層1、平安前期の土壙1、柱跡1、室町の土壙4、東西溝1。発掘調査に切り換える。	
〃	北、北野下白梅町39	試	5／26	1T　GL－0.6m にて奈良期の溝1、室町の柱穴5。2T　全面焼土及び焼瓦、窯体の一部検出。3T　GL－0.9m にて平安の石敷遺構。発掘調査に切り換える。	
〃	北、北野紅梅町62	立	6／10	盛土のみ。	
〃	北、北野紅梅町88	試	12／15	1T　GL－0.76m 以下平安前期・室町の包含層各1、－1.2m にて古墳期の竪穴住居址。溝1。2T　GL－0.98m にて平安前期の土壙1。	
角社瓦窯跡	北、西賀茂神光院町40	立	4／2	盛土のみ。	

神宮寺跡	北、上賀茂山本町29-1,30	立	5／31	ＧＬ－0.28m にて室町の包含層。	
西北町遺跡	北、紫竹西北町地先	立	12／4	ＧＬ－0.25m にて江戸の包含層。	

北白川地区（ＫＳ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
京都大学北部構内遺跡	左、北白川西町80-6	立	9／25	検出できず。	
〃	左、北白川追分町38-6	立	9／29	検出できず。	
小倉町・別当町遺跡	左、北白川上別当町3-1	立	4／3	検出できず。2/26に試掘済、60年度ＫＳ36。	13－ 3
〃	左、北白川下別当町地先	立	4／5・7	ＧＬ－0.21m 以下包含層4、奈良1、時期不明3。	13－ 4
〃	左、北白川別当町70 北白川小学校	立	8／11	ＧＬ－0.65m にて縄文の包含層。	13－ 23
京都大学教養部構内遺跡	左、吉田上大路町28,28-1	立	12／15	検出できず。	
北白川上池田町古墳群	左、北白川下池田町地先	立	8／2	検出できず。	13－ 21
北白川廃寺	左、北白川上別当町18	試	6／4・5	ＧＬ－0.4m 以下平安前期の東西溝4、土壙1、溝は推定北白川廃寺南辺。本文8ページ。	13－ 13
〃	左、北白川堂ノ前町33	試	7／2	1Ｔ　ＧＬ－0.45m にて平安中期の土壙1。2Ｔ　ＧＬ－0.5m にて整地層、－0.6m 以下時期不明の流れ堆積。	13－ 18
白河北殿跡	左、東竹屋町60	立	4／24・25	ＧＬ－0.33m 以下包含層4、江戸1、時期不明3。	13－ 8
〃	左、東竹屋町60	立	5／1	ＧＬ－0.26m にて江戸の包含層。	13－ 10
〃	左、聖護院川原町11-8	立	7／23・24	ＧＬ－0.75m 以下時期不明の流れ堆積。	13－ 20
〃	左、東竹屋町60	立	8／6	ＧＬ－0.55m にて江戸の包含層。	13－ 22
白河南殿跡	左、杉本町269-3	立	4／2	ＧＬ－0.9m にて時期不明の包含層。	13－ 2
得長寿院跡	左、岡崎徳成町12-4	立	6／19	ＧＬ－0.85m にて時期不明の土壙3。	13－ 16
尊勝寺跡	左、岡崎西天王町地先	立	10／16	盛土のみ。	13－ 28
〃	左、岡崎天王町98	立	11／28	ＧＬ－0.7m にて時期不明の版築状土層。	13－ 29
法勝寺跡	左、岡崎法勝寺町90-8・9	立	5／16	盛土のみ。	13－ 11
〃	左、岡崎天王町61-12	立	8／21	検出できず。	13－ 24
延勝寺跡	左、北門前町478	立	6／13	ＧＬ－0.5m にて室町の土壙。	13－ 15
白河街区	左、聖護院山王町28-29	立	4／12・16	ＧＬ－0.95m 以下包含層3、平安後期1、時期不明2、時期不明の土壙。	13－ 6
〃	左、岡崎徳成町27	立	4／16	ＧＬ－1.08m 以下時期不明の包含層。土壙各1。	13－ 7
〃	左、岡崎円勝寺町23-4	立	4／25	ＧＬ－1.55m にて江戸の包含層。	13－ 9
〃	左、岡崎徳成町29	立	6／5	ＧＬ－0.25m 包含層3、江戸1、時期不明2。	13－ 14
〃	左、東丸太町1-1	試	6／25,7／14	ＧＬ－1.03m 以下江戸の氾濫堆積。	13－ 17
〃	左、北門前町489-3	試	7／10	ＧＬ－0.5m にて平安後期の土壙1、－0.8m 以下時期不明の流れ堆積。	13－ 19
〃	左、聖護院東町20	立	9／22	ＧＬ－0.1m にて時期不明の土壙。	13－ 25
白河街区隣接地	左、新先斗町125-2	立	5／24	ＧＬ－0.58m 以下江戸・時期不明の包含層各1。	13－ 12
禅林寺境内	左、若王子町33	立	4／1・5	盛土のみ。	
吉田神社旧境内	左、吉田上大路町地先	立	4／18	ＧＬ－0.9m にて時期不明の土壙。	

洛東地区（ＲＴ）

遺　跡　名	所　　　在　　　地	試・立	調査日	概　　　要	
法　興　院　跡	中、新椹木町通竹屋町上る西革堂町185-1	立	7／11	ＧＬ−0.75m以下江戸・時期不明の包含層各1。	
正　覚　寺　跡	伏、深草願成町3	立	4／26	ＧＬ−0.85m以下江戸の整地層、時期不明の包含層。	
中　臣　遺　跡	山、東野森野町23-15	立	4／4	盛土のみ。	13−　1
〃	山、椥辻番所ケ口町36-1	立	4／5	検出できず。	13−　2
〃	山、東野森野町56-2･7	立	4／28	盛土のみ。	13−　5
〃	山、東野森野町56-10	立	4／30	検出できず。	13−　7
〃	山、西野山中臣町27-13	立	6／3	ＧＬ−0.33mにて時期不明の包含層。	13−　11
〃	山、西野山中臣町27-5	立	6／4	検出できず。	13−　13
〃	山、西野山中臣町76-4	立	6／25	盛土のみ。	13−　15
〃	山、栗栖野打越町32-3	立	7／25	盛土のみ。	13−　21
〃	山、西野山中臣町71-46	試	7／26	ＧＬ−1.44mにて時期不明の東西溝。	13−　22
〃	山、西野山中臣町26-47	立	9／10	盛土のみ。	13−　32
〃	山、椥辻番所ケ口町地先	立	9／18	巡回時工事終了。	13−　36
〃	山、栗栖野打越町31	立	9／27	ＧＬ−0.2mにて江戸の包含層、−0.43mにて時期不明の落ち込み。	13−　39
〃	山、西野山中臣町26-47	立	10／7	盛土のみ。	13−　43
〃	山、西野山中臣町26-47	立	10／7	盛土のみ。	13−　44
〃	山、東野森野町1-1･10他	試	10／20	検出できず。	13−　47
〃	山、栗栖野狐塚5-1他	立	11／4	検出できず。	13−　49
〃	山、西野山中臣町26-19	立	11／17	検出できず。	13−　51
〃	山、西野山中臣町地先	立	11／21	盛土のみ。	13−　54
〃	山、勧修寺西金ケ崎59-2	立	12／17	盛土のみ。	13−　59
元屋敷廃寺	山、大塚元屋敷町地先	立	8／13	検出できず。	
大　宅　廃　寺	山、大宅鳥井脇町3	立	12／2	ＧＬ−0.8mにて時期不明の包含層。	
山科本願寺跡	山、西野離宮町地先	立	5／8・9	ＧＬ−0.44m以下時期不明の路面3、−0.9mにて室町後期の包含層。	
〃	山、西野山階町地先	立	7／24	検出できず。	
〃	山、西野広見町地先	立	9／5・6	ＧＬ−0.1m以下時期不明の路面3、−0.34mにて室町･時期不明の土壙各1。	
〃	山、西野山階町地先	立	9／13	巡回時工事終了。	
〃	山、西野山大手先地先	立	6／16〜20	ＧＬ−0.14m以下時期不明の路面3。	
勧修寺旧境内	山、勧修寺仁王堂町27-6	立	4／16･24	ＧＬ−0.36mにて時期不明の土壙。	
人康親王山荘跡	山、安朱馬場ノ東町地先	立	4／30	検出できず。	
塚　本　古　墳	東、本町十六丁目292	立	8／22	検出できず。	
珍皇寺境内遺跡	東、小松町11-15,22	立	7／26	検出できず。	
〃	東、新シ町135	立	9／3	検出できず。	
六波羅政庁跡	東、西御門町465-7	立	6／4	ＧＬ−0.15m以下江戸の包含層4。	
〃	東、山城町282	立	6／11	検出できず。	
〃	東、本町四丁目131	立	7／24	ＧＬ−0.85mにて江戸の包含層。	
〃	東、本町二丁目69	立	10／2	ＧＬ−0.42m以下包含層3、鎌倉1、室町2。	
〃	東、本町新六丁目199	立	10／13	検出できず。	
〃	東、山田町502	立	11／20	ＧＬ−0.85m以下包含層3、江戸1、時期不明2。	
法住寺殿跡	東、今熊野宝蔵町13	立	9／25	検出できず。	
〃	東、今熊野宝蔵町1-7	立	10／2	盛土のみ。	
〃	東、東瓦町677-26	立	11／25	現代の瓦窯5基。	
法　性　寺　跡	東、本町十八丁目368-3	立	4／30	検出できず。	
〃	東、泉涌寺雀ケ森町5-5	立	6／27	ＧＬ−0.1m以下時期不明の包含層4、落ち込み2、土壙1。	
〃	伏、深草南明町5-10	立	7／17	検出できず。	

法性寺跡	伏、深草願成町18-3・23	立	9／1，12／2	検出できず。	
〃	東、本池田町地先	立	9／9	ＧＬ－1.2mにて時期不明の包含層。	
〃	東、福稲上高松町地先	立	9／22・24 25	ＧＬ－0.7mにて時期不明の包含層。	
〃	伏、深草願成町30-16,32-2他	立	9／26	盛土のみ。	
〃	東、本町十五丁目地先	立	10／27	検出できず。	
〃	伏、深草願成町40-24地先	立	11／15	検出できず。	
〃	東、本町十五丁目地先	立	11／18	検出できず。	
月輪遺跡	東、本町十五丁目地先	立	12／5	撹乱のみ。	
鳥辺野	東、清閑寺山ノ内町21-5	立	8／2	検出できず。	
〃	東、妙法院前側町地先	立	8／6	ＧＬ－0.49mにて江戸の包含層。	
〃	東、今熊野南日吉町地先	立	9／10	検出できず。	
〃	東、今熊野日吉町地先	立	10／7	撹乱のみ。	
〃	東、今熊野宝蔵町52	立	10／13	盛土のみ。	

伏見・醍醐地区（ＦＤ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
おうせんどう廃寺	伏、深草鞍ケ谷45-1	立	11／25	検出できず。	
伏見城跡	伏、桃山水野左近東町9 桃山中学校	立	4／4	検出できず。	
〃	伏、銀座町四丁目285	立	4／4	ＧＬ－0.6mにて桃山の土壙。	
〃	伏、桃山最上町59	立	4／12	ＧＬ－0.1mにて時期不明の包含層。	
〃	伏、片原町291-2	立	4／25	ＧＬ－0.85m以下江戸の包含層2、時期不明の整地層。	
〃	伏、桃山羽柴長吉中町49	立	4／30	ＧＬ－0.68mにて桃山の南北溝。	
〃	伏、片原町地先	立	5／8	ＧＬ－0.7mにて江戸の包含層。	
〃	伏、村上町393	立	5／8・12	ＧＬ－1.05m以下江戸・時期不明の包含層各1。	
〃	伏、桃山最上町地先	立	5／19・23	検出できず。	
〃	伏、深草中ノ島町39-1	立	5／22	ＧＬ－1.4mにて時期不明の土壙。	
〃	伏、深草大亀谷万帖敷町142-25	立	4／23	盛土のみ。	
〃	伏、桃山町鍋島1-1	立	6／9	盛土のみ。	
〃	伏、両替町十四丁目地先	立	6／25	№.1　ＧＬ－0.9mにて時期不明の包含層、－1.0m以下池状堆積。№.2　ＧＬ－0.6m以下包含層3、江戸2、時期不明1、－0.86mにて時期不明の路面1。	
〃	伏、深草大亀谷安信町51-52	立	7／8	検出できず。	
〃	伏、御駕籠町132	立	7／2	ＧＬ－0.97mにて江戸の包含層。	
〃	伏、桃山町金森出雲地先	立	7／21	巡回時工事終了。	
〃	伏、竹中町609	試	7／30	１Ｔ　ＧＬ－0.6mにて江戸前～中期の井戸1、－0.92m以下江戸の整地層2。２Ｔ　ＧＬ－0.64mにて土壙3、江戸前期1、時期不明2、時期不明の溝1、柱穴1。	
〃	伏、深草中ノ島町地内	立	8／1	撹乱のみ。	
〃	伏、桃山町遠山103-1	立	8／4	盛土のみ。	
〃	伏、深草大亀谷万帖敷町296-2	試	8／11	ＧＬ－1.3mにて時期不明の整地層。	
〃	伏、京町一丁目258	立	8／22	検出できず。	
〃	伏、今町666	立	9／3	検出できず。	
〃	伏、桃山町本多上野55-3	試	9／9	周辺住民の反対により調査中断。	
〃	伏、桃山町三河1-2	立	9／11	ＧＬ－2.08mにて桃山の包含層。	
〃	伏、桃山水野左近西町36-3	立	9／11	盛土のみ。	
〃	伏、桃山筒井伊賀東町63	立	10／9	盛土のみ。	

伏見城跡	伏、桃山水野左近東町58-3	立	10/24	検出できず。	
〃	伏、周防町331-8	立	11/19	GL－0.3m以下時期不明の流れ堆積。	
〃	伏、南部町41	立	11/18	GL－0.8mにて江戸の土壙。	
〃	伏、丹後町142 伏見南浜小学校	立	11/19	盛土のみ。	
〃	伏、桃山町遠山98-4	立	11/22	盛土のみ。	
〃	伏、桃山水野左近西町51	立	12/10	盛土のみ。	
〃	伏、京町四丁目155-1,156-3	立	12/13·15	GL－0.7mにて江戸の土壙5、－1.16mにて平安の包含層。	
嘉祥寺跡	伏、深草瓦町75-1,80-1	立	8/26	盛土のみ。	

鳥羽地区（TB）

遺跡名	所在地	試·立	調査日	概要	図版番号
唐橋遺跡	南、吉祥院西定成町31	立	10/7	GL－0.65m以下江戸・時期不明の包含層各1。	
深草遺跡	伏、深草西浦町四丁目42-4	立	7/30	GL－0.6mにて時期不明の流路の東肩。	
〃	伏、深草西浦町六丁目68	立	9/1	GL－0.83mにて時期不明の流路の東肩。	
下鳥羽遺跡	伏、毛利町10-1·2,11	立	9/1·4	GL－0.99m以下平安後期・室町の包含層各1。	14— 17
〃	伏、下鳥羽越ノ越町34-1·2	試	11/7	GL－0.6mにて平安後期の包含層。－0.8mにて平安後期の整地層、－1.45mにて古墳後期の焼土遺構。発掘調査に切り換える。	14— 25
〃	伏、竹田松林町35	試·立	11/12·15	1T GL－1.3mにて古墳後期の焼土遺構1、柱穴1。2T GL－1.5mにて古墳後期の包含層。	14— 27
鳥羽離宮跡	伏、竹田内畑町7,12,1-2,10-2	立	4/8	検出できず。	14— 1
〃	伏、中島宮ノ後町23-1·3·7他	試	4/9	1T GL－2.2m以下平安～室町の池状堆積。3T GL－1.3mにて陸部、－1.55m以下池状堆積。	14— 2
〃	伏、中島中道町31-1,21-7他	試	6/30	GL－2.5m以下時期不明の湿地堆積。	14— 4
〃	伏、竹田桶ノ井町51-3·9	試	4/28	GL－1.35m以下時期不明の池状堆積。	14— 5
〃	伏、竹田内畑町95-6	立	5/6	盛土のみ。	14— 6
〃	伏、中島宮ノ前町23他9筆	立	5/15	盛土のみ。	14— 8
〃	伏、竹田浄菩提院町47-6	試	5/16	GL－0.4mにて平安末期～鎌倉の包含層。	14— 9
〃	伏、中島堀端町地先	立	5/19～26	GL－0.8mにて時期不明の包含層。	14— 10
〃	伏、竹田真幡木町46-19	立	5/19	検出できず。	14— 11
〃	伏、竹田内畑町地先	立	5/22	巡回時工事終了。	14— 12
〃	伏、竹田醍川町4,4-1	試	6/6	GL－1.2mにて池状堆積。	14— 13
〃	伏、中島前山町6-1·4	試	7/4	GL－1.38m以下池状堆積。	14— 14
〃	伏、竹田桶ノ井町地先	立	9/11	検出できず。	14— 18
〃	伏、中島宮ノ前町15-1	立	9/22	検出できず。	14— 19
〃	伏、中島前山町22-1,21-1	試	9/24	GL－0.88m以下時期不明の流れ堆積、－1.54mにて古墳後期～平安中期の遺物出土。	14— 20
〃	伏、中島御所ノ内町7-5	立	9/25	検出できず。	14— 21
〃	伏、竹田田中殿町40	試	10/3	GL－1.0mにて平安後期の包含層。	14— 22
〃	伏、中島北ノ口町	試	10/6	GL－2.1m以下時期不明の包含層2。	14— 23
〃	伏、竹田内畑町66A,67-3	立	11/8	GL－0.38mにて時期不明の包含層・土壙各1。	14— 26
〃	伏、中島前山町8-1	立	12/3	盛土のみ。	14— 28

鳥羽離宮跡	伏、中島御所ノ内町16	立	12／6	ＧＬ−0.86mにて時期不明の包含層・東西溝各1。	14− 29
〃	伏、竹田真幡木町	立	12／8	盛土のみ。	14− 30
〃	伏、竹田田中殿町54	立	12／8	盛土のみ。	14− 31
西飯食町遺跡	伏、深草飯食町801-1	立	4／14	検出できず。	
深草寺跡隣接地	伏、深草西飯食町地先	立	5／9〜28	検出できず。	

南・桂地区（ＭＫ）

遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
中久世遺跡	南、久世殿城町456-2・3	立	4／30	盛土のみ。	15− 2
〃	南、久世大藪町177,178	試	6／13	ＧＬ−0.42mにて縄文〜弥生の流れ堆積。	15− 5
〃	南、久世中久世町四丁目66-5	立	7／23	巡回時工事終了。	15− 7
〃	南、久世中久世町一丁目143	試	10／16	ＧＬ−0.5mにて弥生後期〜古墳前期の土壙3、弥生後期〜古墳前期の溝1、古墳中期の溝1、発掘調査に切り換える。	15− 13
〃	南、久世中久世町三丁目100	立	10／27	ＧＬ−0.27m以下土壙14、弥生11、長岡京期〜平安2、時期不明1。	15− 14
〃	南、久世中久世町五丁目32-4・5	試	11／5	1Ｔ　ＧＬ−0.92mにて長岡京期の土壙。2Ｔ　ＧＬ−1.2mにて長岡京期の溝。	15− 16
上久世遺跡	南、久世上久世町148-5	立	7／4	検出できず。	
下津林遺跡	西、下津林六反田地先	立	5／8〜9／20	ＧＬ−0.67mにて江戸の包含層。	
〃	西、下津林六反田地先	立	7／30	撹乱のみ。	
〃	西、下津林六反田地先	立	8／14	撹乱のみ。	
〃	西、下津林佃地先	立	9／6	検出できず。	
〃	西、下津林六反田地先	立	9／20,11／27	検出できず。	
〃	西、下津林佃地先	立	9／30	撹乱のみ。	
〃	西、下津林佃地先	立	10／29	盛土のみ。	
樫原遺跡	西、樫原里ノ垣外町20-5	立	4／25,7／1・4	№.1　ＧＬ−0.95m以下弥生の流れ堆積。№.2　ＧＬ−0.38mにて竪穴住居址、№.3　ＧＬ−0.22mにて弥生の溝。	
天鼓の森古墳	西、上桂森上町26 桂中学校	立	5／15〜7／15	ＧＬ−0.85mにて古墳後期の包含層。−1.24mにて古墳後期の東西溝。発掘調査に切り換える。	

長岡京地区（ＮＧ）

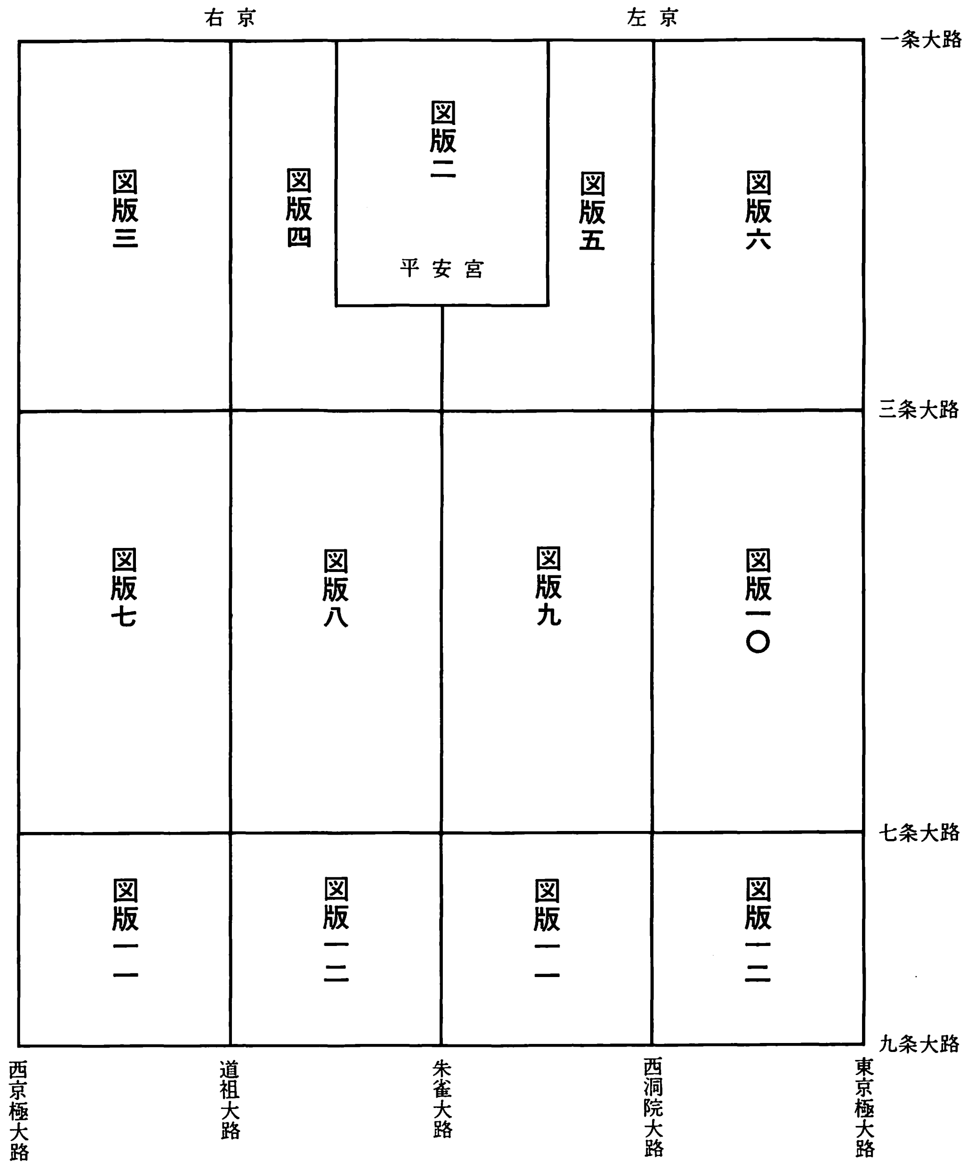
遺跡名	所在地	試・立	調査日	概要	図版番号
長岡京跡	南、久世大藪町548,549-1	試	4／7	1Ｔ　ＧＬ−1.98mにて弥生の溝。60年度ＮＧ3の続き。2Ｔ　ＧＬ−0.94mにて時期不明の南北溝、推定東三坊大路西側溝。	15− 1
〃	伏、納所町145-30	立	4／14	盛土のみ。	
〃	西、大原野石見町507-1	立	4／23	盛土のみ。	
〃	伏、久我石原町9-235・236他	試	5／19	ＧＬ−1.5mにて時期不明の包含層。	15− 4
〃	伏、羽束師古川町320,321他	試	6／9・10	ＧＬ−1.75mにて室町の包含層、−2.21mにて平安の水田跡、多数の足跡（人・牛）検出。	
〃	伏、淀本町231-20	立	6／18	検出できず。	

長岡京跡	南、久世大藪町444-13,445-1	立	6 / 26	盛土のみ。	15— 7
〃	南、久世築山町212-1	試	7 / 28	GL—2.3m以下湿地堆積。	15— 8
〃	南、久世大藪町444-13	立	8 / 19	盛土のみ。	15— 9
〃	伏、久我本町11-287	立	8 / 25	GL—0.65m以下時期不明の包含層3。	15— 10
〃	南、久世東土川町253-2･3	立	8 / 28	検出できず。	15— 11
〃	南、久世東土川町10-1	立	8 / 28	盛土のみ。	15— 12
〃	西、大原野上里紅葉町16-6	立	9 / 6	巡回時工事終了。	
〃	伏、淀本町173-105	立	10 / 31	GL—0.97m以下包含層3、江戸1、時期不明2。	
〃	伏、羽束師菱川町205-2	立	11 / 6	GL—0.92m以下時期不明の包含層2。	
〃	西、大原野上里男鹿町15-7	立	11 / 22	盛土のみ。	
〃	伏、淀池上町90-1	立	12 / 17	盛土のみ。	
〃	西、大原野上里男鹿町19-5	立	12 / 12	盛土のみ。	

図　版

調査地点位置図

平安京図葉分割図



凡　例

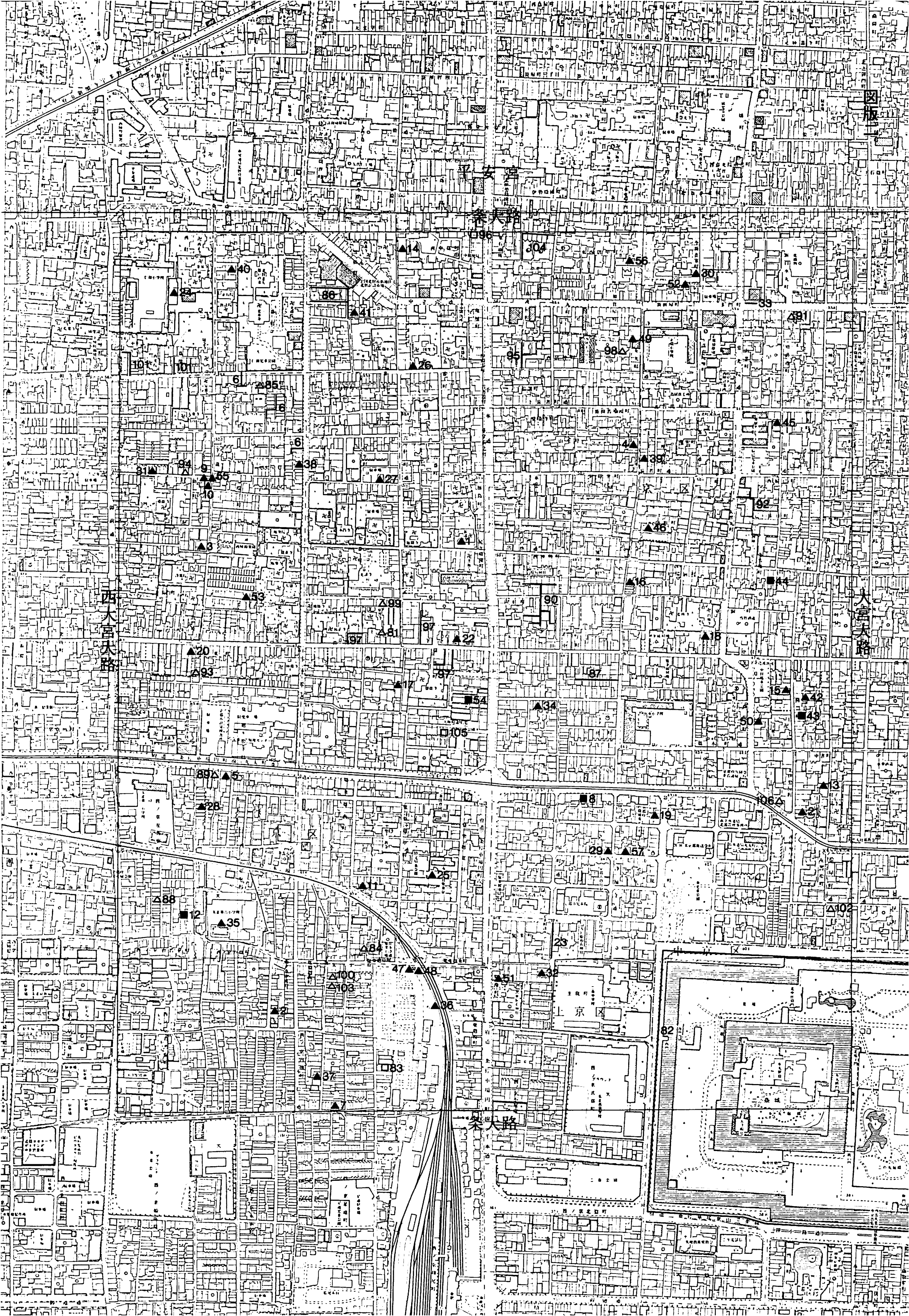
□ 60年度試掘調査地点

■ 61年度試掘調査地点

△ ―― 60年度立会調査地点

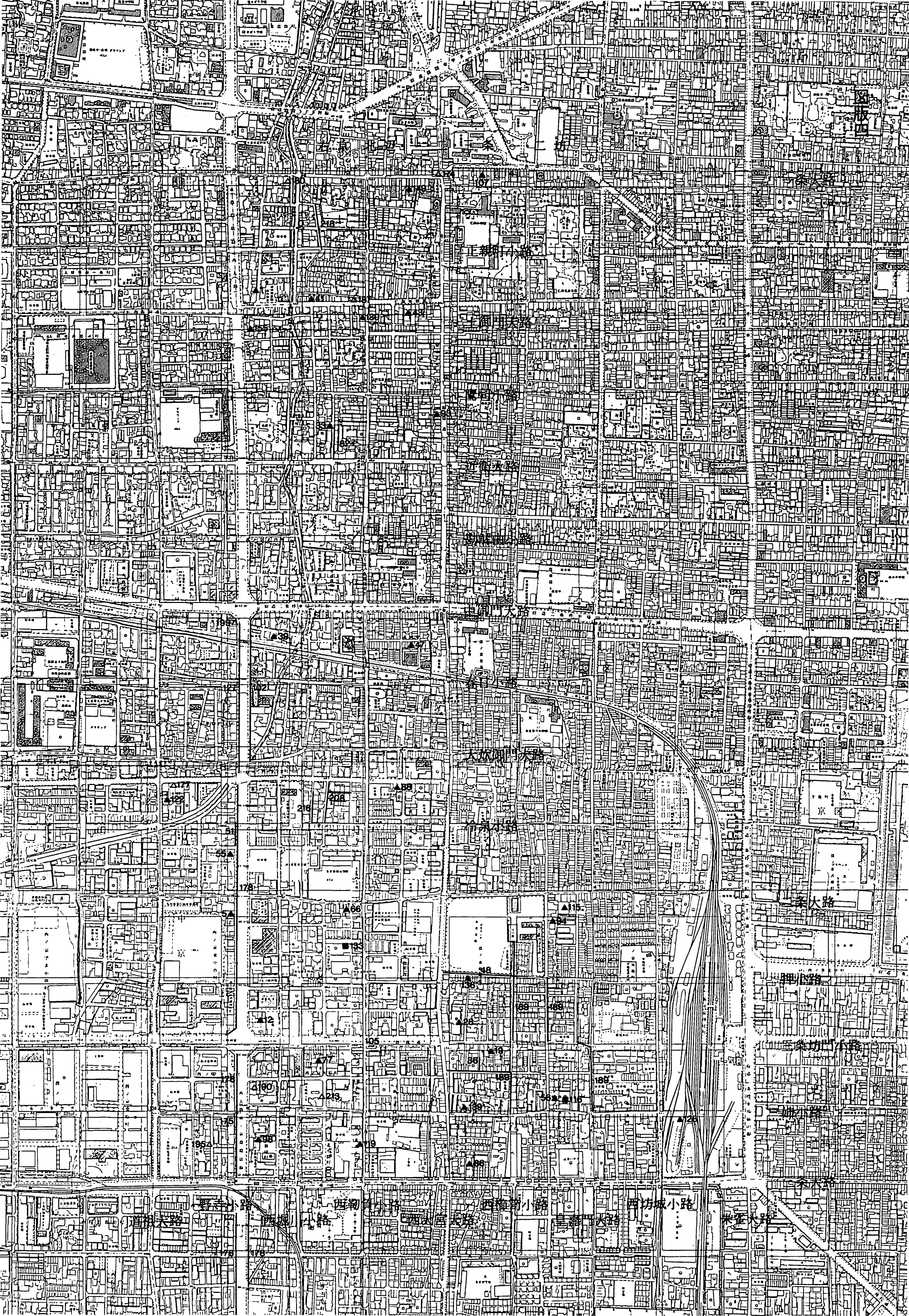
▲ ―― 61年度立会調査地点

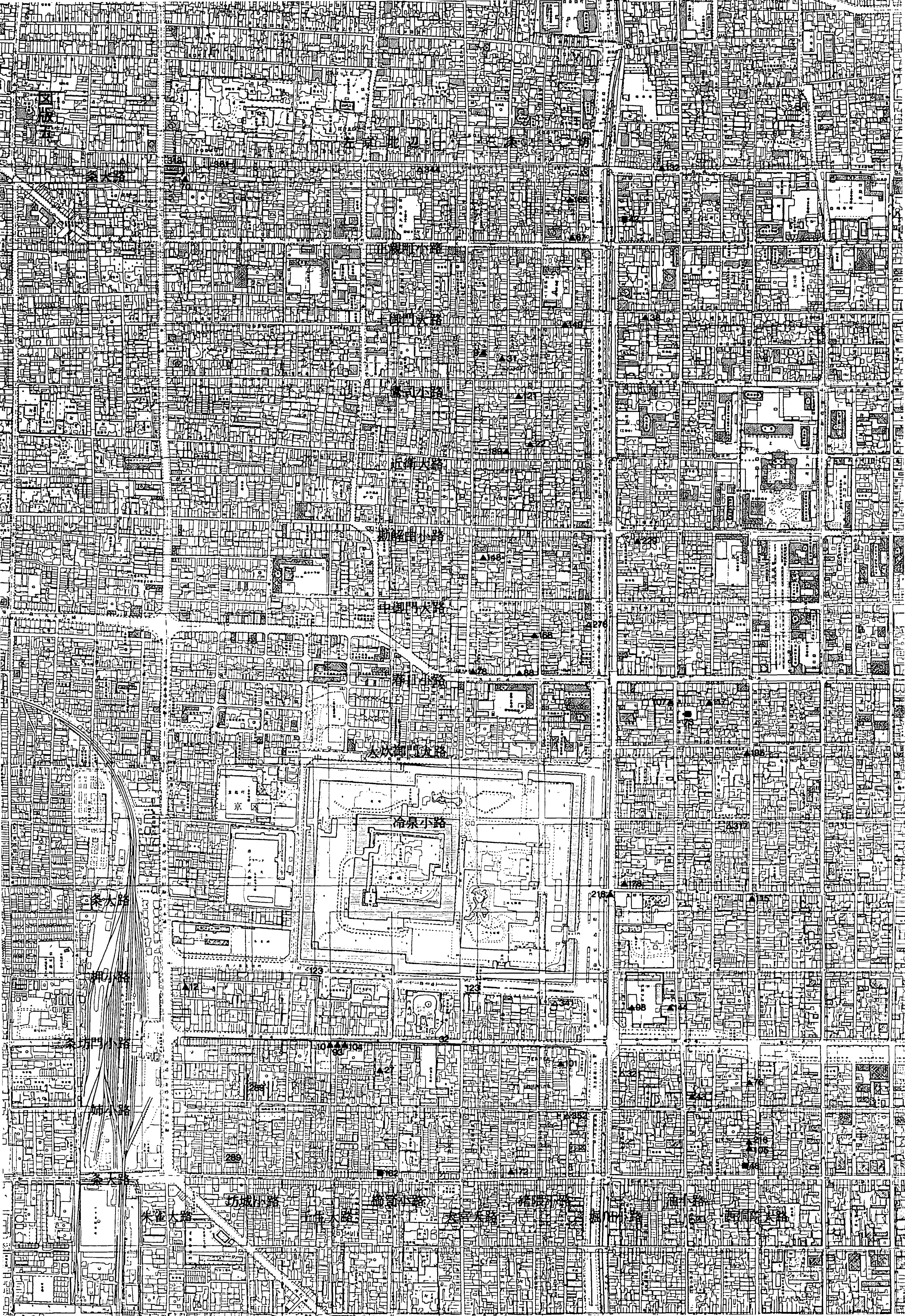
— — — — — 遺跡範囲



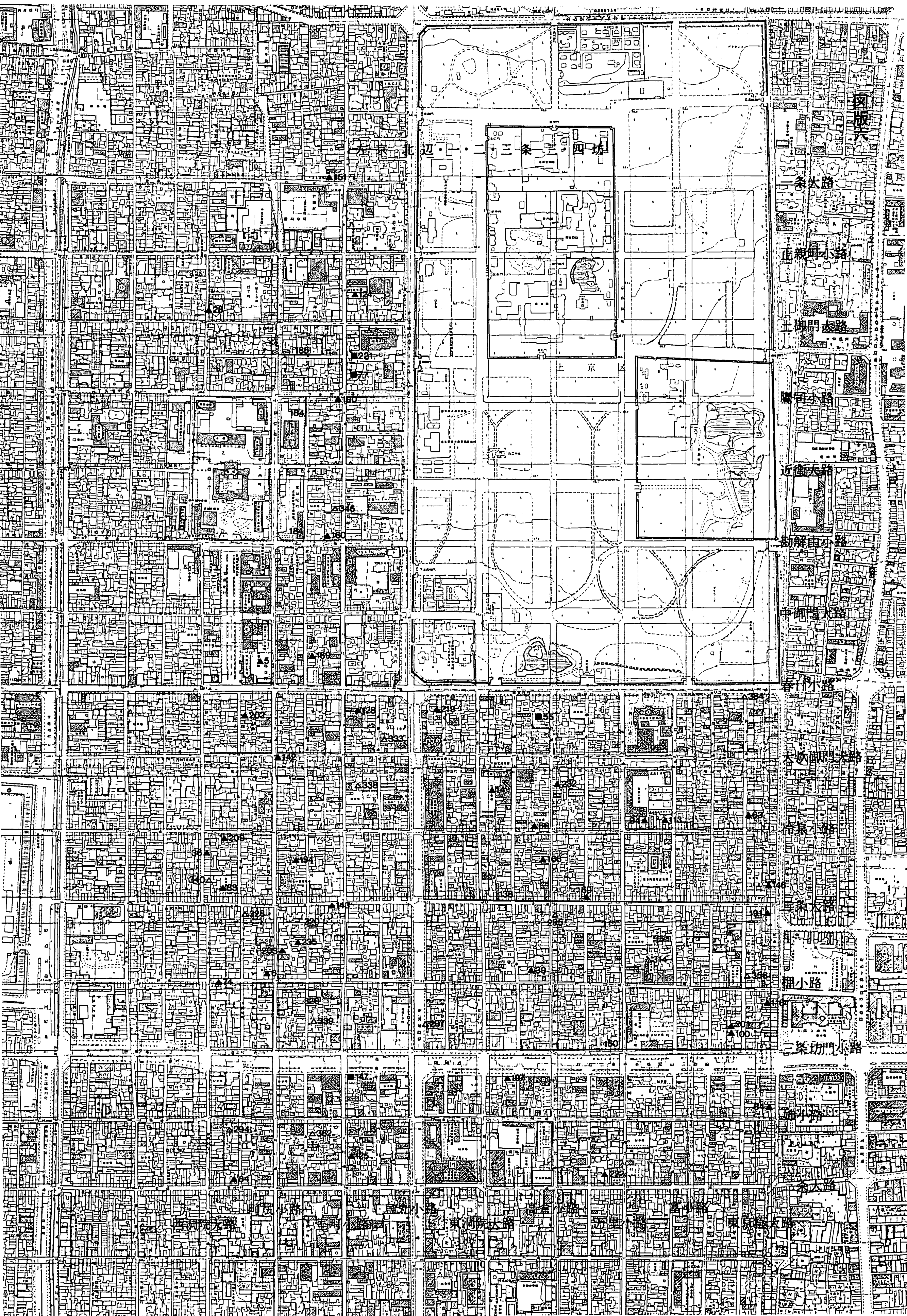
図版二

図版
右京北辺四坊
一条大路
正親町小路
土御門大路
鷹司小路
近衛大路
勘解由小路
中御門大路
春日小路
大炊御門大路
冷泉小路
二条大路
押小路
三条坊門小路
姉小路
三条大路
無差小路
西京極大路
山小路
菖蒲小路
木辻大路
恵止利小路
馬代小路
宇多小路
道祖大路


図版四
右京北辺
一条大路
正親町小路
土御門大路
鷹司小路
近衛大路
勘解由小路
中御門大路
春日小路
大炊御門大路
冷泉小路
二条大路
押小路
三条坊門小路
姉小路
三条大路
野寺小路
道祖大路
西靭負小路
西堀川小路
西大宮大路
西櫛笥小路
皇嘉門大路
西坊城小路
朱雀大路

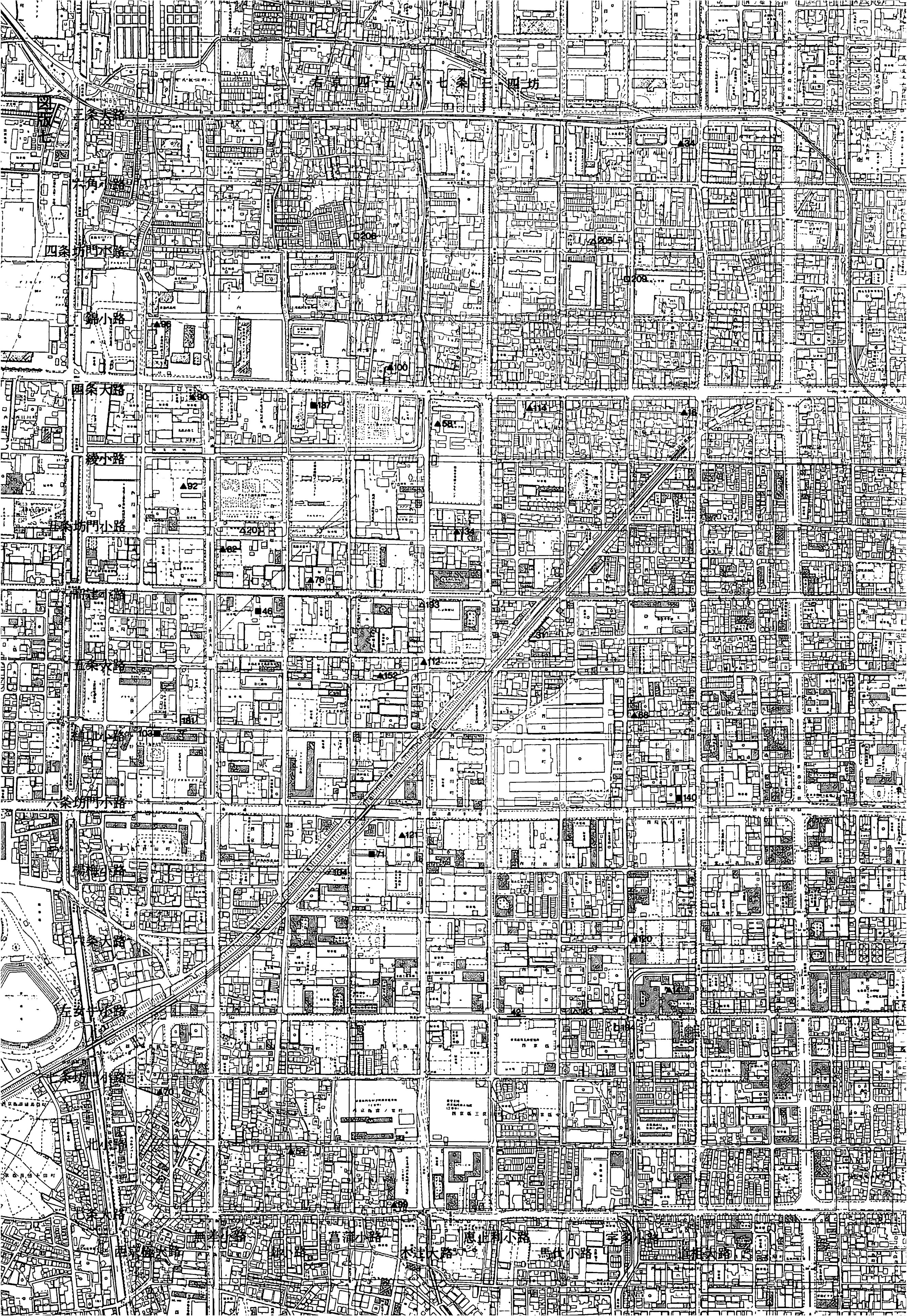


図版五
一条大路
正親町小路
土御門大路
鷹司小路
近衛大路
勘解由小路
中御門大路
春日小路
大炊御門大路
冷泉小路
二条大路
押小路
三条坊門小路
姉小路
三条大路
朱雀大路
坊城小路
壬生大路
櫛笥小路
大宮大路
猪隈小路
堀川小路
油小路
西洞院大路



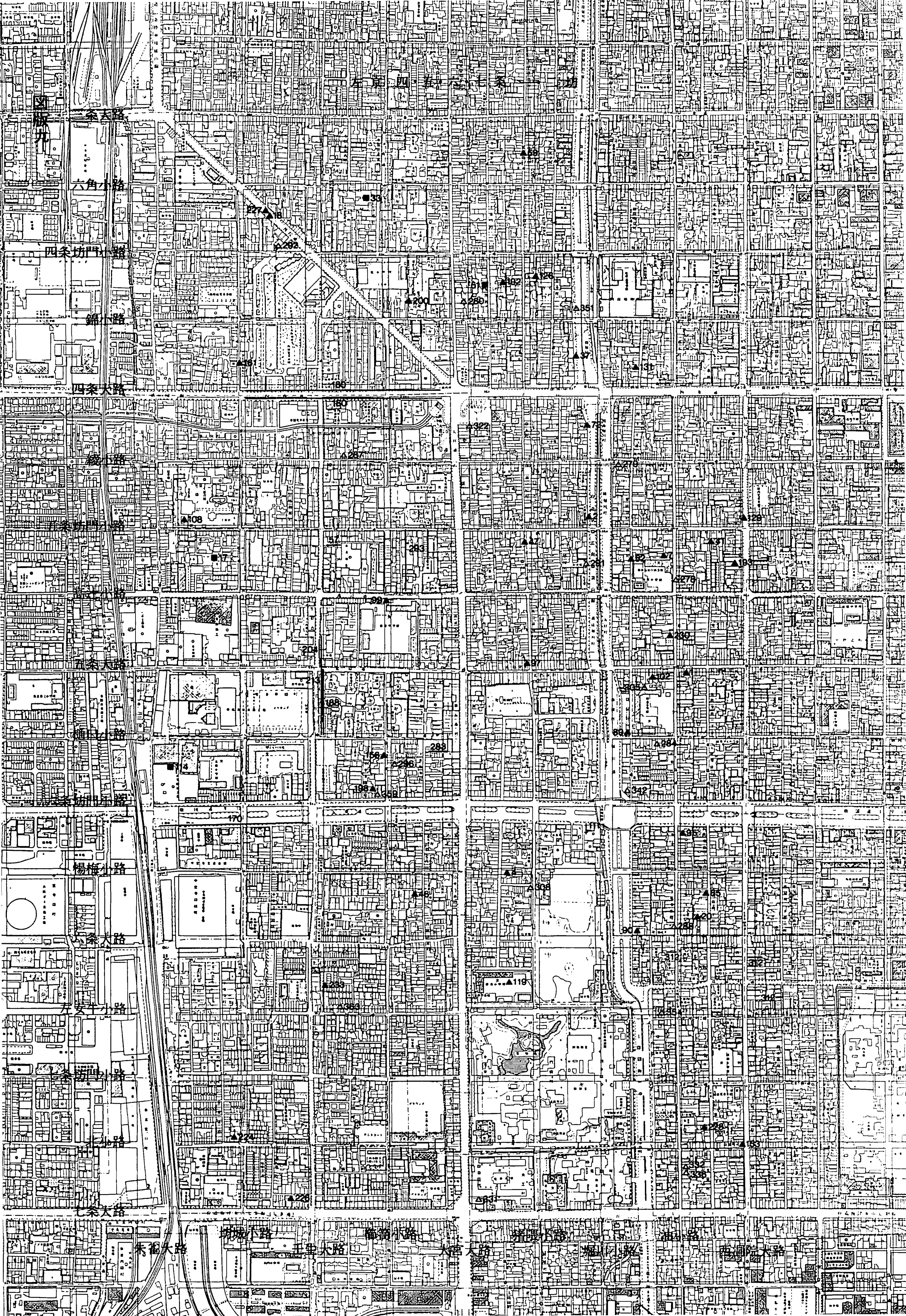
左京北辺・一・二・三条三・四坊
上京区
一条大路
正親町小路
土御門大路
鷹司小路
近衛大路
勘解由小路
中御門大路
春日小路
大炊御門大路
冷泉小路
二条大路
押小路
三条坊門小路
姉小路
三条大路
西洞院大路
町尻小路
室町小路
烏丸小路
東洞院大路
高倉小路
万里小路
富小路
東京極大路

図版六



図版七
右京四・五・六・七条二・四坊
三条大路
六角小路
四条坊門小路
錦小路
四条大路
綾小路
五条坊門小路
高辻小路
五条大路
樋口小路
六条坊門小路
楊梅小路
六条大路
左女牛小路
七条坊門小路
北小路
七条大路
無差小路
菖蒲小路
恵止利小路
宇多小路
木辻大路
馬代小路
道祖大路

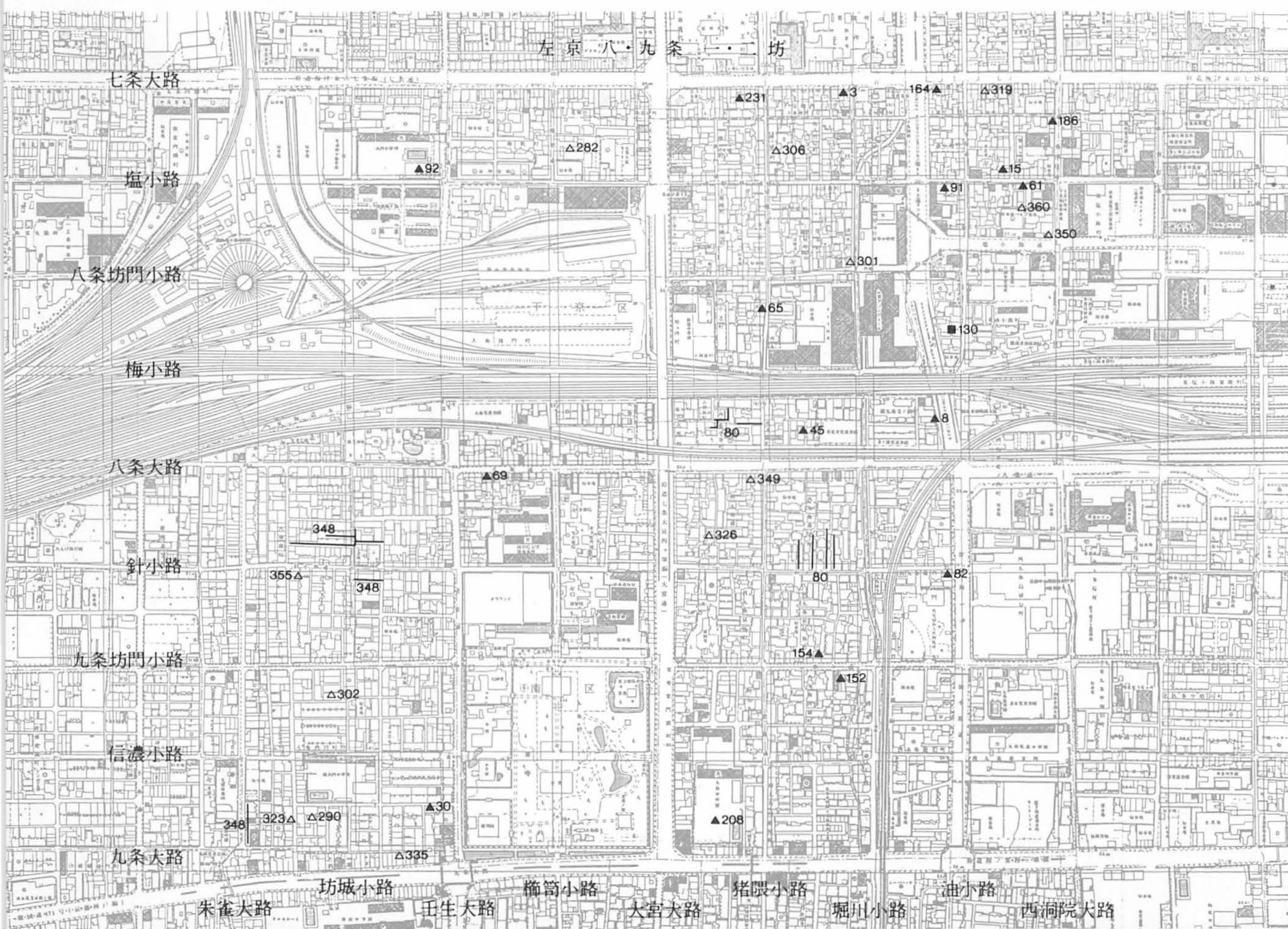
図版八
右京四・五・六・七条一・二坊
三条大路
六角小路
四条坊門小路
錦小路
四条大路
綾小路
五条坊門小路
高辻小路
五条大路
樋口小路
六条坊門小路
楊梅小路
六条大路
左女牛小路
七条坊門小路
北小路
七条大路
野寺小路
西靭負小路
西櫛笥小路
西坊城小路
道祖大路
西堀川小路
西大宮大路
皇嘉門大路
朱雀大路

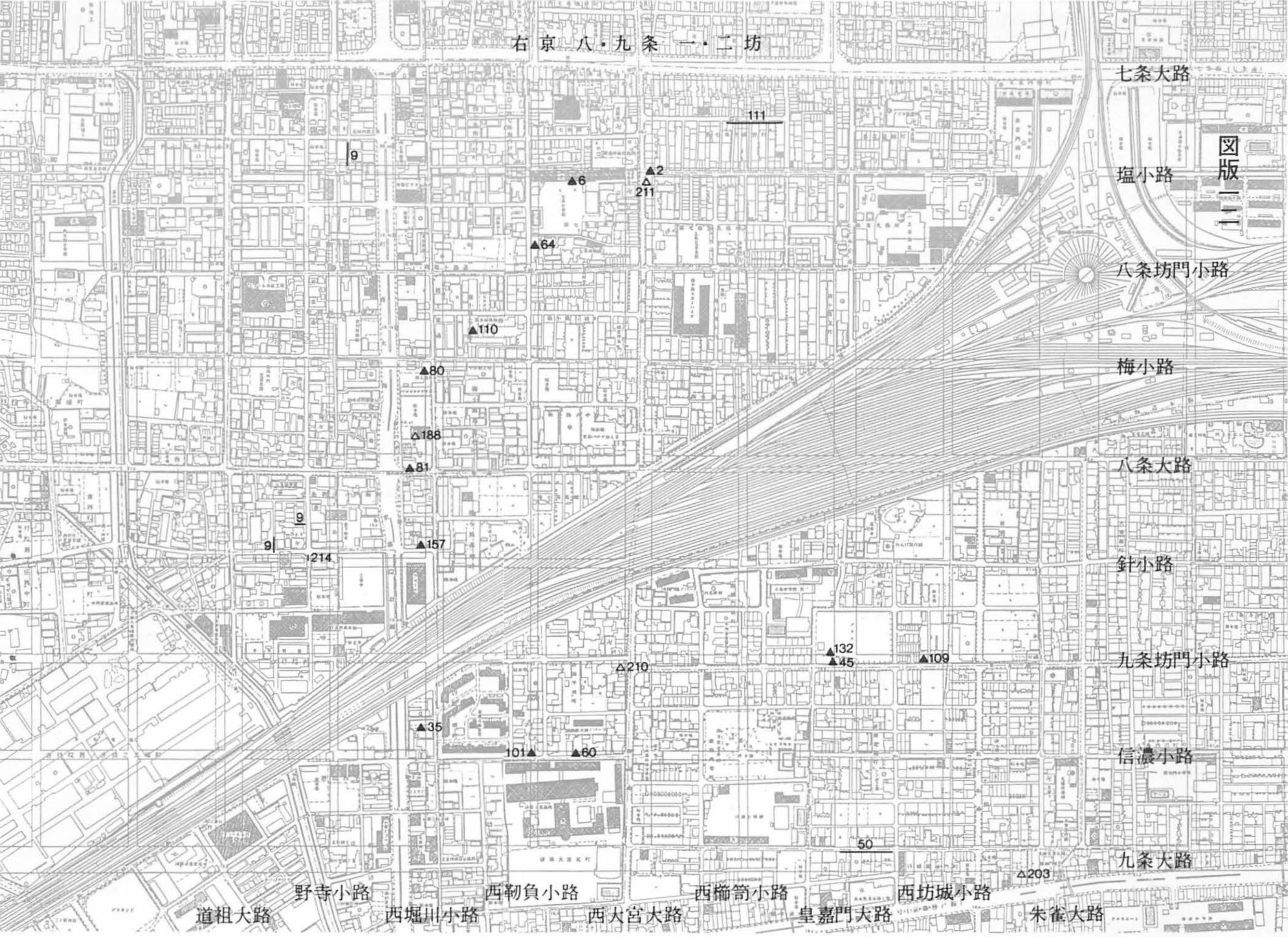


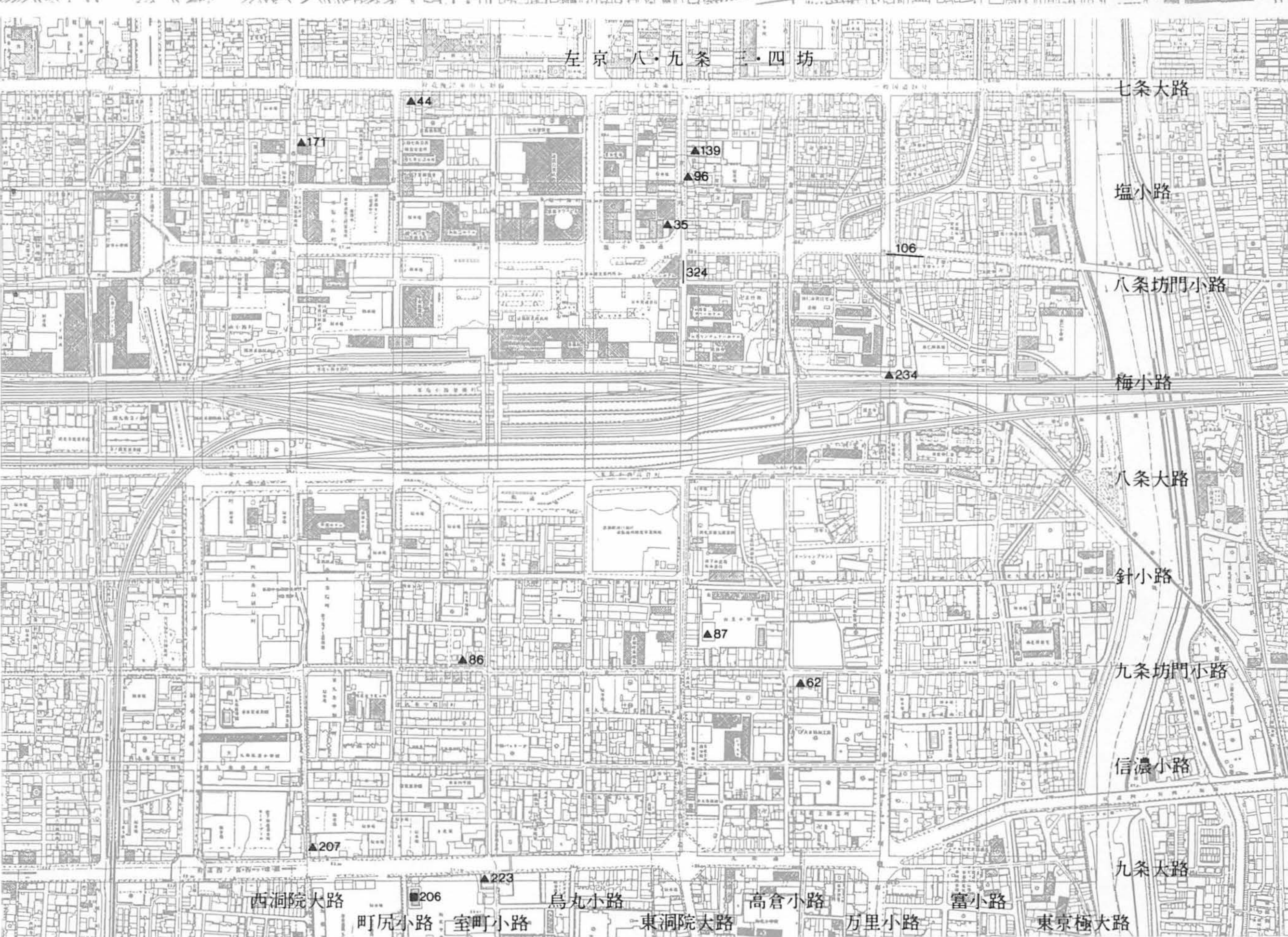
図版九
左京四・五・六・七条一・二坊
三条大路
六角小路
四条坊門小路
錦小路
四条大路
綾小路
五条坊門小路
高辻小路
五条大路
樋口小路
六条坊門小路
楊梅小路
六条大路
左女牛小路
七条坊門小路
北小路
七条大路
坊城小路
朱雀大路
壬生大路
櫛笥小路
大宮大路
猪隈小路
堀川小路
油小路
西洞院大路

図版二


右京 八・九条 三・四坊
七条大路
塩小路
八条坊門小路
梅小路
八条大路
針小路
九条坊門小路
信濃小路
九条大路
西京極大路
無差小路
山小路
菖蒲小路
木辻大路
恵止利小路
馬代小路
宇多小路
道祖大路
▲27
▲24
△176
▲11
△192
▲135
▲141
▲145
△173
▲22

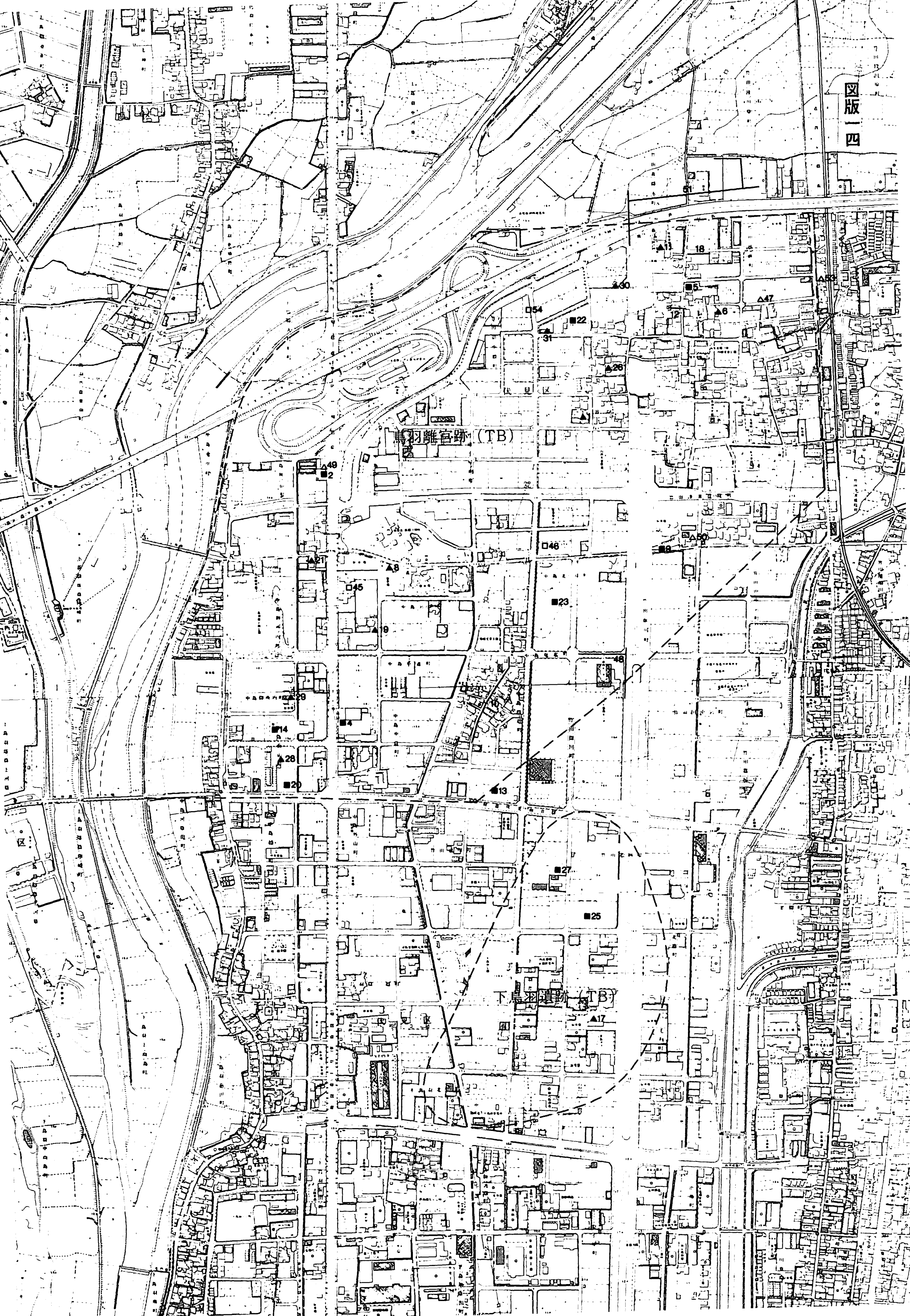

左京 八・九条 一・二坊
七条大路
塩小路
八条坊門小路
梅小路
八条大路
針小路
九条坊門小路
信濃小路
九条大路
朱雀大路
坊城小路
壬生大路
櫛笥小路
大宮大路
猪隈小路
堀川小路
油小路
西洞院大路
▲231
▲3
164▲
△319
▲186
△282
△306
▲92
▲15
▲91
▲61
△360
△350
△301
▲65
■130
80
▲45
▲8
▲69
△349
348
△326
355△
348
80
▲82
154▲
▲152
△302
▲30
348
323△
△290
▲208
△335


右京 八・九条 一・二坊
七条大路
塩小路
八条坊門小路
梅小路
八条大路
針小路
九条坊門小路
信濃小路
九条大路
道祖大路
野寺小路
西堀川小路
西靭負小路
西大宮大路
西櫛笥小路
皇嘉門大路
西坊城小路
朱雀大路
111
9
6
2
211
64
110
80
188
81
9
9
214
157
132
45
109
210
35
101
60
50
203

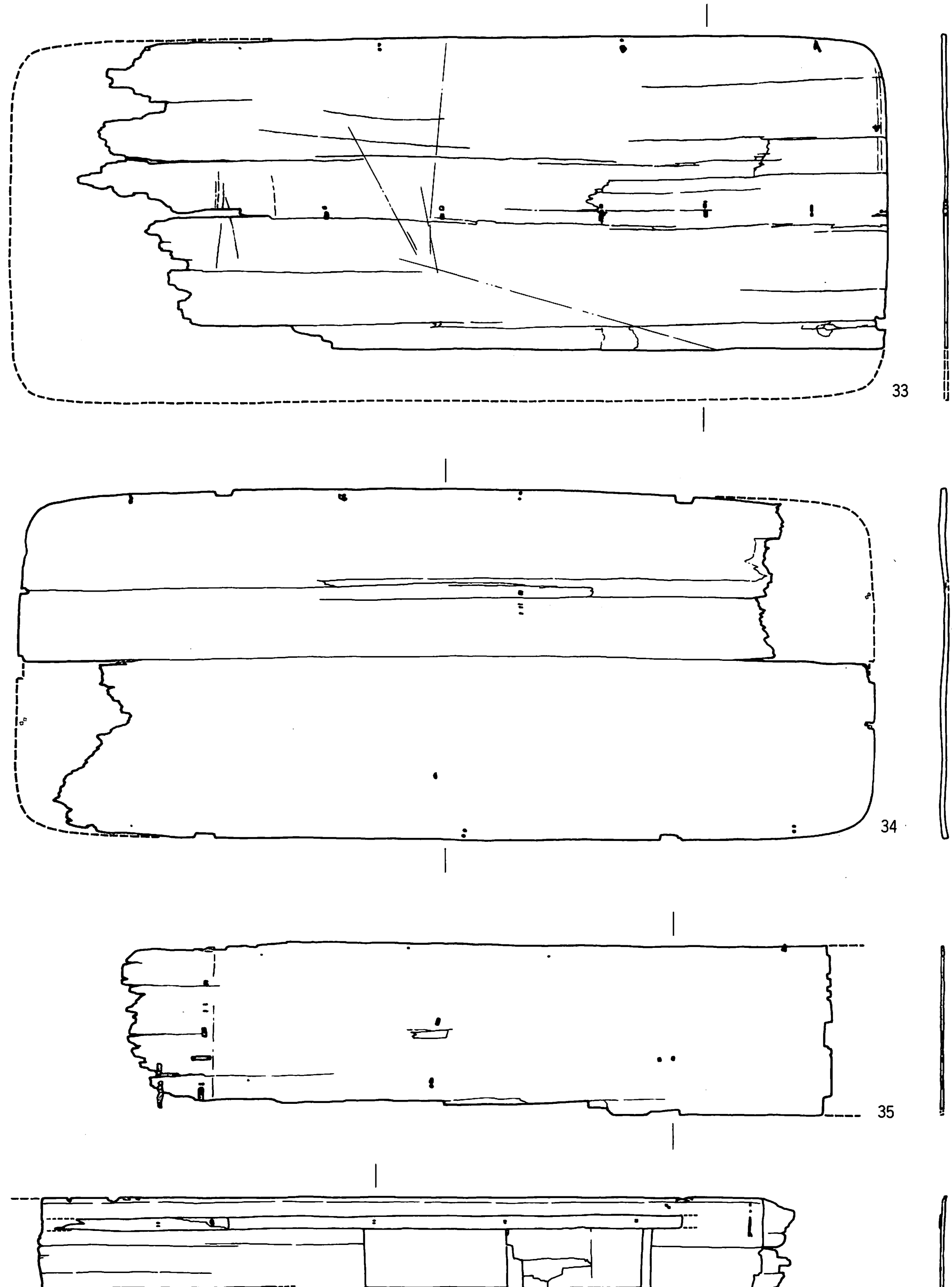

左京 八・九条 三・四坊
七条大路
塩小路
八条坊門小路
梅小路
八条大路
針小路
九条坊門小路
信濃小路
九条大路
西洞院大路
町尻小路
室町小路
烏丸小路
東洞院大路
高倉小路
万里小路
富小路
東京極大路
44
171
139
96
35
106
324
234
87
86
62
207
223
206

図版一三

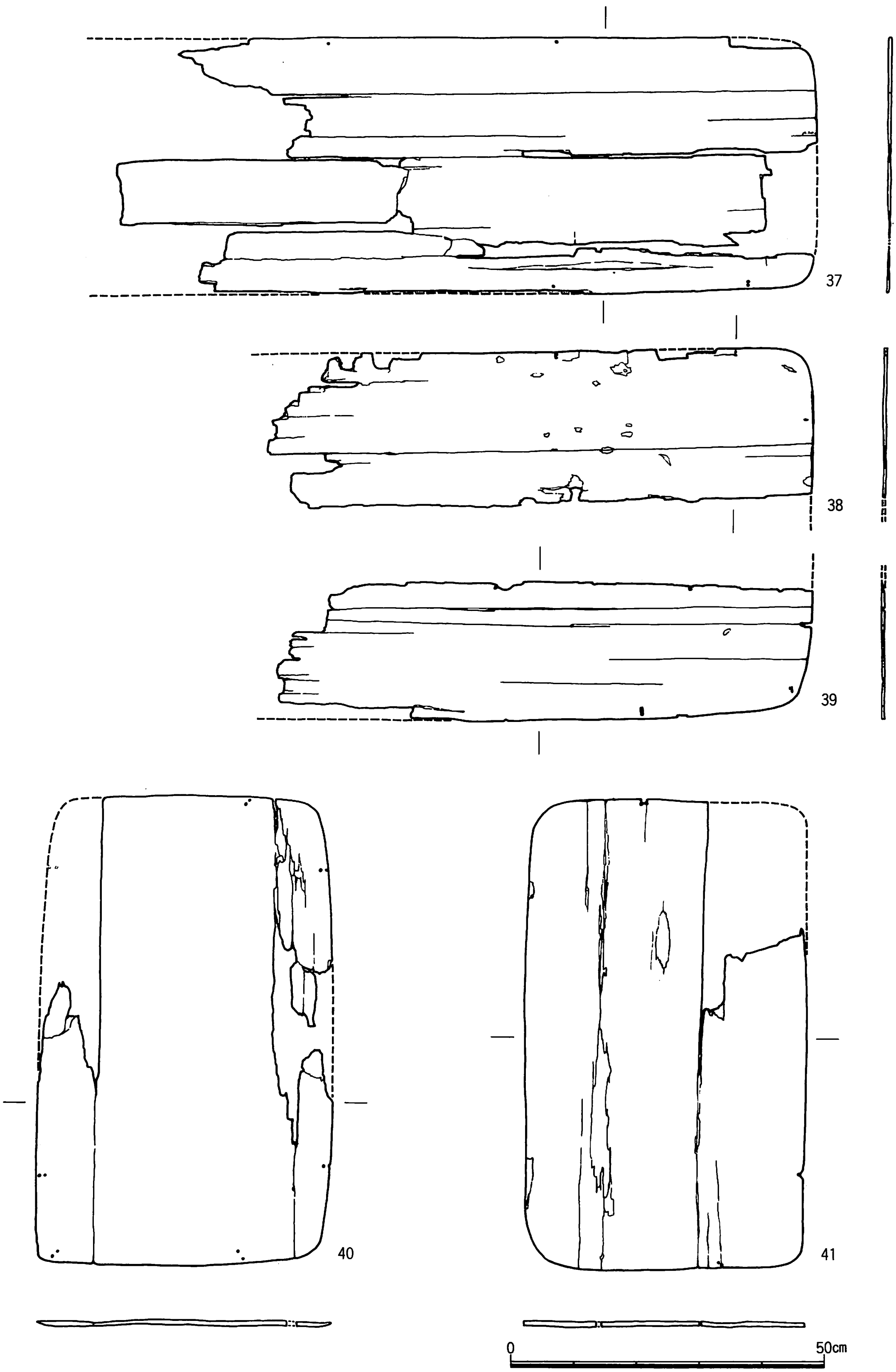

北白川瓦窯跡（KS）
北白川廃寺跡（KS）
上終町遺跡（KS）
北白川上池田町
古墳群（KS）
小倉町
別当町遺跡（KS）
中臣遺跡（RT）
白河街区（KS）
岡崎遺跡（KS）


図版一四
鳥羽離宮跡（TB）
下鳥羽遺跡（TB）
伏見区
1
2
4
5
6
8
9
11
12
13
14
17
18
19
20
21
22
23
25
26
27
28
29
30
31
45
46
47
48
49
50
51
53
54

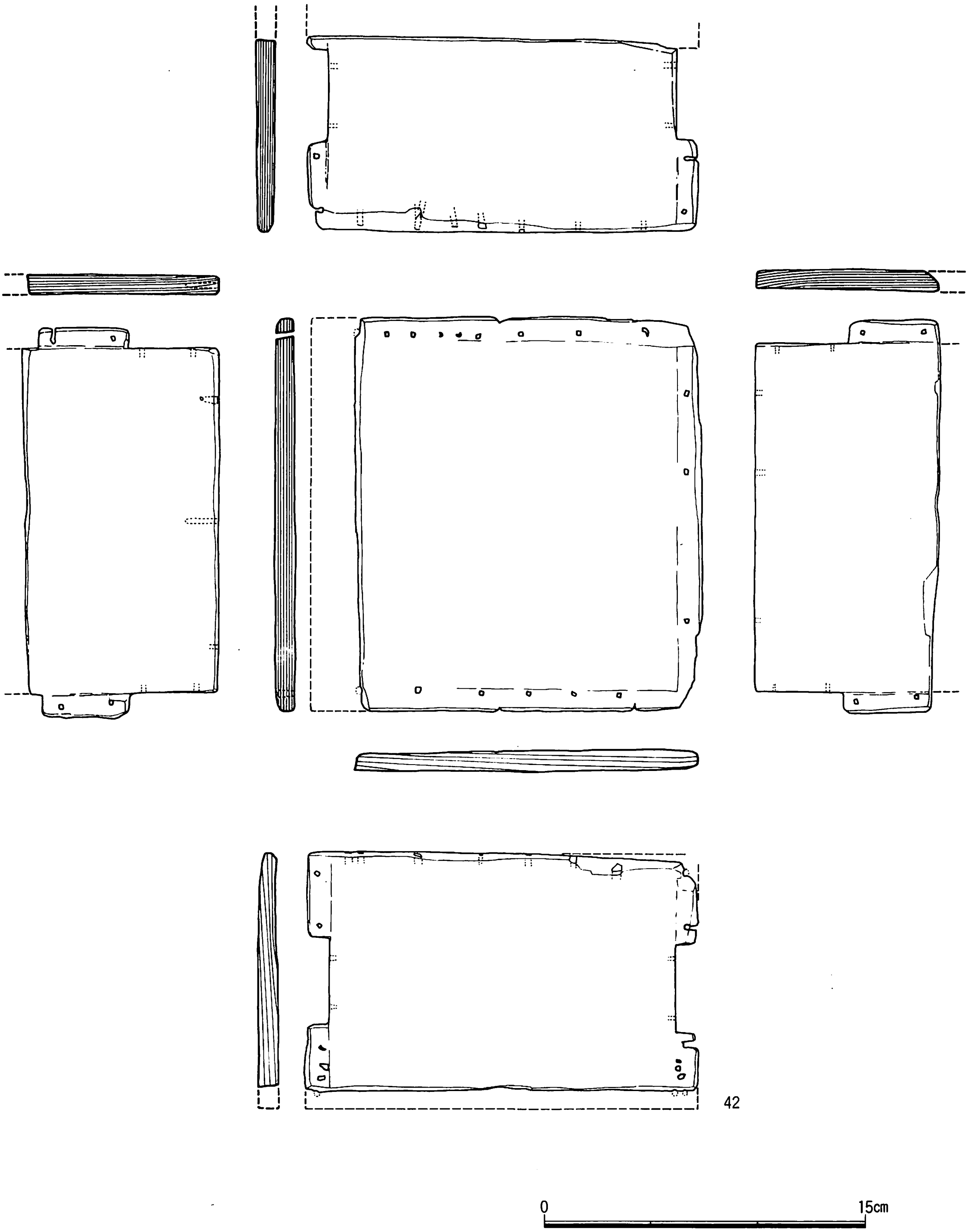
図版五



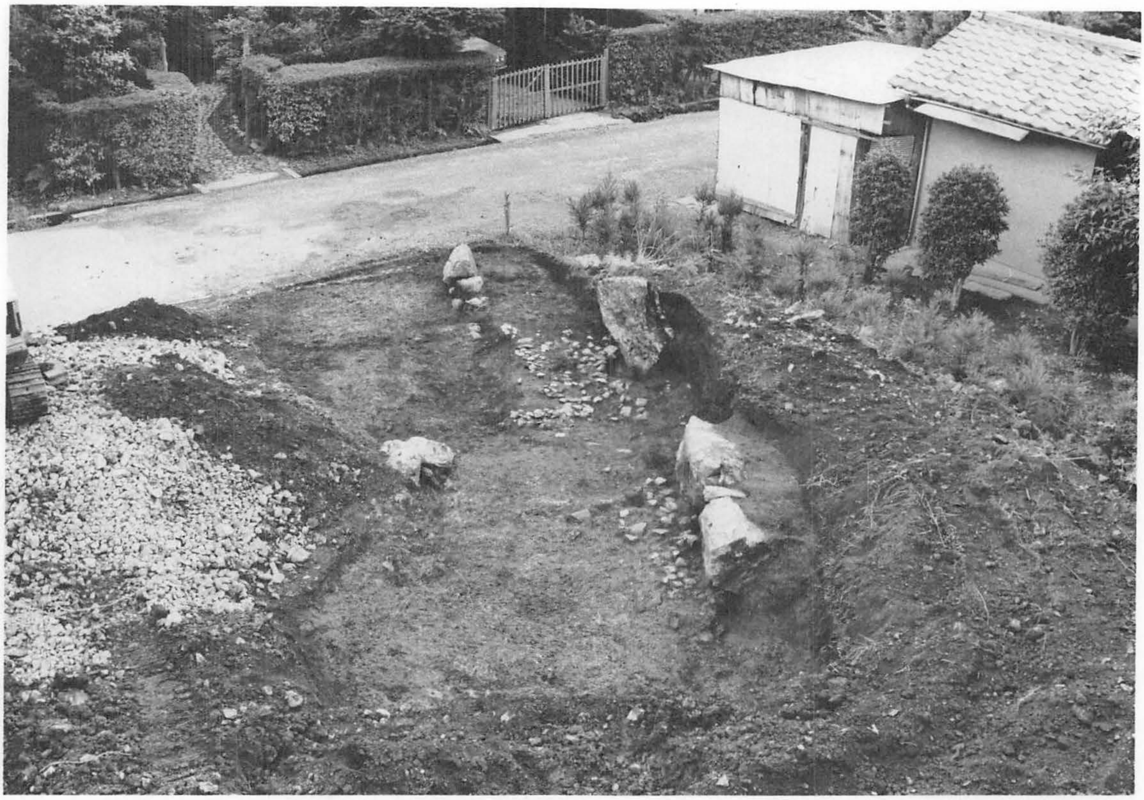
SE１出土木製品



SE1出土木製品

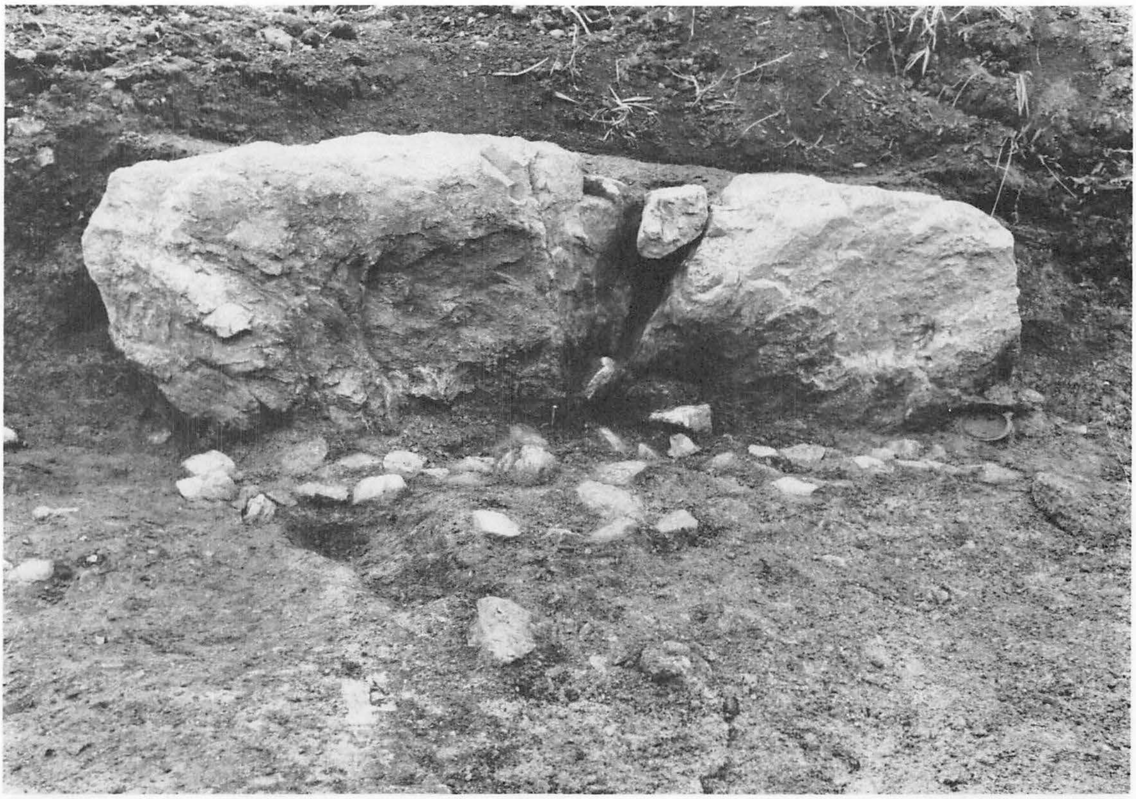


ＳＥ１出土木製品

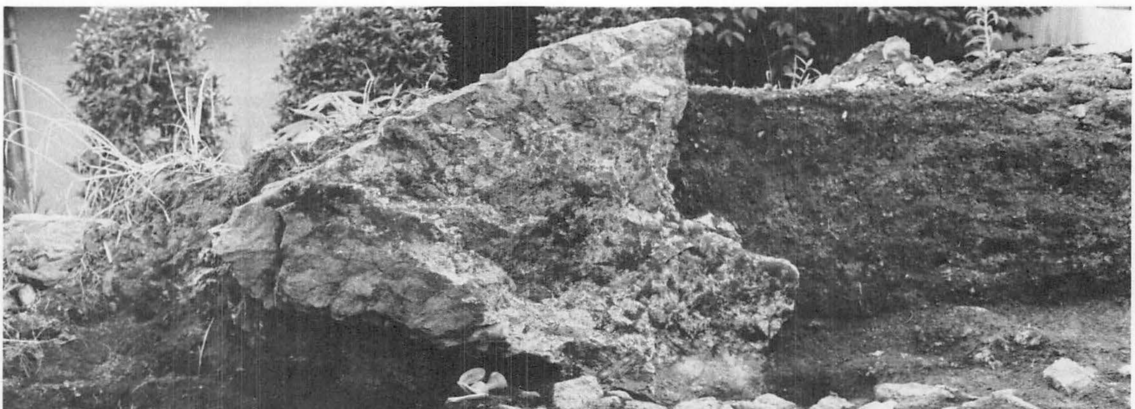


1　遺跡全景（北東から）

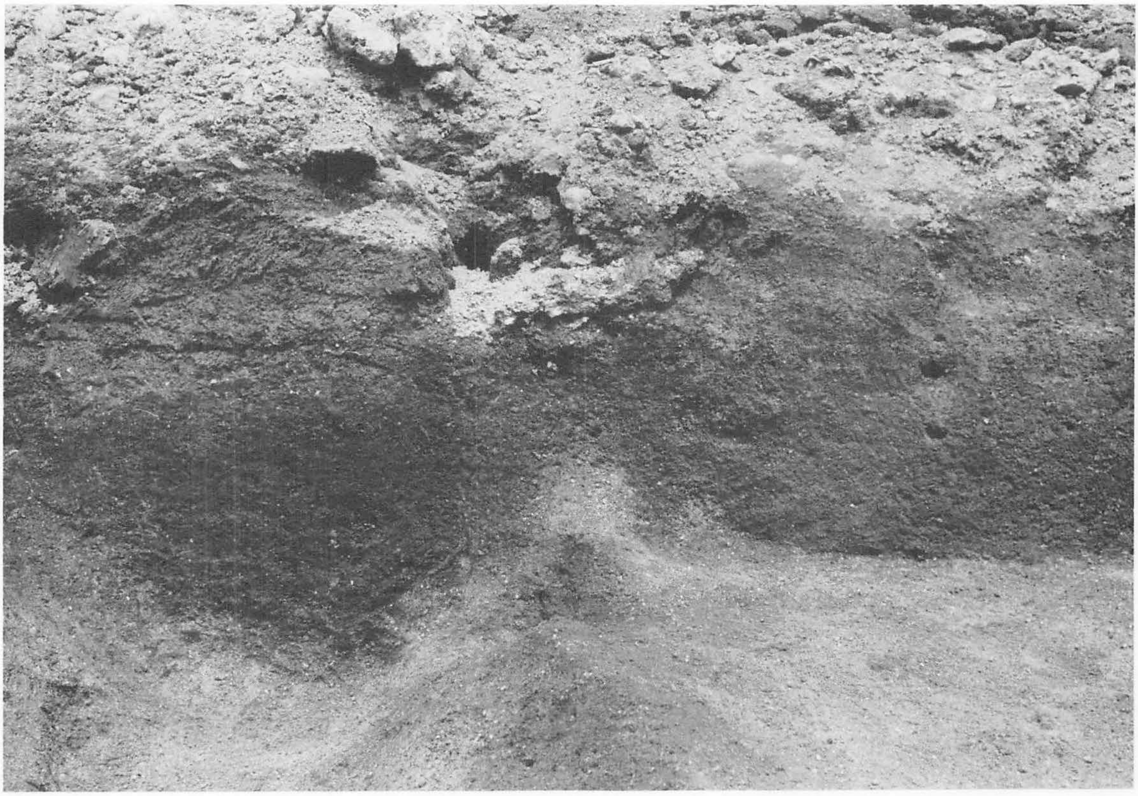
2　1号墳石室（北東から）



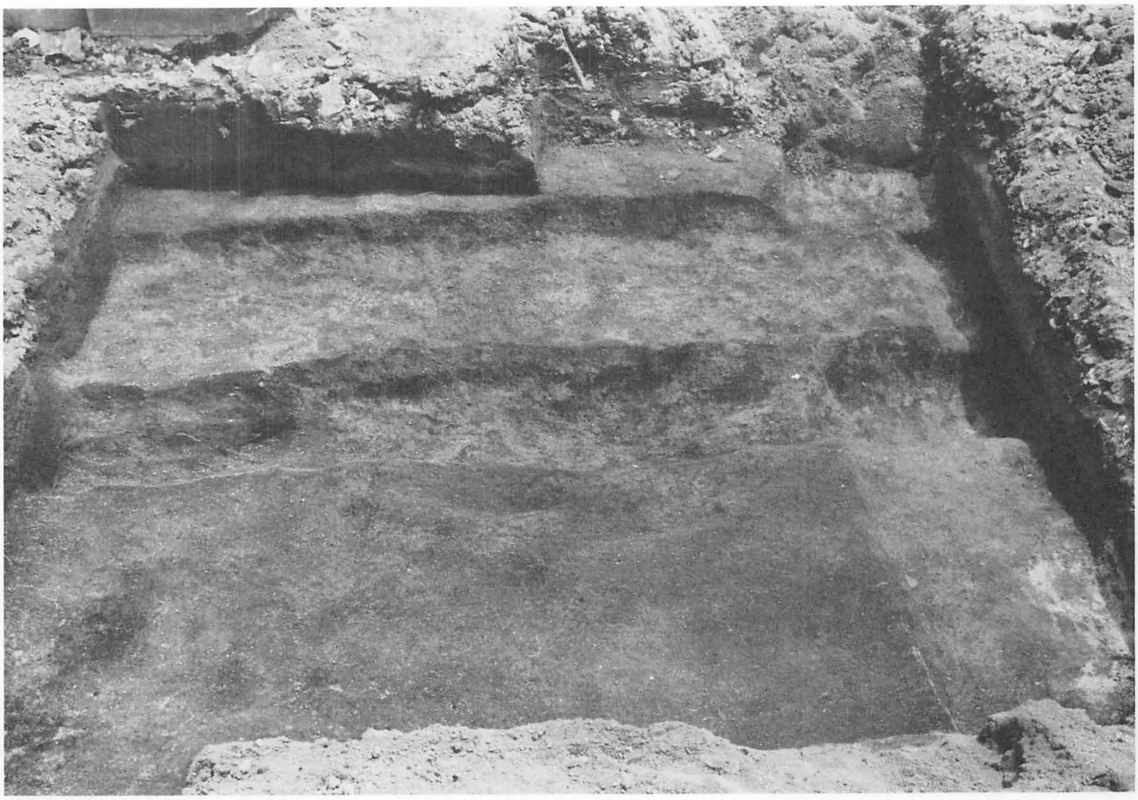
1　巽1号墳玄室西側壁（東から）



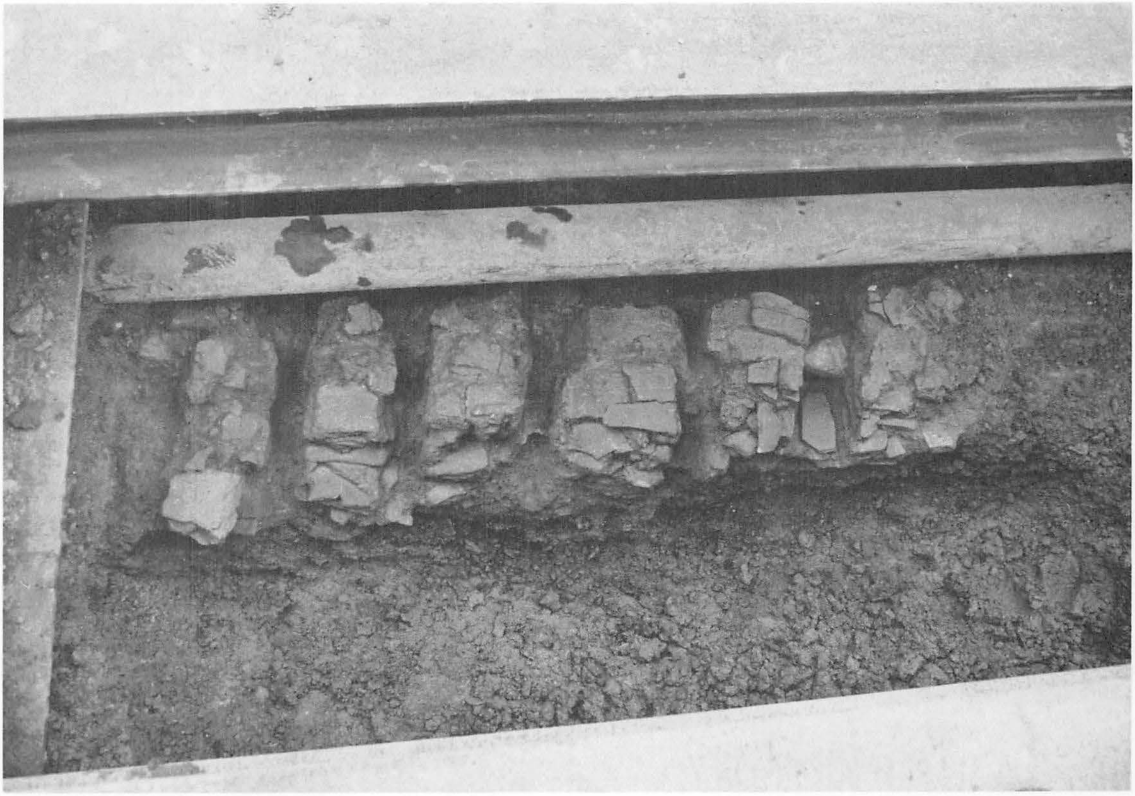
2　同　羨道部西側壁（東から）



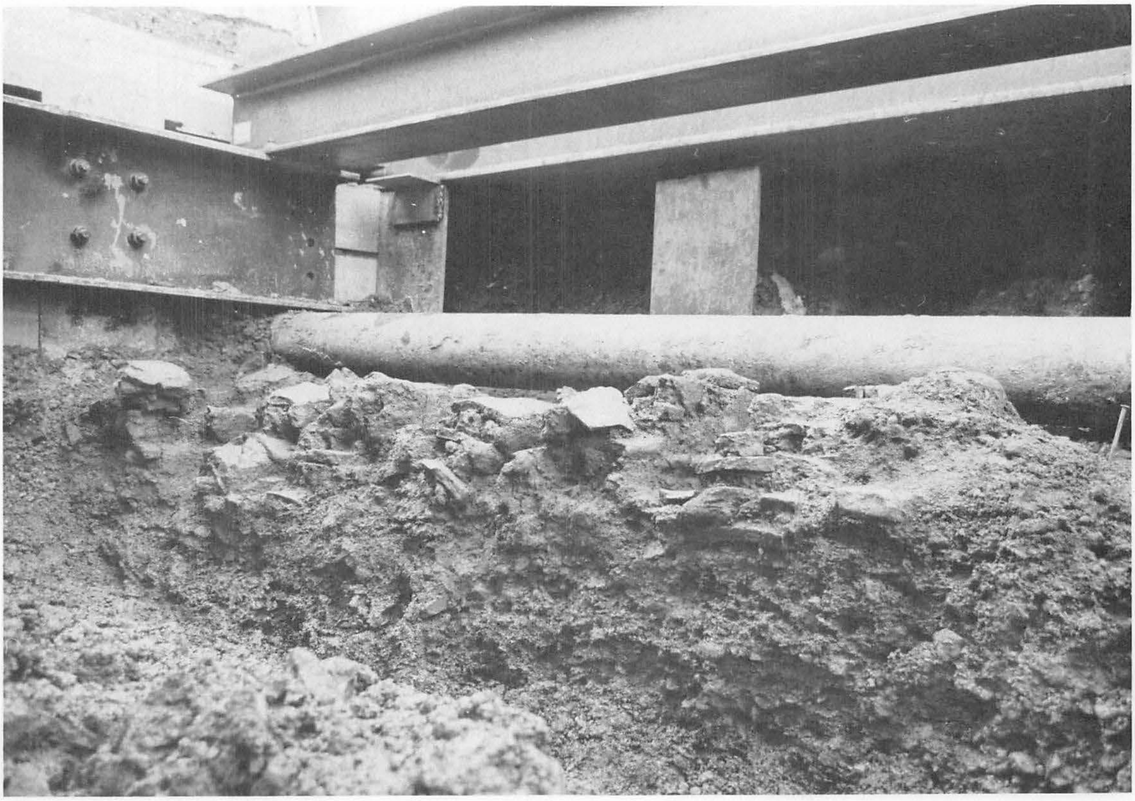
1　ＳＤ１・ＳＤ２北壁断面（南から）



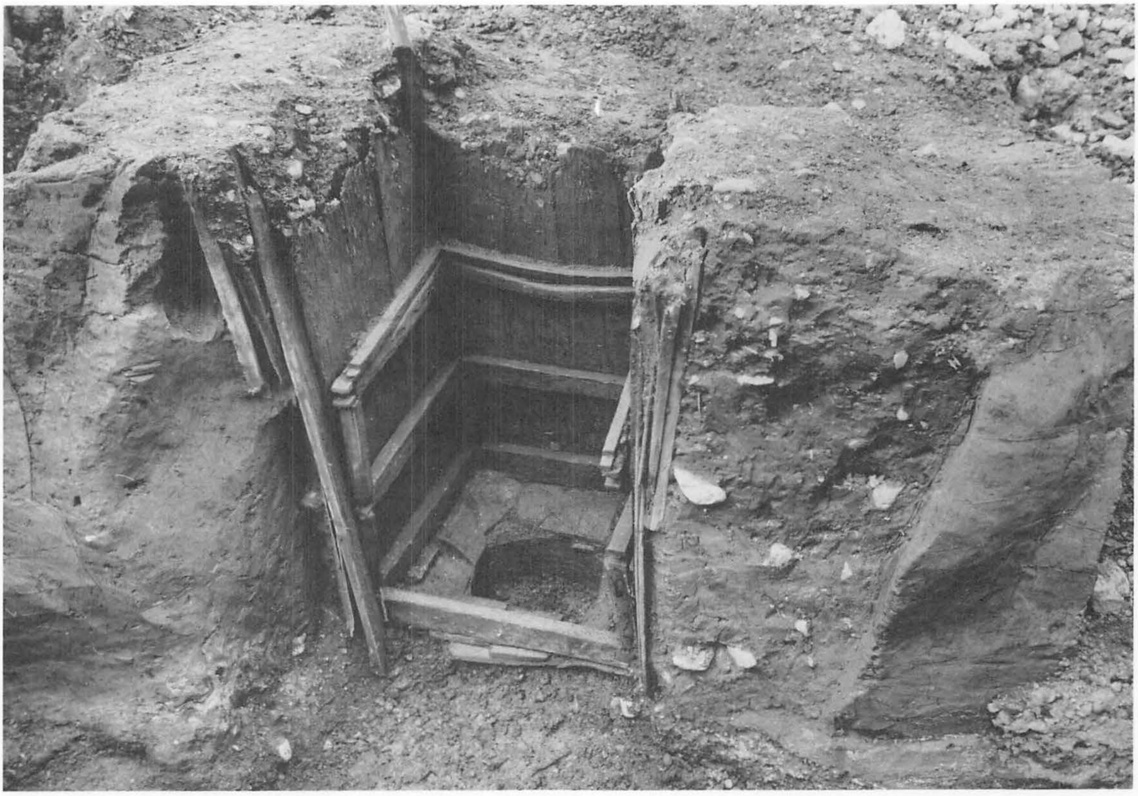
2　遺跡全景（北から）



1　瓦窯全景（東から）



2　瓦窯断面（東から）



1　SE1全景（南東から）

2　瓦敷き出土状況（北から）

3　SE1断面（南から）

1　遺跡全景（西から）

2　落ち込み２遺物出土状況（南から）

1　北トレンチ全景（南から）

2　南トレンチ全景（北から）

1　土器出土状況（北東から）

2　木簡出土状況（南から）


3


1

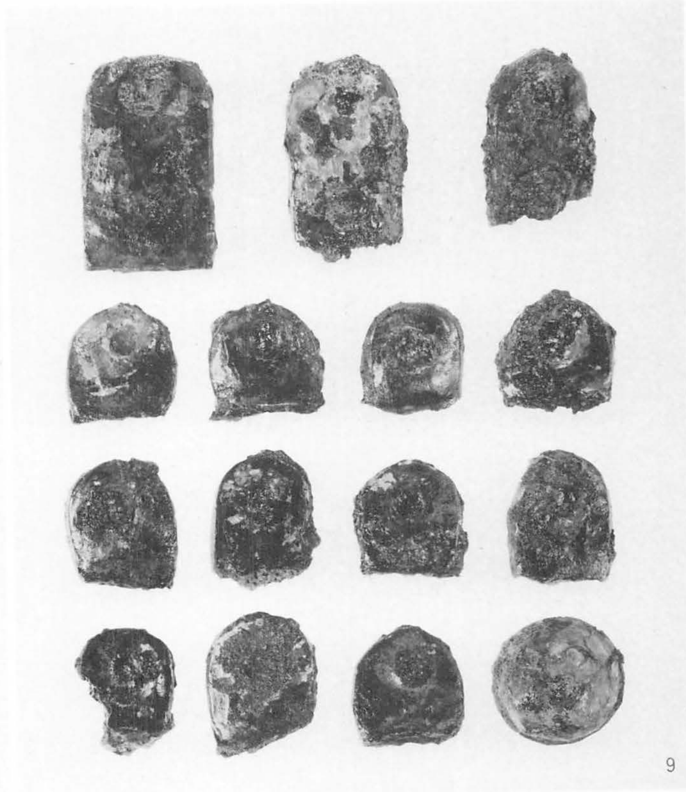

6


5


7

須恵器，雲珠，鉄鏃

8



9

鉄鏃，飾り金具

1

2

3

4

軒　瓦

24

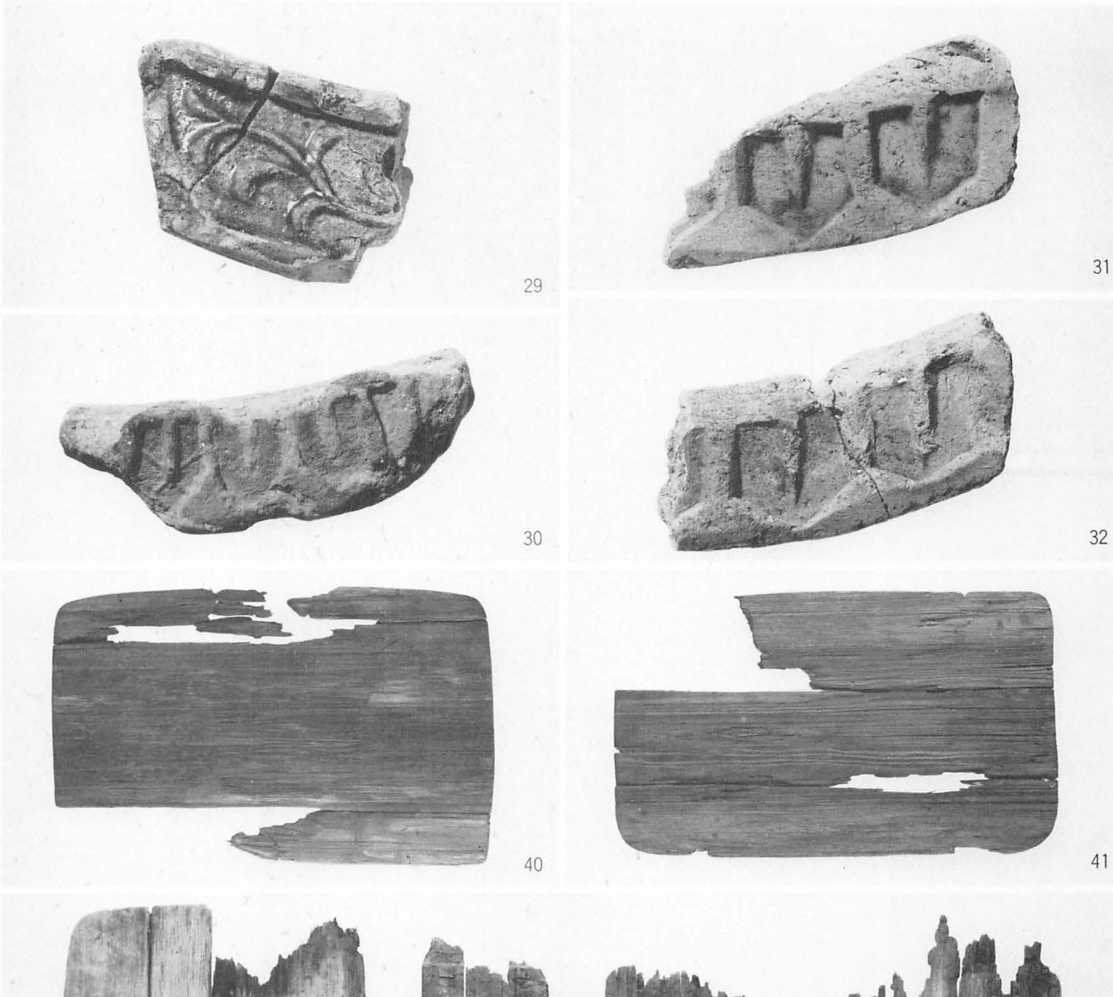
25

26

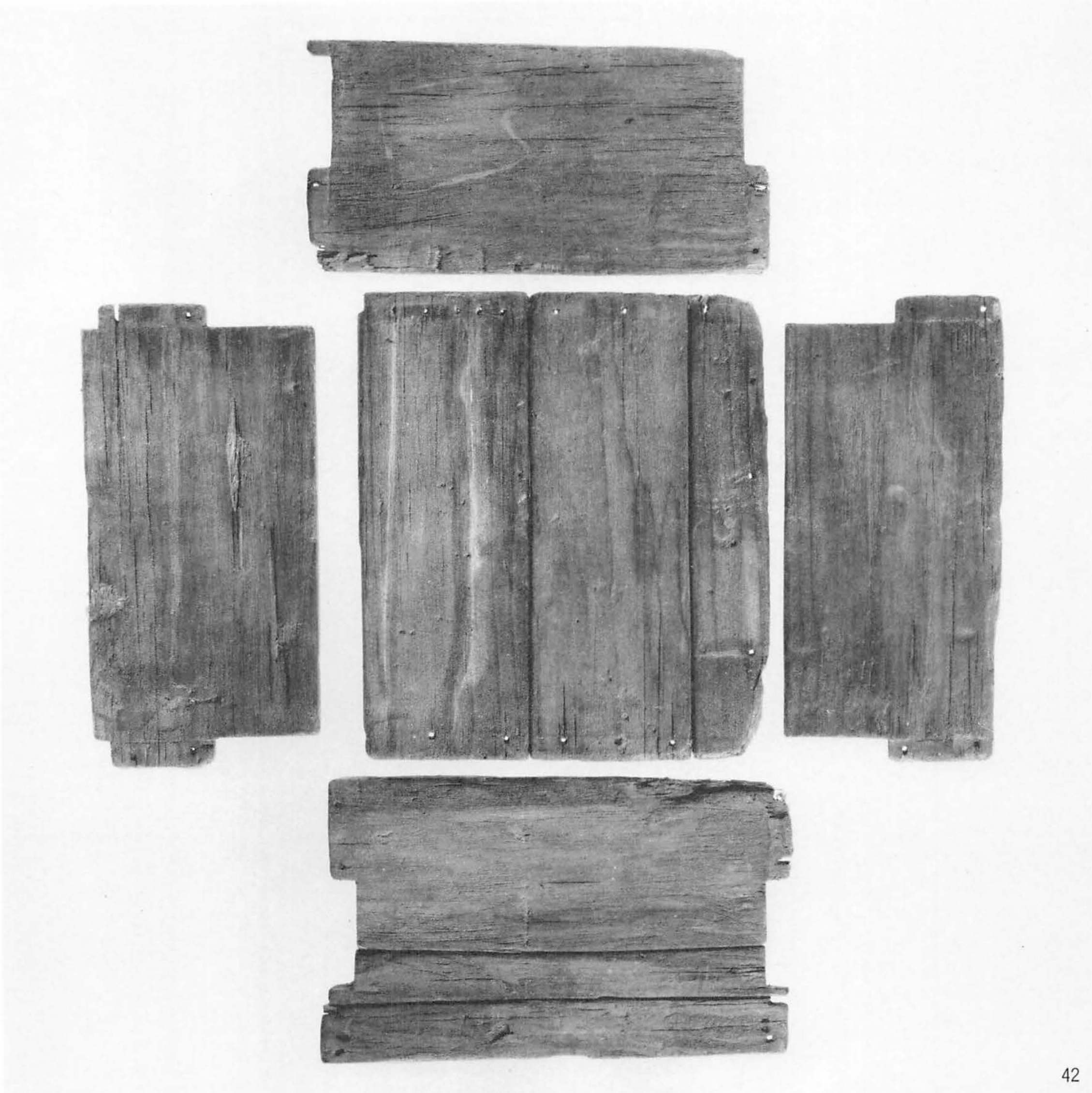
27

28

軒　瓦

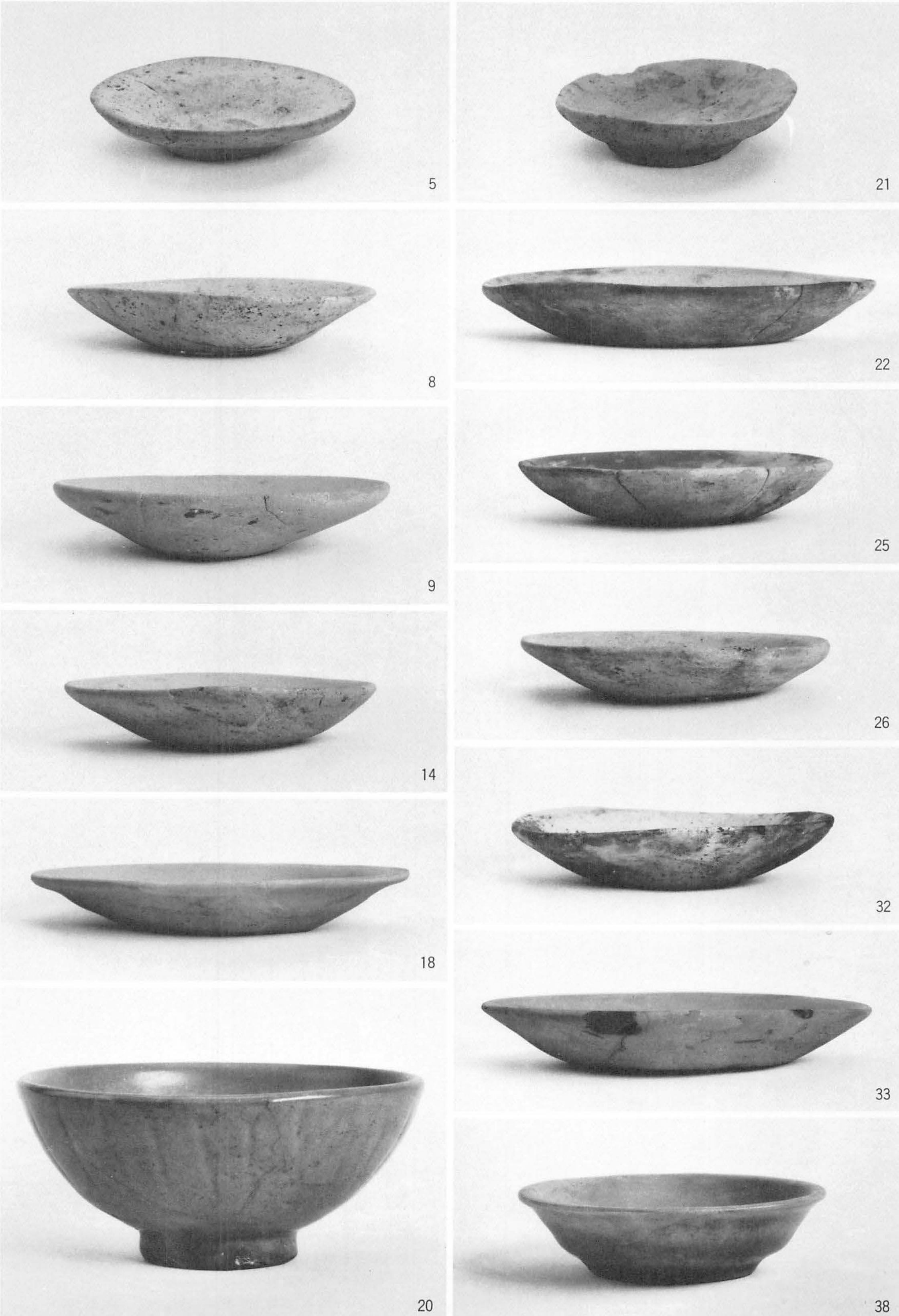


軒瓦，長方形曲物



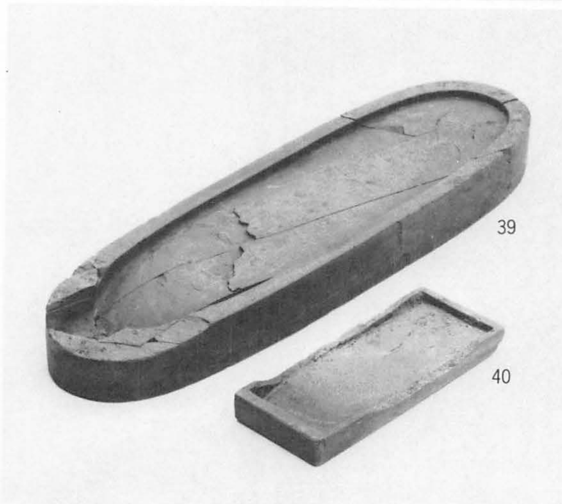
42

箱



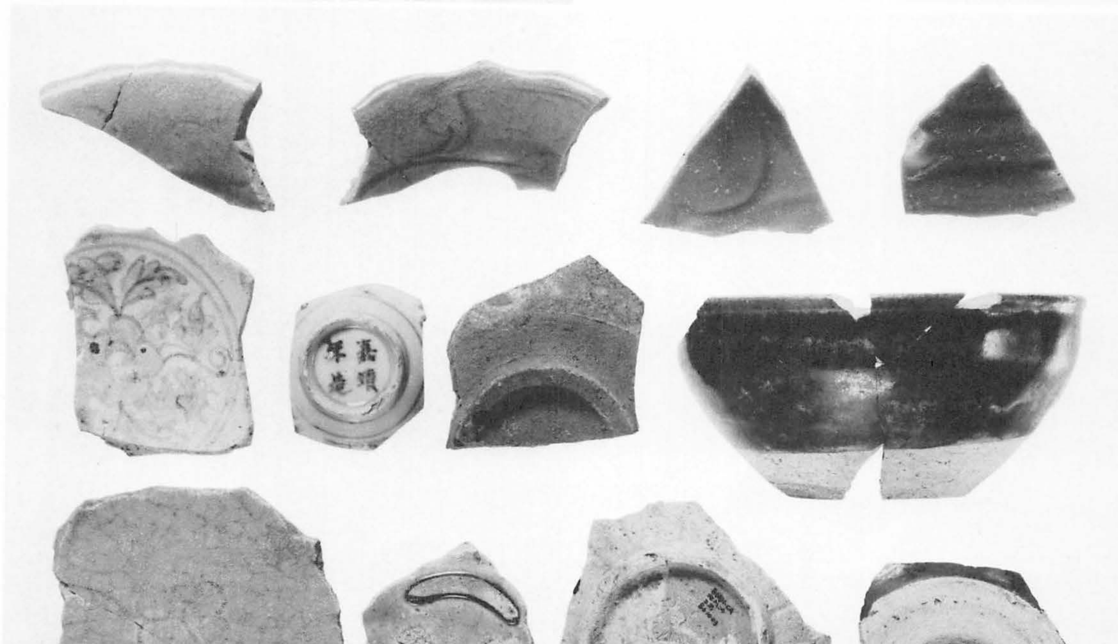
土師器皿（5・8・9・14・18・21・22・25・26・32・33）
輸入陶磁器椀（20） 陶器皿（38）

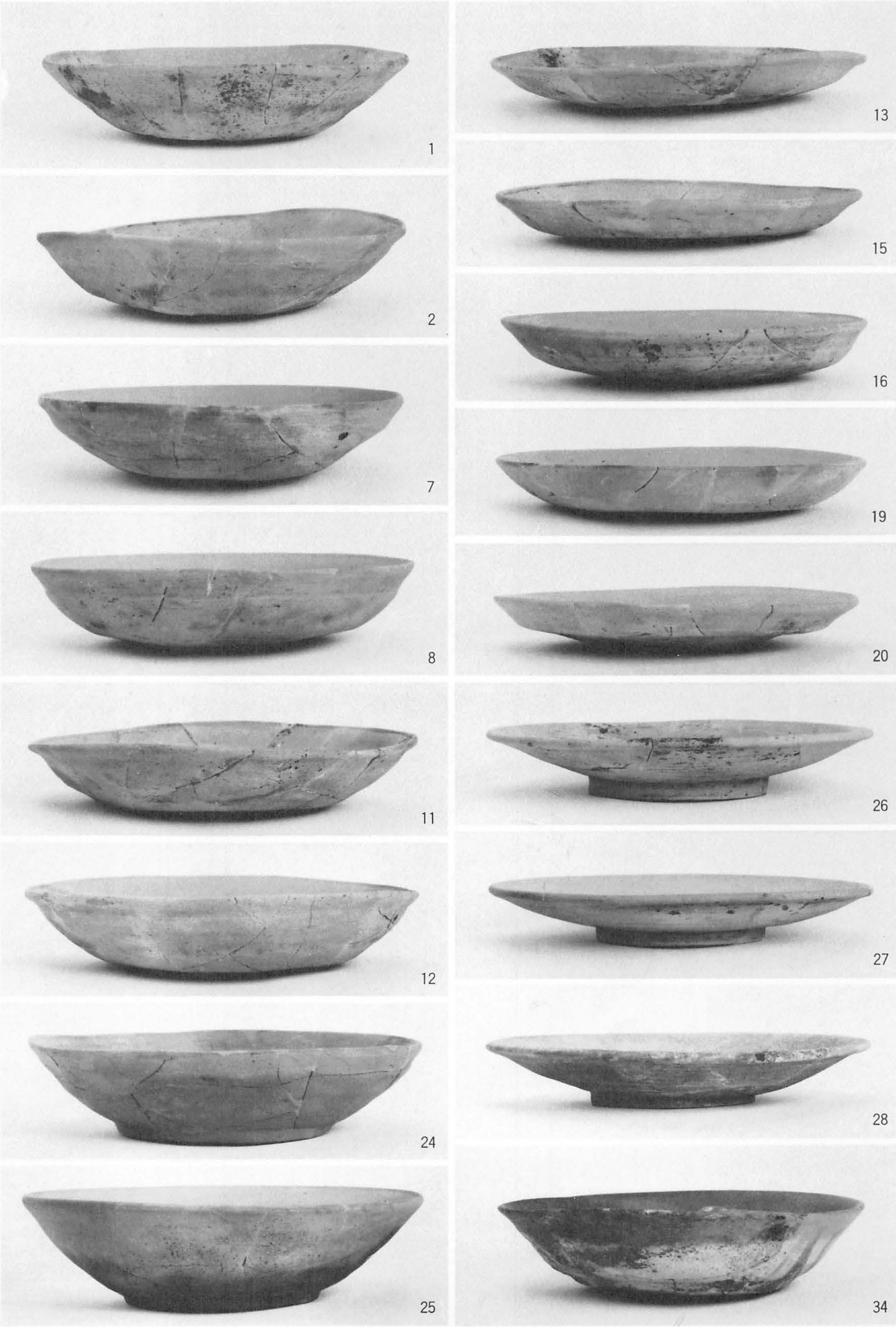
41



39

40





土師器，須恵器，無釉陶器，緑釉陶器

36

37

38

39

40

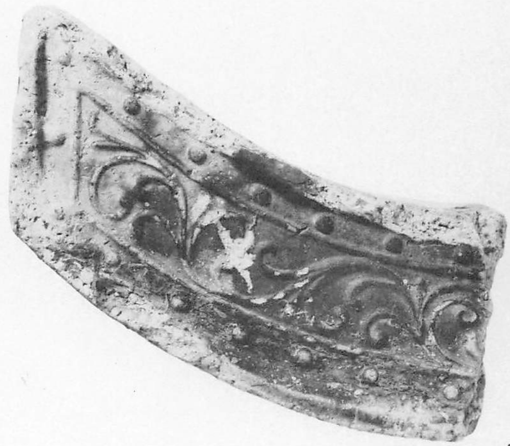
41

42

43

軒瓦

44



49

45

48

47

46

50

軒　瓦


51


54


52


55


56


57


53

軒　瓦

木器類

京都市内遺跡試掘立会調査概報

昭和61年度

発行日　昭和62年３月31日

発　行　京都市文化観光局

住　所　京都市左京区岡崎最勝寺町13京都会館内

編　集　財団法人　京都市埋蔵文化財研究所

住　所　京都市上京区今出川大宮東入ル元伊佐町
TEL (075) 415－0521

印　刷　真　陽　社